

令和 6 年度
平塚市市民意識調査結果報告書

平塚市

はじめに

この冊子は、令和6年10月に実施した「令和6年度平塚市市民意識調査」の結果を取りまとめたものです。

市民意識調査は、今後のまちづくりを進めていくための基礎資料を得ること及び平塚市総合計画の達成状況を測ることを目的とし、平成25年から概ね2年に1回の割合で実施しています。

今回は、令和6年度からスタートした「平塚市総合計画～ひらつかVISION～」策定後、初めての調査となり、「市民の皆様の居住意向」、「まちづくりに対する重要度や満足度」、「生活の満足感」などを調査しました。

この結果を、これからの行政運営や計画策定の参考として幅広く活用していきたいと考えています。また、市民の皆様を始め、各方面の皆様に御活用いただければ幸いです。

最後に、この調査に御協力をいただいた市民の皆様に御礼を申し上げます。

令和7年3月

平塚市長 落合 克宏

目 次

はじめに

第 1 章 調査の概要	- 1 -
1 目的	- 2 -
2 調査方法	- 2 -
3 標本数及び回収結果	- 2 -
4 結果利用上の注意	- 8 -
5 過去の調査概要	- 9 -
第 2 章 結果の概要	- 11 -
あなたご自身やご家族のことについて	- 12 -
(ア) あなたの性別をお答えください。	- 12 -
(イ) あなたの年齢をお答えください。	- 12 -
(ウ) あなたのお仕事をお答えください。	- 12 -
(エ) あなたの世帯構成をお答えください。	- 13 -
(オ) あなたにお子さんはいますか。	- 13 -
(カ) あなたは、平塚市にお住まいになって何年になりますか。	- 14 -
(キ) あなたの現在のお住まいについてお答えください。	- 14 -
【 1 】 あなたの今後における平塚市への居留意向などについて	- 15 -
(問 1) あなたは、今後も平塚市に住み続けようと思いますか。	- 15 -
(問 2) (問 1) で「 1 」または「 2 」と答えた方。平塚市に住み続けようと思う主な理由 はどのようなことですか。	- 17 -
(問 3) (問 1) で「 3 」または「 4 」と答えた方。市外に移転しようと思う主な理由 はどのようなことですか。	- 20 -
(問 4) あなたが平塚市に魅力や誇りを感じるのは、どのようなことですか。	- 23 -

【 2 】 まちづくりの状況について	- 26 -
--------------------------	--------

(問 5) 平塚市のまちづくりに対するあなたの「重要度」、「満足度」についてお答えく

ださい。

分野 1 子ども・子育て、教育

分野 2 健康、福祉

分野 3 共生、文化芸術、スポーツ

分野 4 安心・安全、都市基盤、交通

分野 5 産業、雇用、環境

【重要度と満足度の相関】

【人口比補正による重要度と満足度の順位の変化】

【 3 】 生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて	- 51 -
--------------------------------------	--------

(問 6) あなたは、現在のご自分の生活にどの程度満足していますか。

(問 7) あなたは、ご自分やご家族のことで、困っていることや心配ごとはあります

か。

(問 8) (問 7) で「 6 」と答えた方。ご自分の老後のことで、困っていることや心配

ごとは、どのようなことですか。

(問 9) (問 7) で「 7 」と答えた方。ご家族の老後のことで、困っていることや心配

ごとは、どのようなことですか。

(問 10) あなたが、高齢 (65 歳以上) になったときに、どのような住宅に住むこと

を考えていますか。

【 4 】 今後の平塚市のまちづくりについて	- 64 -
------------------------------	--------

第 3 章 結果の考察	- 67 -
-------------------	--------

結果の考察	- 68 -
-------------	--------

資料編 (調査票)	- 73 -
-----------------	--------

第 1 章 調査の概要

1 目的

平塚市民の居住意向、まちづくりに対する重要度や満足度、生活の満足感を調査し、今後、まちづくりを進めていくための基礎資料を得るとともに、平塚市総合計画の達成状況を測る。

2 調査方法

- (1) 調査区域 平塚市全域
(2) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
(3) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
(4) 調査方法 郵送配布、郵送回収（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）
又は e-kanagawa 電子申請システムでの回答
(5) 調査期間 令和6年10月4日（金）～10月31日（木）
(6) 調査票 本報告書の巻末を参照

3 標本数及び回収結果

- (1) 標本数
発送 3,000件
戻り 13件
実質標本数 2,987件
(2) 有効回収数 1,202件
(3) 有効回収率 40.2%
(4) 地区別状況

区分 地区	発送 A	戻り B	実質標本数 C = A - B	有効回収数 D	未回収数 C - D	有効回収率 D / C
計	3,000	13	2,987	1,202	1,785	40.2%
海岸	473	4	469	191	278	40.7%
平塚	496	3	493	211	282	42.8%
大野	677	3	674	272	402	40.4%
豊田	62	0	62	19	43	30.6%
城島	45	0	45	18	27	40.0%
岡崎	103	0	103	50	53	48.5%
金田	115	1	114	38	76	33.3%
神田	274	1	273	94	179	34.4%
金目	212	0	212	84	128	39.6%
土沢	78	0	78	35	43	44.9%
旭	465	1	464	190	274	40.9%

(5) 回答者の属性 (実数)

属性 \ 地区		総数	海岸	平塚	大野	豊田	城島	岡崎	金田	神田	金目	土沢	旭
回答者数	人	1,202	191	211	272	19	18	50	38	94	84	35	190
性別	男性	551	96	93	125	6	9	23	13	44	37	19	86
	女性	648	95	117	147	13	9	27	25	50	46	16	103
	その他	3	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,202	191	211	272	19	18	50	38	94	84	35	190
年代	10 代	35	5	4	10	0	0	3	0	1	3	2	7
	20 代	84	13	15	17	2	1	2	2	7	7	2	16
	30 代	126	15	24	34	2	4	3	3	10	10	3	18
	40 代	183	26	31	47	3	3	9	8	9	13	5	29
	50 代	240	34	48	54	5	3	9	5	20	18	11	33
	60 代	248	54	45	56	3	2	11	7	14	14	4	38
	70 代以上	286	44	44	54	4	5	13	13	33	19	8	49
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,202	191	211	272	19	18	50	38	94	84	35	190
職業	高校生	24	2	4	7	0	0	3	0	1	1	1	5
	専門学校・短大・大学生等	33	8	5	4	0	0	1	1	2	4	2	6
	会社員・公務員・団体職員	421	68	75	108	9	6	14	12	27	30	11	61
	自営業	81	13	17	14	2	3	4	4	4	8	1	11
	家事従事者	152	28	28	33	3	3	4	5	12	7	4	25
	パート・アルバイト	225	31	43	51	2	3	13	4	16	17	4	41
	無職	236	39	32	49	3	3	11	11	30	14	9	35
	その他	30	2	7	6	0	0	0	1	2	3	3	6
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,202	191	211	272	19	18	50	38	94	84	35	190
世帯構成	ひとり暮らし	135	25	31	31	2	0	3	7	10	8	2	16
	夫婦のみ	342	60	65	79	4	2	15	9	24	19	8	57
	二世帯同居（親と子）	636	92	108	135	11	13	31	17	50	46	24	109
	三世帯同居（祖父母と親と子）	56	9	6	12	2	3	0	4	7	8	1	4
	その他	33	5	1	15	0	0	1	1	3	3	0	4
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,202	191	211	272	19	18	50	38	94	84	35	190

属性 \ 地区		総数	海岸	平塚	大野	豊田	城島	岡崎	金田	神田	金目	土沢	旭
子どもの 状況(複数回答)	小学校入学前	87	17	12	23	3	2	2	0	6	8	0	14
	小学生	106	17	15	29	2	3	3	2	8	9	1	17
	中学生	65	11	16	10	3	1	1	4	1	6	3	9
	高校生	78	11	12	18	1	2	1	4	3	3	7	16
	専門学校・短大・大学生等	100	20	14	31	1	0	4	3	5	5	6	11
	既に学校教育を終了している	564	87	86	127	11	5	32	17	48	40	18	93
	子どもはいない	378	53	86	82	2	6	15	11	32	22	10	59
	その他	10	0	2	4	0	0	0	0	1	0	0	3
	無回答	22	6	3	3	1	1	0	1	2	3	0	2
	計	1,410	222	246	327	24	20	58	42	106	96	45	224
居住年数	2 年未満	41	9	8	13	0	0	0	0	0	3	0	8
	2 年以上～5 年未満	68	10	15	20	1	0	2	2	2	5	0	11
	5 年以上～10 年未満	79	12	16	18	0	2	6	2	5	8	1	9
	10 年以上～20 年未満	168	35	32	32	3	1	6	5	6	12	10	26
	20 年以上～30 年未満	186	34	32	43	2	4	6	2	14	14	8	27
	30 年以上	642	88	106	142	11	9	30	27	65	41	16	107
	無回答	18	3	2	4	2	2	0	0	2	1	0	2
	計	1,202	191	211	272	19	18	50	38	94	84	35	190
住居種類	持ち家(一戸建て)	798	105	110	163	13	15	46	30	72	69	33	142
	持ち家(マンション・共同住宅)	175	52	73	33	0	0	1	0	5	1	0	10
	借家(一戸建て)	34	2	4	12	0	1	1	1	1	3	1	8
	借家(マンション・共同住宅)	163	28	17	57	4	0	2	7	12	8	1	27
	その他	13	1	5	3	0	0	0	0	2	1	0	1
	無回答	19	3	2	4	2	2	0	0	2	2	0	2
	計	1,202	191	211	272	19	18	50	38	94	84	35	190

(6) 回答者の属性 (割合)

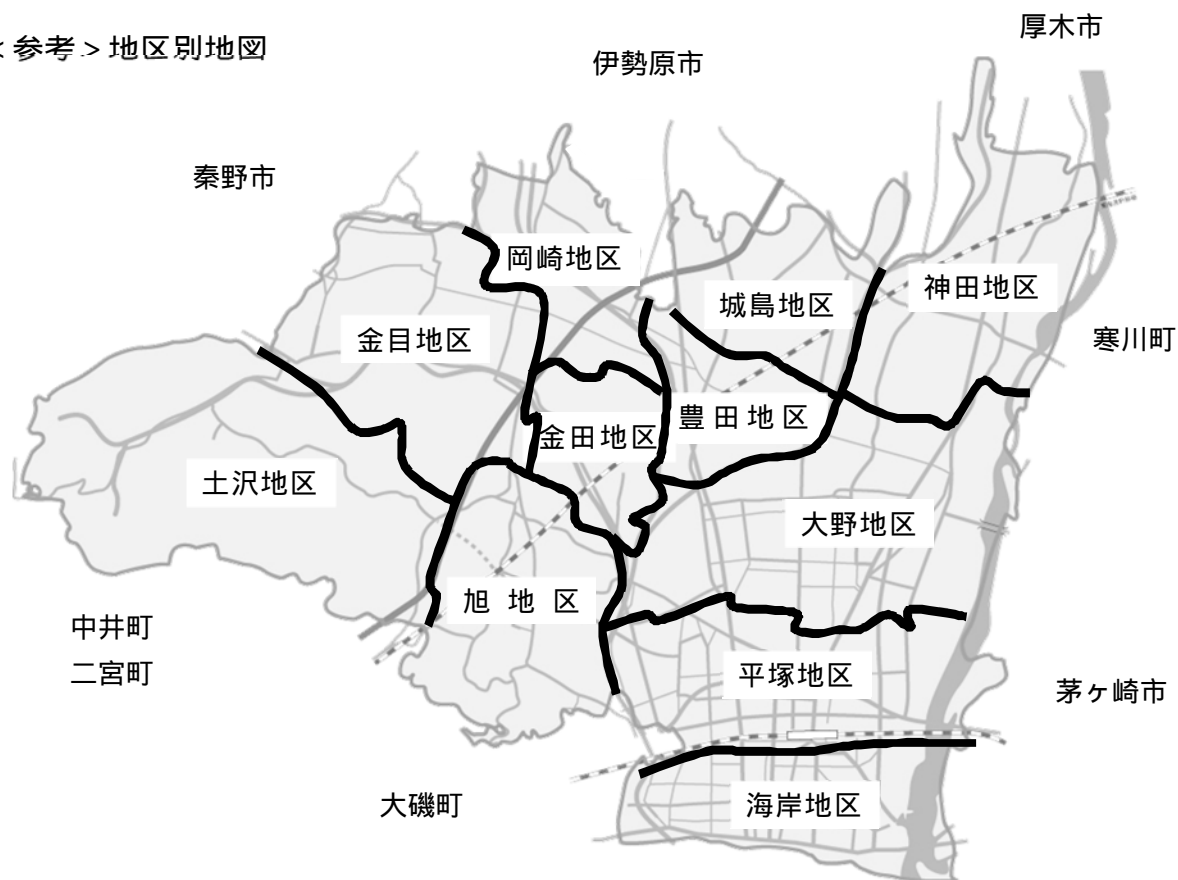
属性		地区	総数	海岸	平塚	大野	豊田	城島	岡崎	金田	神田	金目	土沢	旭
回答者数	割合													
性別	男性		45.8%	50.3%	44.1%	46.0%	31.6%	50.0%	46.0%	34.2%	46.8%	44.0%	54.3%	45.3%
	女性		53.9%	49.7%	55.5%	54.0%	68.4%	50.0%	54.0%	65.8%	53.2%	54.8%	45.7%	54.2%
	その他		0.3%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.5%
	無回答		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
年代	10 代		2.9%	2.6%	1.9%	3.7%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	1.1%	3.6%	5.7%	3.7%
	20 代		7.0%	6.8%	7.1%	6.3%	10.5%	5.6%	4.0%	5.3%	7.4%	8.3%	5.7%	8.4%
	30 代		10.5%	7.9%	11.4%	12.5%	10.5%	22.2%	6.0%	7.9%	10.6%	11.9%	8.6%	9.5%
	40 代		15.2%	13.6%	14.7%	17.3%	15.8%	16.7%	18.0%	21.1%	9.6%	15.5%	14.3%	15.3%
	50 代		20.0%	17.8%	22.7%	19.9%	26.3%	16.7%	18.0%	13.2%	21.3%	21.4%	31.4%	17.4%
	60 代		20.6%	28.3%	21.3%	20.6%	15.8%	11.1%	22.0%	18.4%	14.9%	16.7%	11.4%	20.0%
	70 代以上		23.8%	23.0%	20.9%	19.9%	21.1%	27.8%	26.0%	34.2%	35.1%	22.6%	22.9%	25.8%
	無回答		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
職業	高校生		2.0%	1.0%	1.9%	2.6%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	1.1%	1.2%	2.9%	2.6%
	専門学校・短大・大学生等		2.7%	4.2%	2.4%	1.5%	0.0%	0.0%	2.0%	2.6%	2.1%	4.8%	5.7%	3.2%
	会社員・公務員・団体職員		35.0%	35.6%	35.5%	39.7%	47.4%	33.3%	28.0%	31.6%	28.7%	35.7%	31.4%	32.1%
	自営業		6.7%	6.8%	8.1%	5.1%	10.5%	16.7%	8.0%	10.5%	4.3%	9.5%	2.9%	5.8%
	家事従事者		12.6%	14.7%	13.3%	12.1%	15.8%	16.7%	8.0%	13.2%	12.8%	8.3%	11.4%	13.2%
	パート・アルバイト		18.7%	16.2%	20.4%	18.8%	10.5%	16.7%	26.0%	10.5%	17.0%	20.2%	11.4%	21.6%
	無職		19.6%	20.4%	15.2%	18.0%	15.8%	16.7%	22.0%	28.9%	31.9%	16.7%	25.7%	18.4%
	その他		2.5%	1.0%	3.3%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	2.1%	3.6%	8.6%	3.2%
	無回答		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
世帯構成	ひとり暮らし		11.2%	13.1%	14.7%	11.4%	10.5%	0.0%	6.0%	18.4%	10.6%	9.5%	5.7%	8.4%
	夫婦のみ		28.5%	31.4%	30.8%	29.0%	21.1%	11.1%	30.0%	23.7%	25.5%	22.6%	22.9%	30.0%
	二世帯同居（親と子）		52.9%	48.2%	51.2%	49.6%	57.9%	72.2%	62.0%	44.7%	53.2%	54.8%	68.6%	57.4%
	三世帯同居（祖父母と親と子）		4.7%	4.7%	2.8%	4.4%	10.5%	16.7%	0.0%	10.5%	7.4%	9.5%	2.9%	2.1%
	その他		2.7%	2.6%	0.5%	5.5%	0.0%	0.0%	2.0%	2.6%	3.2%	3.6%	0.0%	2.1%
	無回答		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

結果は百分率（％）で表示し、小数第二位を四捨五入して算出したため、端数処理の関係上、合計が 1 0 0 ％にならない場合があります。

属性		地区	総数	海岸	平塚	大野	豊田	城島	岡崎	金田	神田	金目	土沢	旭
子どもの 状況(複数回 答)	小学校入学前			8.9%	5.7%	8.5%	15.8%	11.1%	4.0%	0.0%	6.4%	9.5%	0.0%	7.4%
	小学生			8.9%	7.1%	10.7%	10.5%	16.7%	6.0%	5.3%	8.5%	10.7%	2.9%	8.9%
	中学生			5.8%	7.6%	3.7%	15.8%	5.6%	2.0%	10.5%	1.1%	7.1%	8.6%	4.7%
	高校生			5.8%	5.7%	6.6%	5.3%	11.1%	2.0%	10.5%	3.2%	3.6%	20.0%	8.4%
	専門学校・ 短大・大学生等			10.5%	6.6%	11.4%	5.3%	0.0%	8.0%	7.9%	5.3%	6.0%	17.1%	5.8%
	既に学校教育 を終了してい る			45.5%	40.8%	46.7%	57.9%	27.8%	64.0%	44.7%	51.1%	47.6%	51.4%	48.9%
	子どもはいない			27.7%	40.8%	30.1%	10.5%	33.3%	30.0%	28.9%	34.0%	26.2%	28.6%	31.1%
	その他			0.0%	0.9%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	1.6%
	無回答			3.1%	1.4%	1.1%	5.3%	5.6%	0.0%	2.6%	2.1%	3.6%	0.0%	1.1%
	計													
居住年数	2 年未満			3.4%	4.7%	3.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	4.2%
	2 年以上～ 5 年未満			5.7%	5.2%	7.1%	7.4%	5.3%	0.0%	4.0%	5.3%	6.0%	0.0%	5.8%
	5 年以上～ 10 年未満			6.6%	6.3%	7.6%	6.6%	0.0%	11.1%	12.0%	5.3%	9.5%	2.9%	4.7%
	10 年以上～ 20 年未満			14.0%	18.3%	15.2%	11.8%	15.8%	5.6%	12.0%	13.2%	14.3%	28.6%	13.7%
	20 年以上～ 30 年未満			15.5%	17.8%	15.2%	15.8%	10.5%	22.2%	12.0%	5.3%	14.9%	22.9%	14.2%
	30 年以上			53.4%	46.1%	50.2%	52.2%	57.9%	50.0%	60.0%	71.1%	69.1%	48.8%	45.7%
	無回答			1.5%	1.6%	0.9%	1.5%	10.5%	11.1%	0.0%	2.1%	1.2%	0.0%	1.1%
	計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
住居種類	持ち家 (一戸建て)			66.4%	55.0%	52.1%	59.9%	68.4%	83.3%	92.0%	78.9%	76.6%	82.1%	94.3%
	持ち家 (マンション・ 共同住宅)			14.6%	27.2%	34.6%	12.1%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	5.3%	1.2%	0.0%
	借家 (一戸建て)			2.8%	1.0%	1.9%	4.4%	0.0%	5.6%	2.0%	2.6%	1.1%	3.6%	2.9%
	借家 (マンション・ 共同住宅)			13.6%	14.7%	8.1%	21.0%	21.1%	0.0%	4.0%	18.4%	12.8%	9.5%	14.2%
	その他			1.1%	0.5%	2.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	1.2%	0.0%	0.5%
	無回答			1.6%	1.6%	0.9%	1.5%	10.5%	11.1%	0.0%	2.1%	2.4%	0.0%	1.1%
	計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

結果は百分率(%)で表示し、小数第二位を四捨五入して算出したため、端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

< 参考 > 地区別地図



地区名	町丁名
海岸	久領堤、黒部丘、幸町、董平、千石河岸、袖ヶ浜、代官町、高浜台、唐ヶ原、撫子原、虹ヶ浜、花水台、札場町、松風町、桃浜町、八重咲町、夕陽ヶ丘、龍城ヶ丘
平塚	明石町、天沼、榎木町、老松町、上平塚、桜ヶ丘、須賀、諏訪町、浅間町、宝町、立野町、達上ヶ丘、堤町、豊原町、中里、中堂、長瀬、錦町、馬入、馬入本町、平塚１～５丁目、富士見町、紅谷町、見附町、宮の前、宮松町、八千代町
大野	追分、大原、御殿１～４丁目、四之宮１～７丁目、新町、中原１～３丁目、中原下宿、西真土１～４丁目、西八幡１～４丁目、東真土１～４丁目、東中原１～２丁目、東八幡１～５丁目、南原１～４丁目
豊田	北豊田、豊田打間木、豊田小嶺、豊田平等寺、豊田本郷、豊田宮下、東豊田、南豊田
城島	大島、城所、小鍋島、下島
岡崎	岡崎、ふじみ野１～２丁目
金田	飯島、入野、入部、寺田縄、長持
神田	大神１～９丁目、田村１～９丁目、横内、吉際
金目	片岡、北金目、北金目１～４丁目、真田、真田１～４丁目、千須谷、広川、南金目
土沢	上吉沢、下吉沢、土屋、めぐみが丘１～２丁目
旭	出縄、公所、河内、高根、高根１～３丁目、高村、徳延、根坂間、日向岡１～２丁目、纏、万田、万田１～３丁目、山下１～３丁目

4 結果利用上の注意

(1) 結果は百分率(%)で表示し、小数第二位を四捨五入して算出しました。従って、端数処理の関係上、個々の選択肢の百分率の合計が100%にならない場合があります。

(2) 統計表中の符号の用途は次のとおりです。

「0.0」・・・単位未満

「-」・・・皆無又は該当数字なし

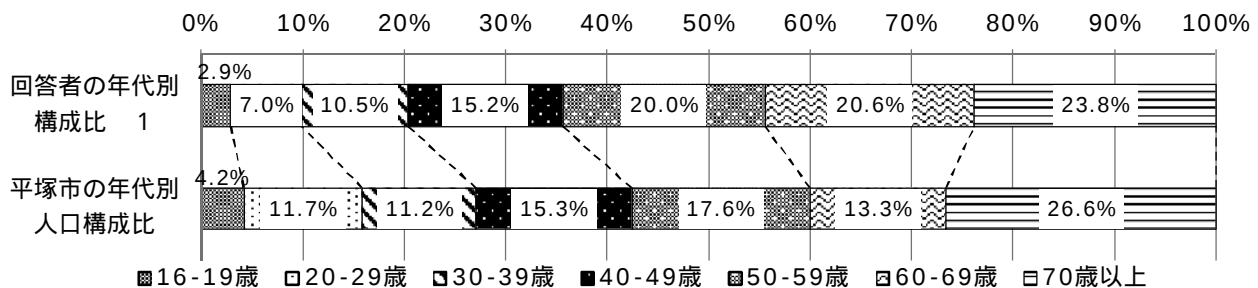
(3) 対象者は各年代ともに人口構成比に合わせて抽出し調査を実施しましたが、回収結果としては、50歳代及び60歳代は実際の人口割合よりも高い回答率となりました。このため、回収されたデータと母集団(本市年代別人口)の構成比をほぼ同一にするため、ウェイトバック集計も行いました。

平塚市の年代別人口構成比及び回答者の年代別構成比

年齢	16-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	総計
回答者の年代別 構成比 1	2.9%	7.0%	10.5%	15.2%	20.0%	20.6%	23.8%	100.0%
平塚市の年代別 人口構成比	4.2%	11.7%	11.2%	15.3%	17.6%	13.3%	26.6%	100.0%
ウェイト値 2	1.45	1.67	1.07	1.01	0.88	0.65	1.12	—

1 平塚市の年代別人口構成比は、令和6(2024)年1月1日現在のもの

2 ウェイト値 = 平塚市の各年代別人口 ÷ 各年代の回収数 × (回収数合計 ÷ 人口合計)



例) 問1で『住み続ける』との回答を、本市の年代別人口構成比で補正する場合

	実数	割合	回答数	×	ウェイト値	=	補正後の回答数
1 住み続ける	649	54.0%	16-19歳	7	× 1.45	=	10
			20-29歳	27	× 1.67	=	45
			30-39歳	58	× 1.07	=	62
			40-49歳	77	× 1.01	=	77
			50-59歳	122	× 0.88	=	107
			60-69歳	139	× 0.65	=	90
			70歳以上	219	× 1.12	=	245
			年代不詳		×		—
			総計	649			637

年代別人口構成比による補正前

$$649 \text{ 人} \div 1,202 \text{ 人} \times 100 = \underline{54.0\%}$$

年代別人口構成比による補正後

$$637 \text{ 人} \div 1,202 \text{ 人} \times 100 = \underline{53.0\%}$$

補正後の回答数は、少数第一位を四捨五入していることやウェイト値を少数第二位までの表記としているため、端数処理の関係上、個々の計算式と結果が異なる場合があります。

5 過去の調査概要

平成25年度調査概要

- (1) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査期間 平成25年11月5日(火)～11月14日(木)
- (4) 有効回収率 44.2%(1,320件)

平成26年度調査概要

- (1) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査期間 平成26年10月17日(金)～10月31日(金)
- (4) 有効回収率 35.4%(1,059件)

平成28年度調査概要

- (1) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査期間 平成28年10月7日(金)～10月26日(水)
- (4) 有効回収率 42.6%(1,276件)

平成30年度調査概要

- (1) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査期間 平成30年6月1日(金)～6月22日(金)
- (4) 有効回収率 40.4%(1,206件)

令和4年度調査概要

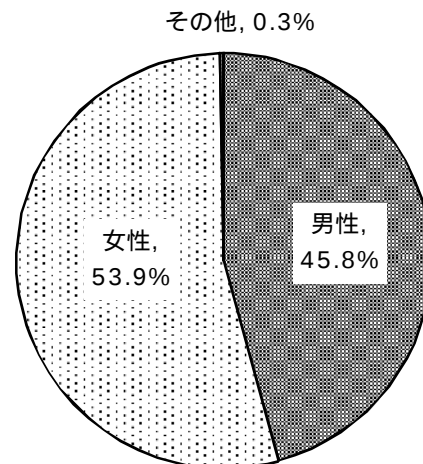
- (1) 調査対象 平塚市内に在住する満16歳以上の男女3,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (3) 調査期間 令和4年9月2日(金)～9月30日(金)
- (4) 有効回収率 34.0%(1,019件)

第 2 章 結果の概要

あなたご自身やご家族のことについて

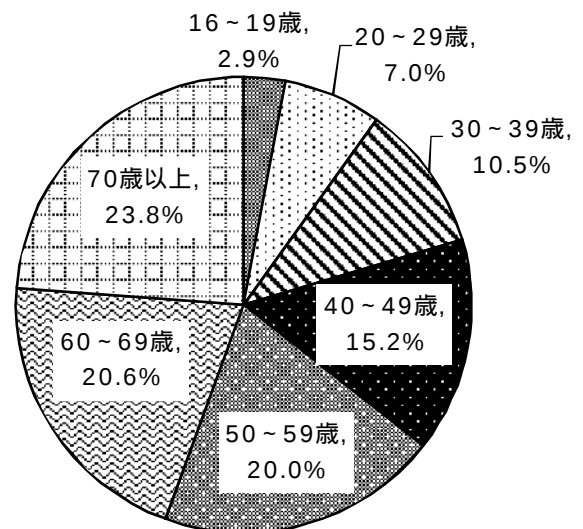
(ア) あなたの性別をお答えください。

1 男性	45.8%
2 女性	53.9%
3 その他	0.3%
無回答	0.0%



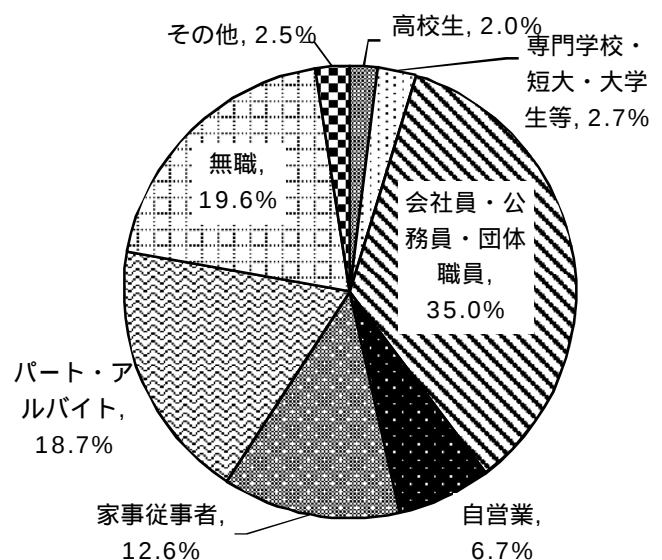
(イ) あなたの年齢をお答えください。

1 16～19 歳	2.9%
2 20～29 歳	7.0%
3 30～39 歳	10.5%
4 40～49 歳	15.2%
5 50～59 歳	20.0%
6 60～69 歳	20.6%
7 70 歳以上	23.8%
無回答	0.0%



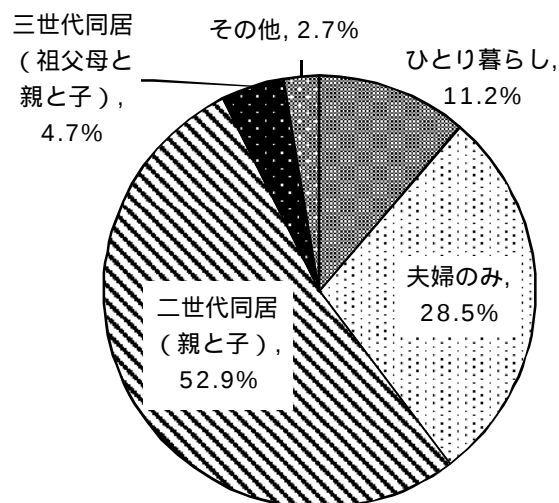
(ウ) あなたのお仕事をお答えください。

1 高校生	2.0%
2 専門学校・短大・ 大学生等（予備校含む）	2.7%
3 会社員・公務員・団体職員	35.0%
4 自営業	6.7%
5 家事従事者	12.6%
6 パート・アルバイト	18.7%
7 無職	19.6%
8 その他	2.5%
無回答	0.0%



(エ) あなたの世帯構成をお答えください。

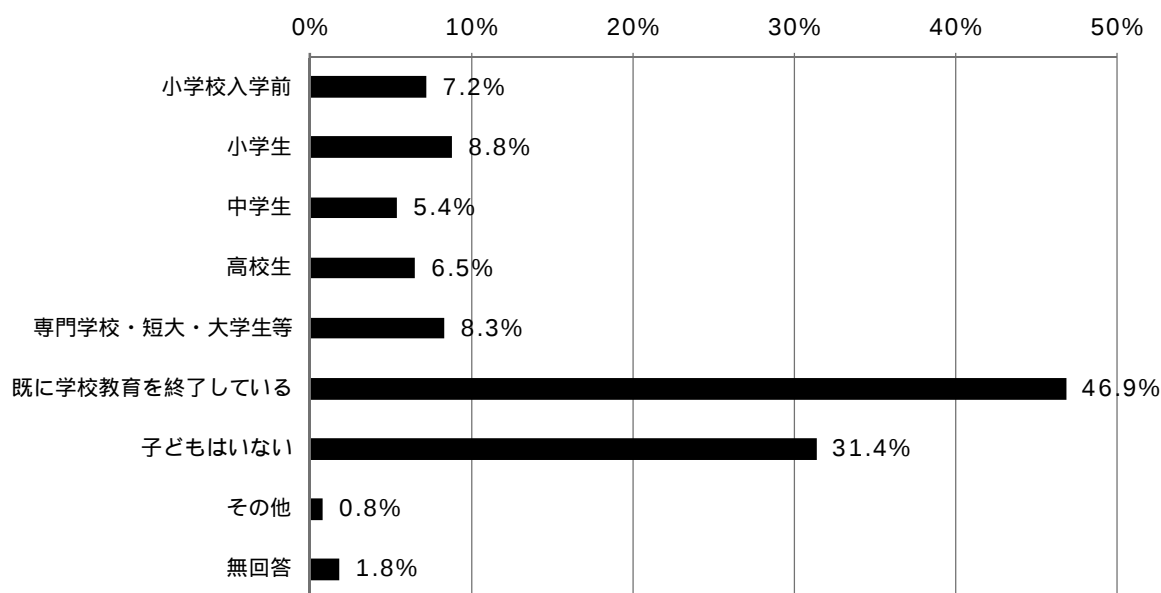
1 ひとり暮らし	11.2%
2 夫婦のみ	28.5%
3 二世帯同居（親と子）	52.9%
4 三世帯同居（祖父母と親と子）	4.7%
5 その他	2.7%
無回答	0.0%



(オ) あなたにお子さんはいますか。

(同居・別居に関わらず、あなたのお子さんについて、当てはまるものすべて)

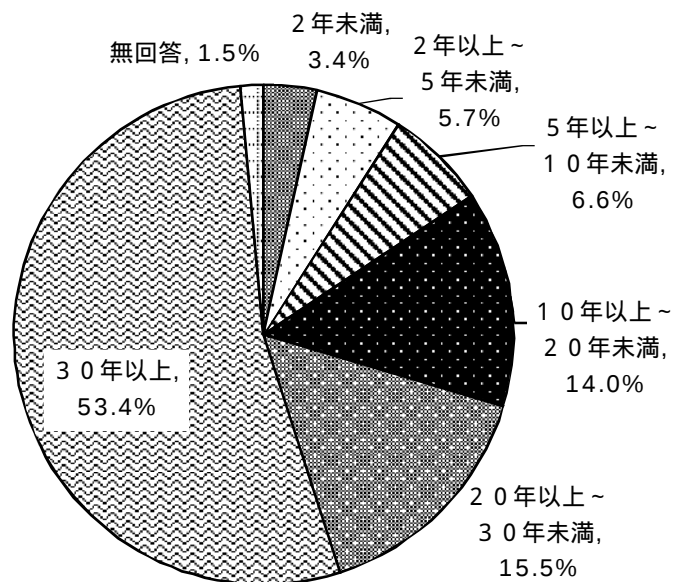
1 小学校入学前	7.2%
2 小学生	8.8%
3 中学生	5.4%
4 高校生	6.5%
5 専門学校・短大・大学生等（予備校含む）	8.3%
6 既に学校教育を終了している	46.9%
7 子どもはいない	31.4%
8 その他	0.8%
無回答	1.8%



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

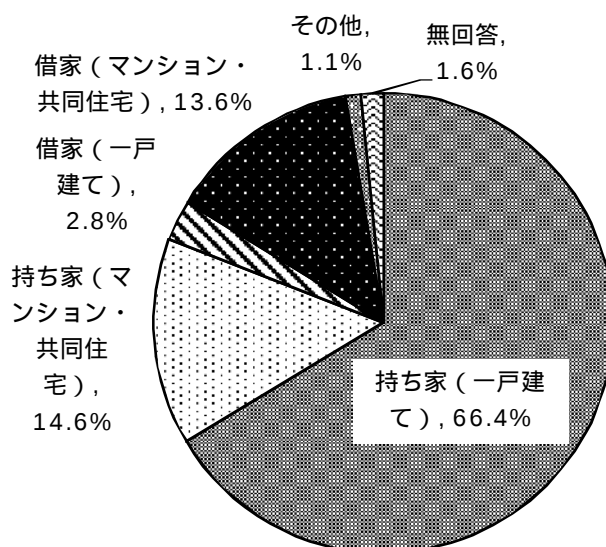
(カ) あなたは、平塚市にお住まいになって何年になりますか。

1	2 年未満	3.4%
2	2 年以上～5 年未満	5.7%
3	5 年以上～10 年未満	6.6%
4	10 年以上～20 年未満	14.0%
5	20 年以上～30 年未満	15.5%
6	30 年以上	53.4%
	無回答	1.5%



(キ) あなたの現在のお住まいについてお答えください。

1	持ち家（一戸建て）	66.4%
2	持ち家（マンション・共同住宅）	14.6%
3	借家（一戸建て）	2.8%
4	借家（マンション・共同住宅）	13.6%
5	その他	1.1%
	無回答	1.6%

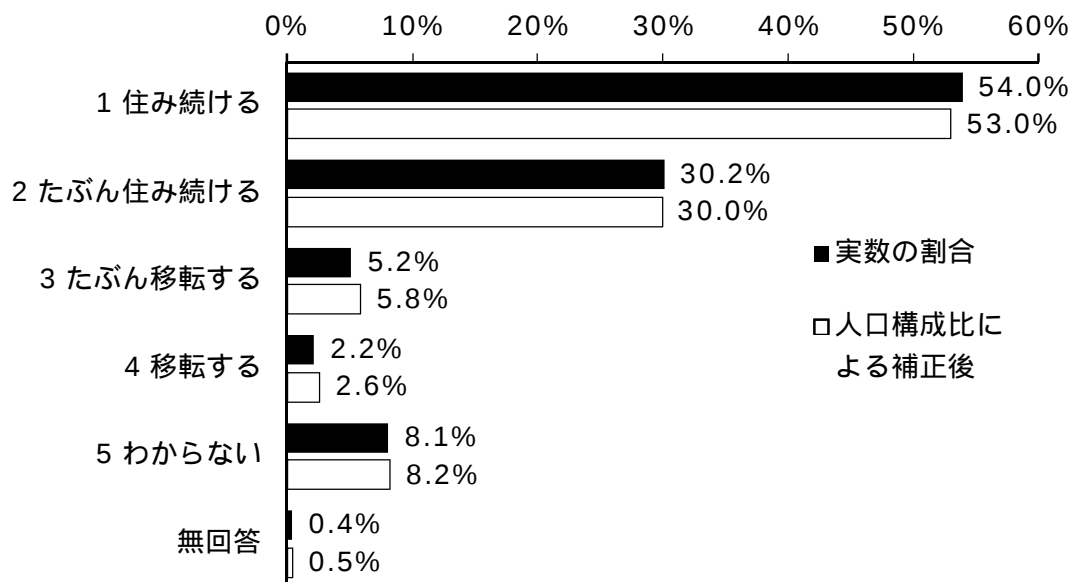


【１】 あなたの今後における平塚市への居留意向などについて

（問１）あなたは、今後も平塚市に住み続けようと思いますか。

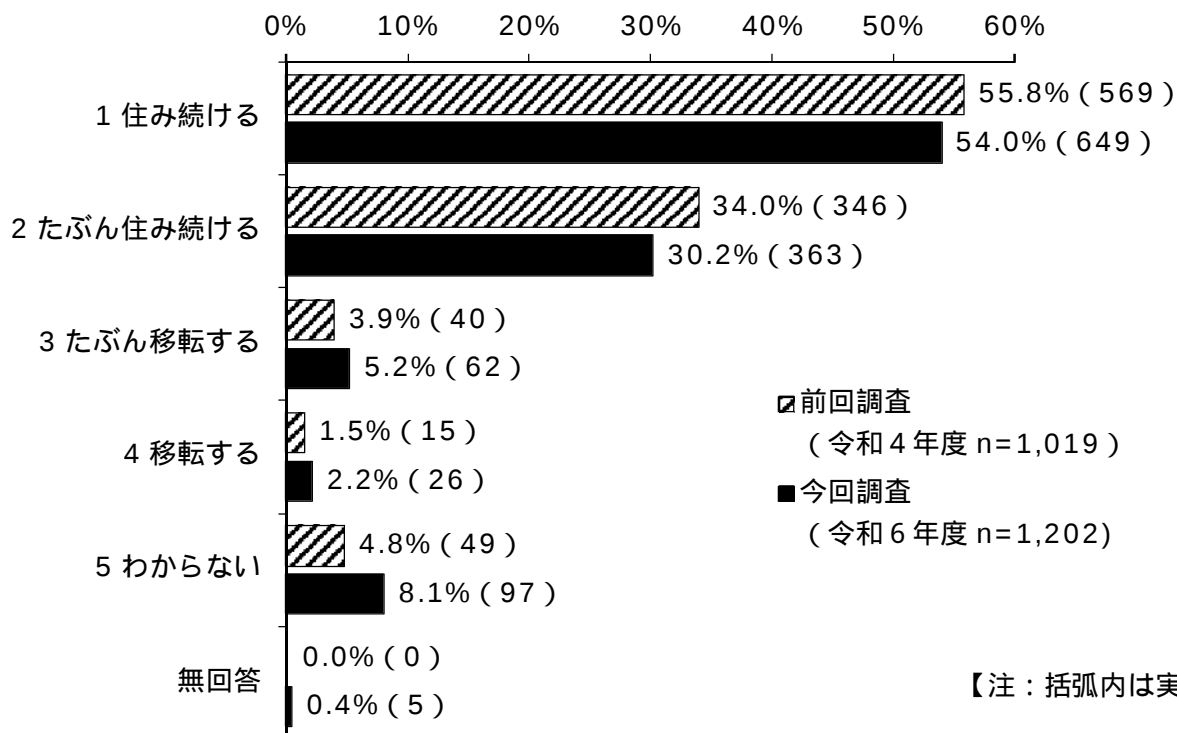
【全体の傾向】

平塚市への居留意向については、「１ 住み続ける」が 54.0%と最も高く、「２ たぶん住み続ける」の 30.2%を合わせると 84.2%となり、大半を占めている。また、「３ たぶん移転する」と「４ 移転する」を合わせた市外への『移転意向』は 7.4%となっている。



【前回調査との比較】

「１ 住み続ける」が 1.8 ポイント、「２ たぶん住み続ける」が 3.8 ポイント減少した。一方、「５ わからない」が 3.3 ポイント増加した。

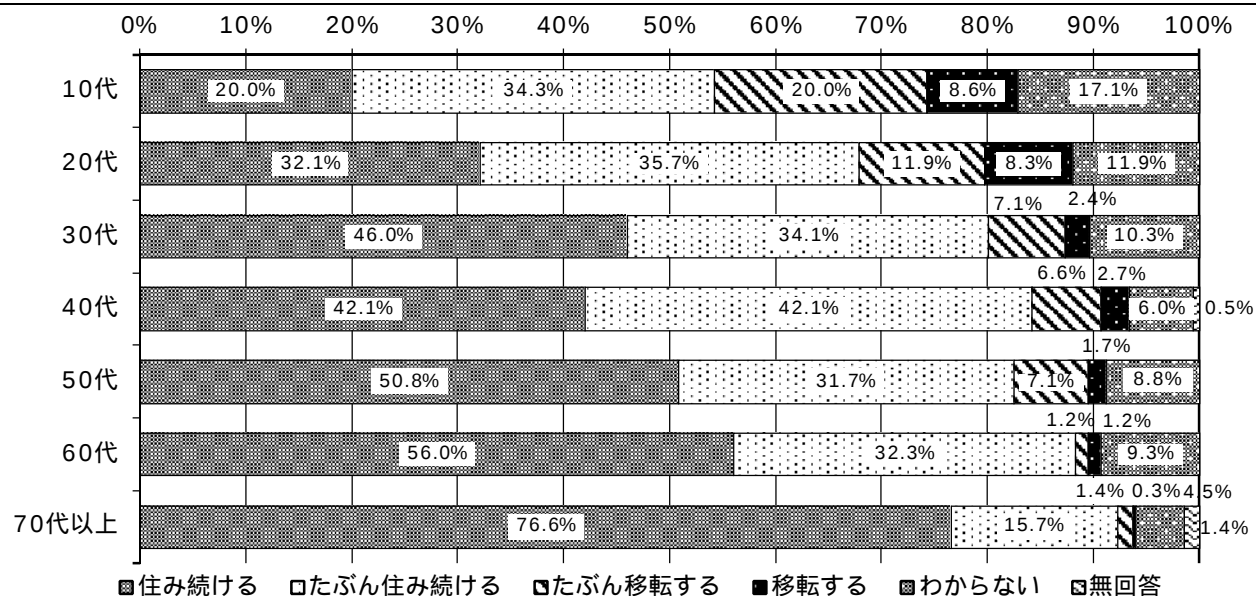


【注：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

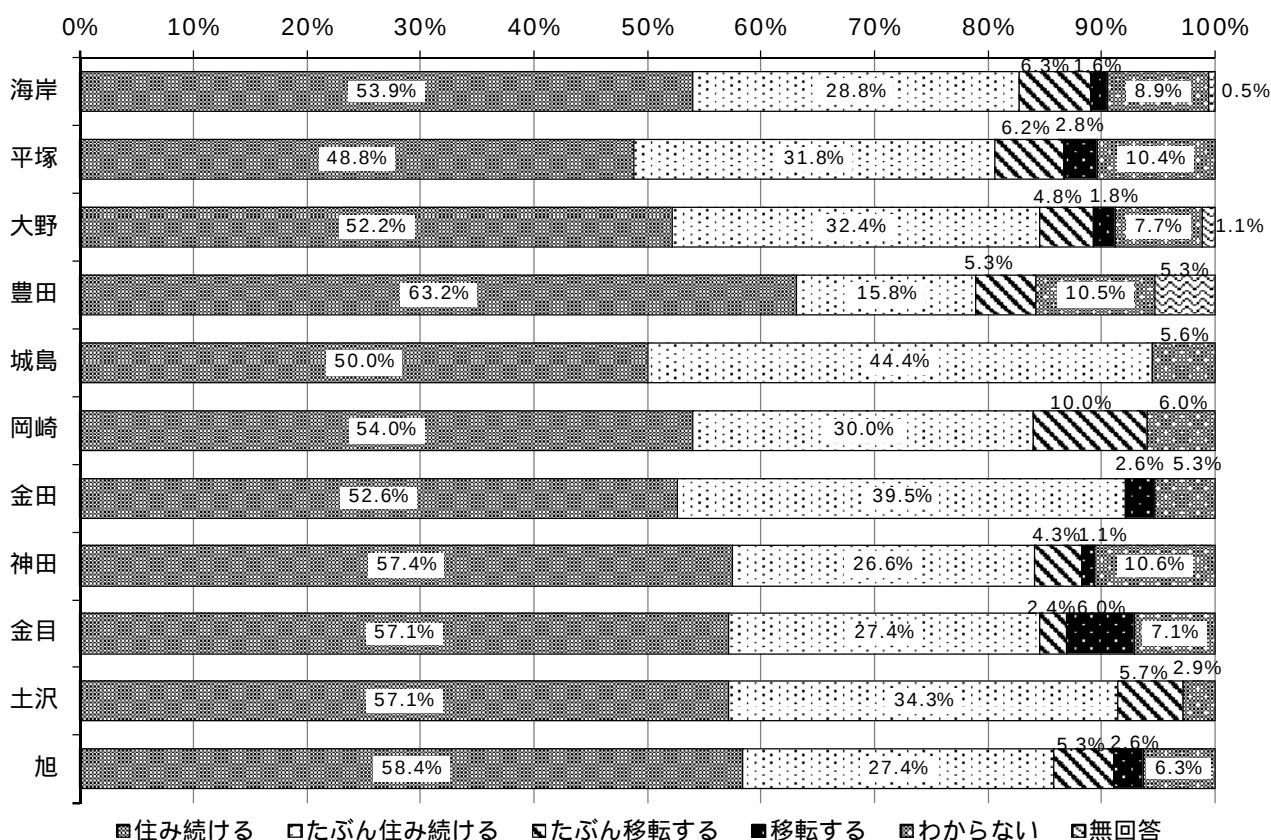
「1 住み続ける」と「2 たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』は、10代では54.3%、20代では67.8%となっているが、年代が上がるにしたがって増加する傾向にある。

一方、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた『移転意向』は10代が最も高く28.6%となっている。次いで、20代が20.2%と続いている。



【地区別の傾向】

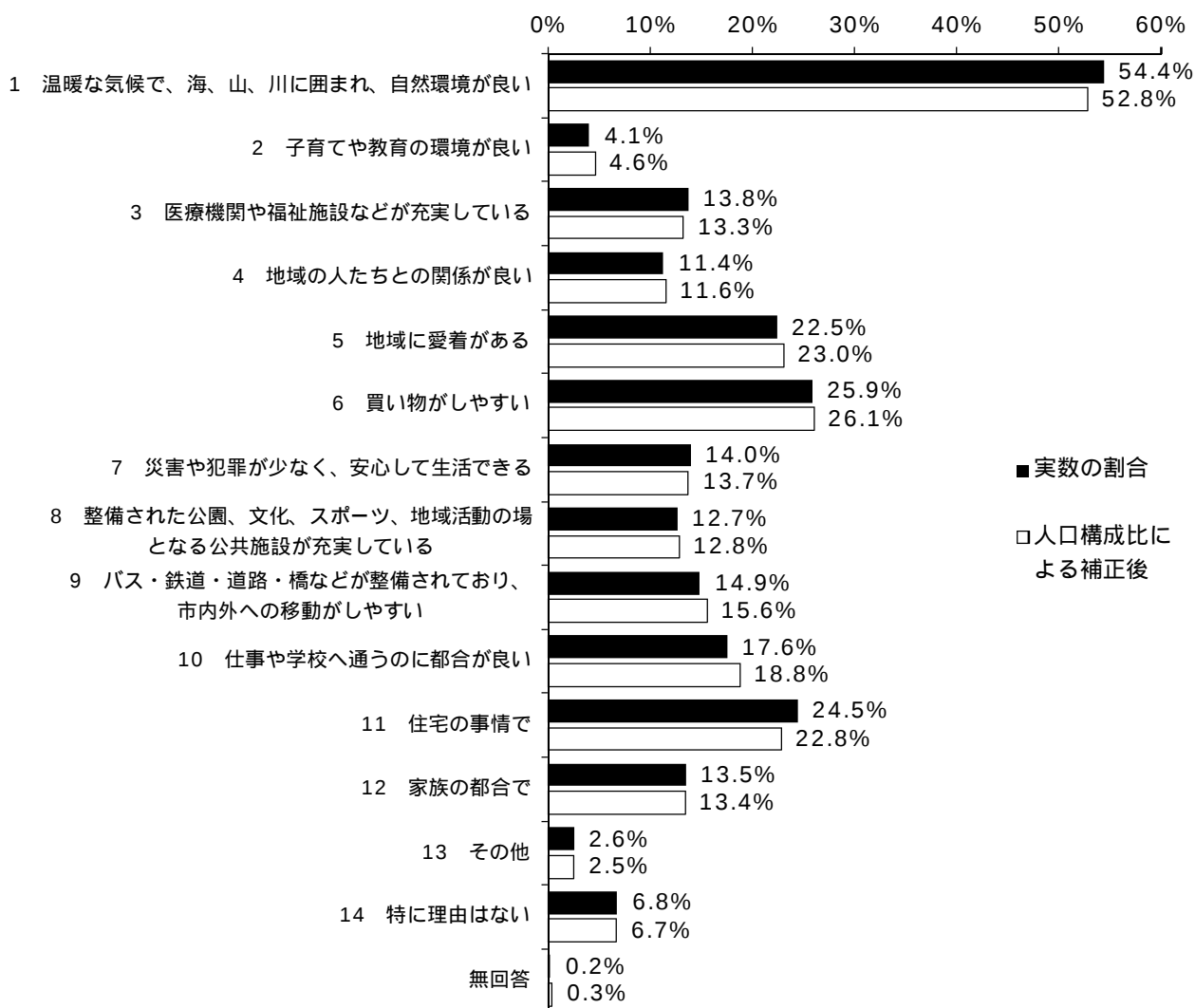
「1 住み続ける」と「2 たぶん住み続ける」を合わせた『定住意向』が最も高いのは城島地区で、94.4%となっている。一方、「3 たぶん移転する」と「4 移転する」を合わせた『移転意向』は岡崎地区が10.0%で、最も高くなっている。



(問2)(問1)で「1」または「2」と答えた方。平塚市に住み続けようと思う主な理由はどのようなことですか。

【全体の傾向】

平塚市に住み続けようと思う主な理由は「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が54.4%で、最も高くなっている。次いで、「6 買い物がしやすい」が25.9%、「11 住宅の事情で」が24.5%、「5 地域に愛着がある」が22.5%と続いている。

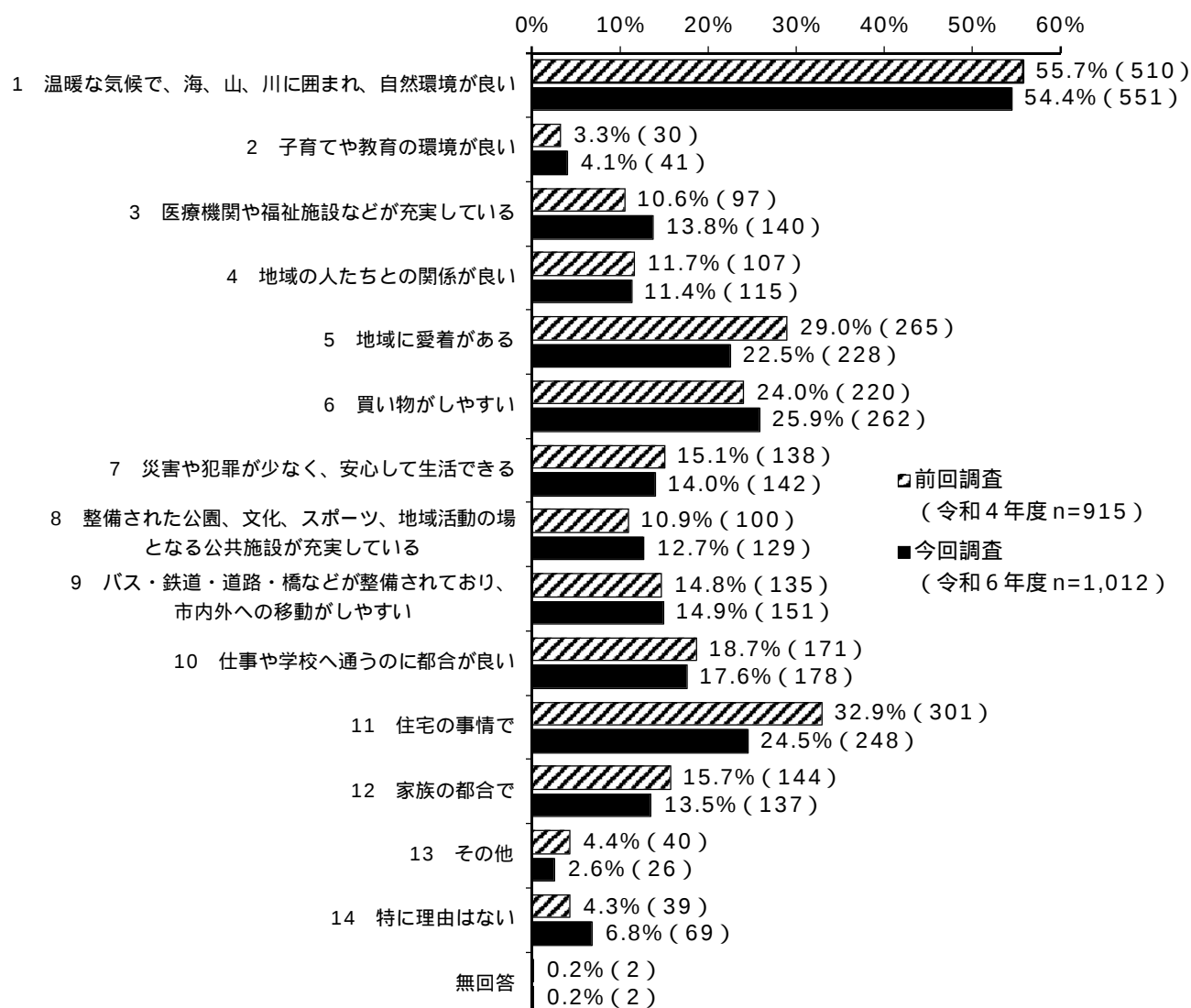


【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査と同様、「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高くなった。

「3 医療機関や福祉施設などが充実している」が3.2ポイントと最も増加した。一方、「11 住宅の事情で」が8.4ポイント減少した。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

30代以上では「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高くなっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	買い物がしやすい 36.8%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 31.6%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 29.8%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 24.6%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる/整備された公園、文化、スポーツ、地域活動の場となる公共施設が充実している 21.1%
20代	仕事や学校へ通うのに都合が良い 42.1%	買い物がしやすい 31.6%	地域に愛着がある 29.8%	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい 24.6%	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 19.3%
30代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 36.6%	買い物がしやすい 31.6%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 27.7%	地域に愛着がある 26.7%	住宅の事情で/家族の都合で 25.7%
40代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 42.9%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 33.1%	住宅の事情で 29.9%	家族の都合で 22.7%	地域に愛着がある 19.5%
50代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 49.5%	住宅の事情で 28.3%	買い物がしやすい 27.3%	地域に愛着がある 26.8%	仕事や学校へ通うのに都合が良い 22.7%
60代	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 63.5%	住宅の事情で 31.5%	買い物がしやすい 26.9%	地域に愛着がある 18.7%	医療機関や福祉施設などが充実している 18.3%
70代以上	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い 73.5%	買い物がしやすい 26.1%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる 24.2%	地域に愛着がある 20.5%	医療機関や福祉施設などが充実している 19.3%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全ての地区で「1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が最も高くなっている。

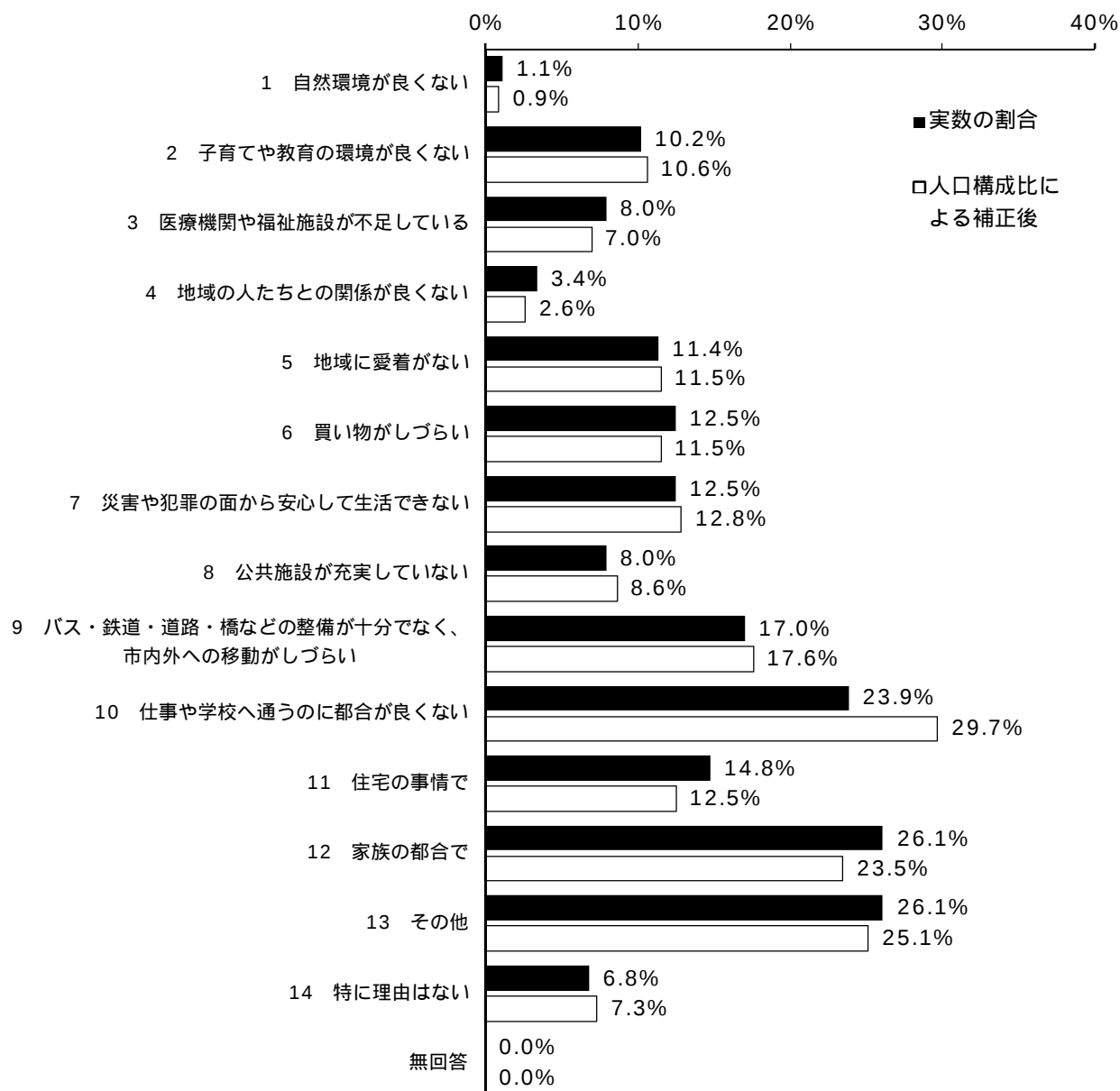
	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
海岸	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	買い物がしやすい	地域に愛着がある	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい	仕事や学校へ通うのに都合が良い
	75.3%	25.3%	20.9%	18.4%	17.7%
平塚	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	買い物がしやすい	地域に愛着がある	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい	住宅の事情で
	55.3%	34.1%	24.1%	23.5%	21.8%
大野	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	買い物がしやすい	住宅の事情で	整備された公園、文化、スポーツ、地域活動の場となる公共施設が充実している	仕事や学校へ通うのに都合が良い
	47.4%	30.0%	27.4%	22.2%	20.9%
豊田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	仕事や学校へ通うのに都合が良い	地域に愛着がある / 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる		地域の人たちとの関係が良い / 買い物がしやすい / 住宅の都合で
	60.0%	33.3%	26.7%		20.0%
城島	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	地域に愛着がある / 特ご理由はない		住宅の事情で / 家族の都合で	
	41.2%	29.4%		23.5%	
岡崎	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	住宅の事情で	家族の都合で	地域に愛着がある	医療機関や福祉施設などが充実している
	52.4%	31.0%	26.2%	23.8%	16.7%
金田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	地域に愛着がある	買い物がしやすい	バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい / 仕事や学校へ通うのに都合が良い	
	62.9%	28.6%	22.9%		17.1%
神田	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	住宅の事情で	地域に愛着がある	地域の人たちとの関係が良い / 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる / 家族の都合で	
	40.5%	35.4%	25.3%		15.2%
金目	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	住宅の事情で	地域に愛着がある	仕事や学校へ通うのに都合が良い / 家族の都合で	
	46.5%	35.2%	21.1%		18.3%
土沢	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる	住宅の事情で	地域に愛着がある / 家族の都合で	
	56.3%	28.1%	25.0%		18.8%
旭	温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	買い物がしやすい	地域に愛着がある	住宅の事情で	仕事や学校へ通うのに都合が良い
	52.8%	32.5%	23.9%	22.1%	19.6%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

(問3)(問1)で「3」または「4」と答えた方。市外に移転しようと思う主な理由はどのようなことですか。

【全体の傾向】

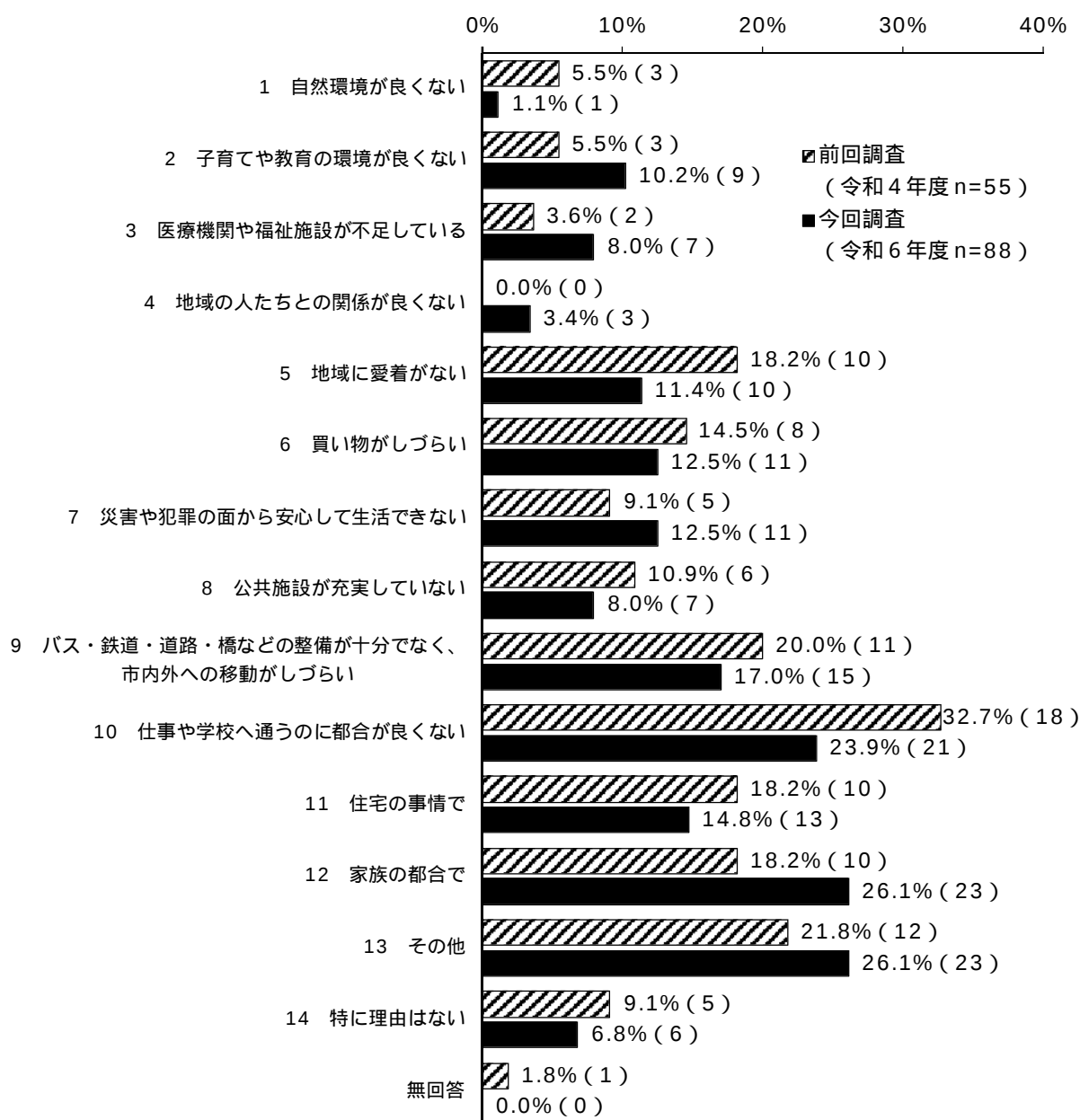
問1で市外への移転意向を持つと答えた7.4%の方に聞いたところ、その理由としては「12 家族の都合で」、「13 その他」が26.1%と最も高くなっている。次いで、「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が23.9%、「9 バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい」が17.0%と続いている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

前回調査から大きく変化が見られた項目として、「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が8.8ポイント、「5 地域に愛着がない」が6.8ポイント減少した。一方、「12 家族の都合で」が7.9ポイント増加した。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

10代、20代及び30代では「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」が最も高くなっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 60.0%	災害や犯罪の面から安心して生活できない/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 30.0%	地域に愛着がない/公共施設が充実していない 20.0%		
20代	仕事や学校へ通うのに都合が良くない 52.9%	その他 29.4%	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい/家族の都合で 17.6%	子育てや教育の環境が良くない/災害や犯罪の面から安心して生活できない 11.8%	
30代	地域に愛着がない/仕事や学校へ通うのに都合が良くない/その他 33.3%			子育てや教育の環境が良くない/医療機関や福祉施設が不足している/家族の都合で/特に理由はない 16.7%	
40代	家族の都合で 41.2%	その他 29.4%	住宅の都合で 23.5%	買い物に不便 17.6%	子育てや教育の環境が良くない/医療機関や福祉施設が不足している/地域の人たちとの関係が良くない/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 11.8%
50代	家族の都合で/その他 38.1%		住宅の都合で 28.6%	災害や犯罪の面から安心して生活できない 19.0%	子育てや教育の環境が良くない/地域に愛着がない/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい 9.5%
60代	買い物に不便/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい/家族の都合で 33.3%			医療機関や福祉施設が不足している/地域の人たちとの関係が良くない/災害や犯罪の面から安心して生活できない/その他 16.7%	
70代以上	医療機関や福祉施設が不足している/買い物に不便/公共施設が充実していない/バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい/住宅の都合で 40.0%				

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全11地区中4つの地区で「10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない」、「その他」が最も高くなっている。

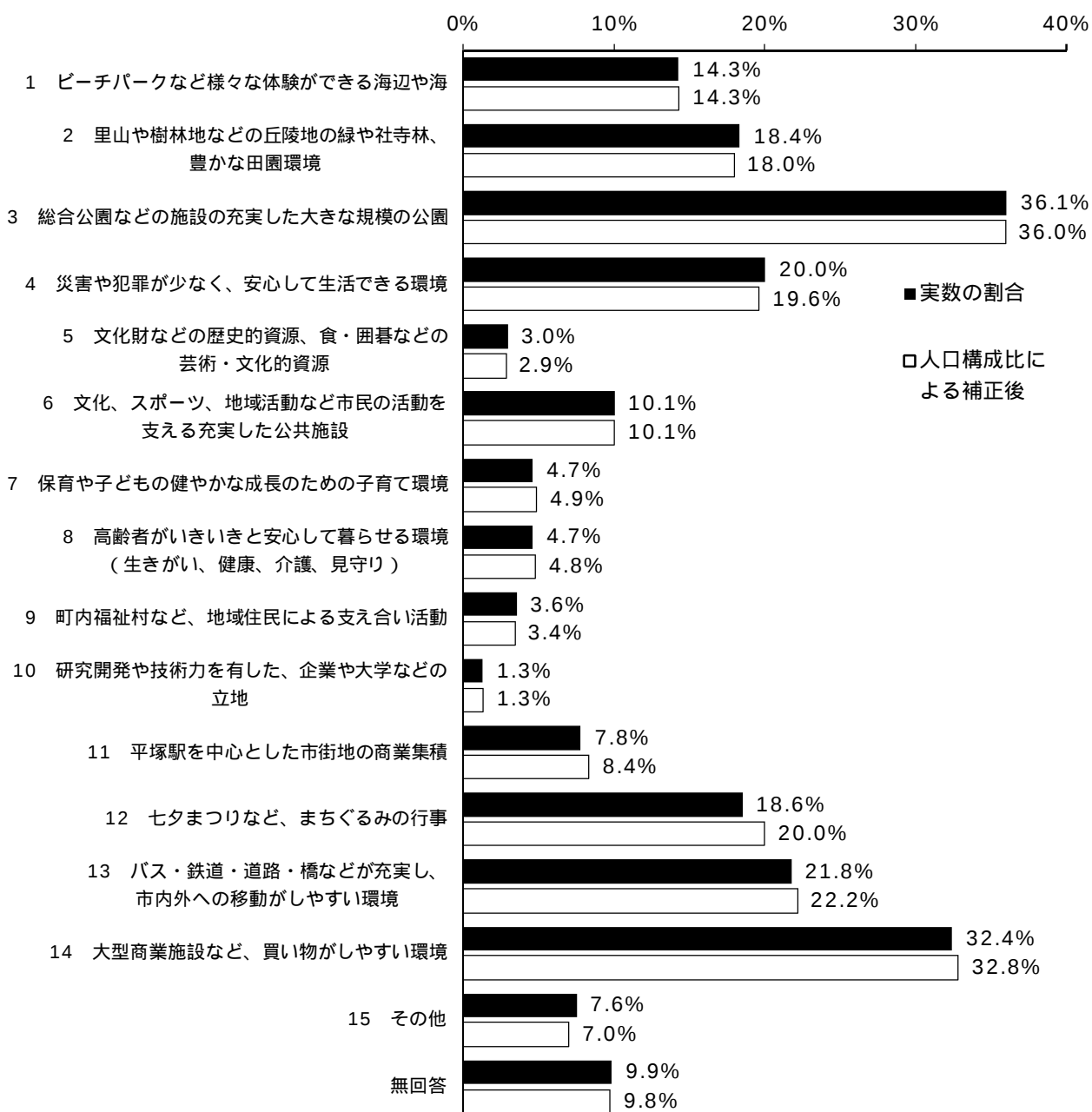
	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
海岸	その他	災害や犯罪の面から安心して生活できない V 仕事や学校へ通うのに都合が良くない		公共施設が充実していない V 住宅の都合で/家族の都合で	
	53.3%	20.0%		13.3%	
平塚	家族の都合で	住宅の都合で	買い物がしづらい V 仕事や学校へ通うのに都合が良くない		その他
	42.1%	26.3%	21.1%		15.8%
大野	地域に愛着がない V 仕事や学校へ通うのに都合が良くない V その他			住宅の都合で/ 家族の都合で	
	27.8%			22.2%	
豊田	子育てや教育の環境が良くない V バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい V 仕事や学校へ通うのに都合が良くない				
	100.0%				
城島					
岡崎	家族の都合で	地域に愛着がない V 買い物がしづらい V 災害や犯罪の面から安心して生活できない V 公共施設が充実していない V 住宅の都合で/特に理由はない			
	40.0%	20.0%			
金田	その他				
	100.0%				
神田	地域に愛着がない V 仕事や学校へ通うのに都合が良くない V 家族の都合で			災害や犯罪の面から安心して生活できない V 公共施設が充実していない V バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい V 特に理由はない	
	40.0%			20.0%	
金目	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい	買い物がしづらい	医療機関や福祉施設が不足している/仕事や学校へ通うのに都合が良くない	子育てや教育の環境が良くない V 地域に愛着がない V 災害や犯罪の面から安心して生活できない V 住宅の都合で/家族の都合で/その他	
	57.1%	42.9%	28.6%	14.3%	
土沢	バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい V 仕事や学校へ通うのに都合が良くない		買い物がしづらい		
	100.0%		50.0%		
旭	その他	家族の都合で	子育てや教育の環境が良くない V 災害や犯罪の面から安心して生活できない V バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分でなく、市内外への移動がしづらい V 仕事や学校へ通うのに都合が良くない		
	33.3%	26.7%	13.3%		

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

(問4) あなたが平塚市に魅力や誇りを感じるのは、どのようなことですか。

【全体の傾向】

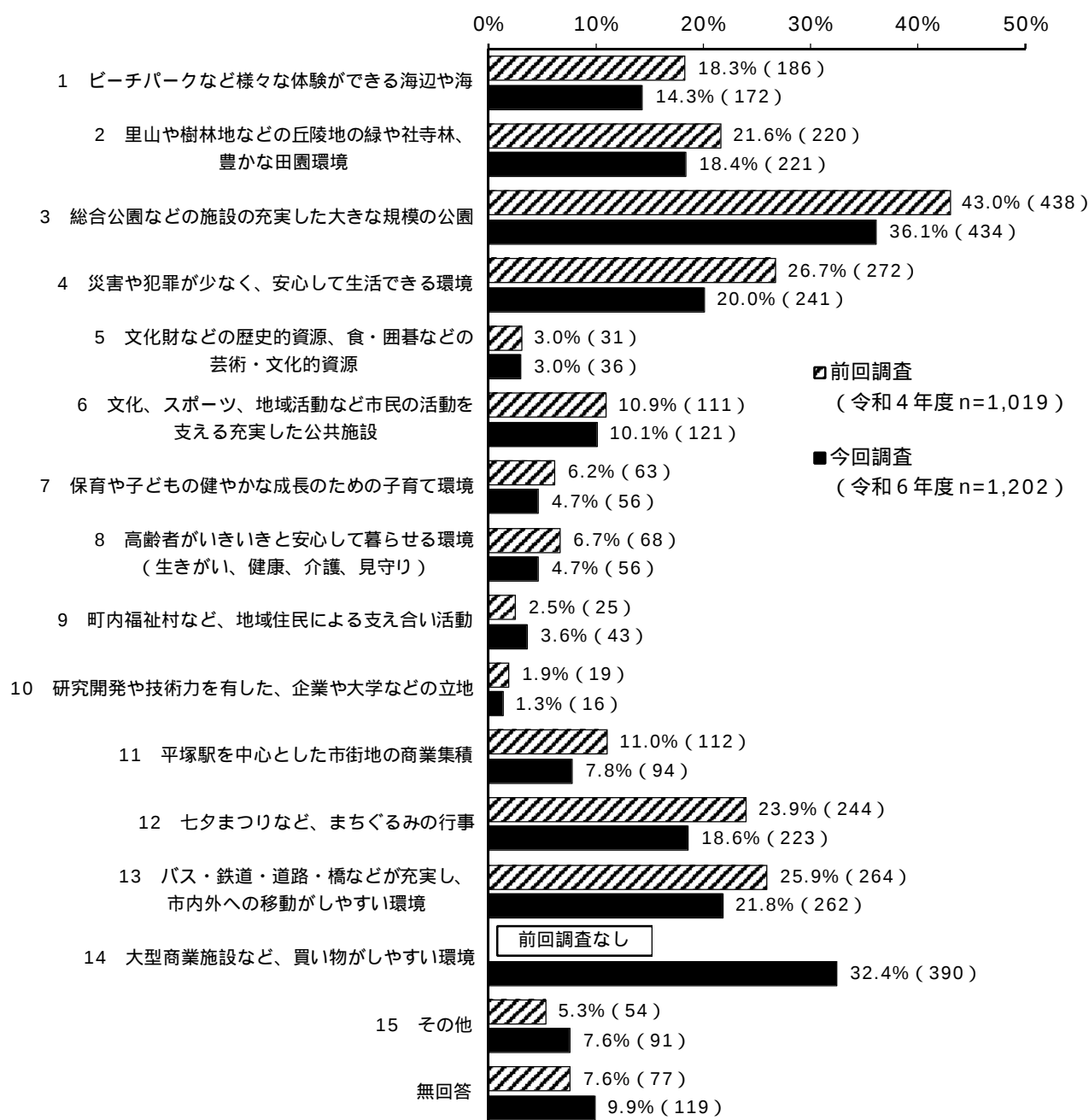
「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」が36.1%と最も高くなっている。次いで、「14 大型商業施設など、買い物がしやすい環境」が32.4%、「13 バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境」が21.8%、「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」が20.0%と続いている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【前回調査との比較】

今回調査から新たに「14 大型商業施設など、買い物がしやすい環境」を追加したため、一概に比較はできないが、前回調査において最も高かった「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」は今回調査でも最も高くなっている。また、前回調査では、「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」、「13 バス・鉄道・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境」の順だったが、今回調査では、「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」に次いで、「14 大型商業施設など、買い物がしやすい環境」、「13 バス・鉄道・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境」、「4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境」の順になっている。



【注1：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【注2：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

「3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」は30代以上で、「14 大型商業施設など、買い物がしやすい環境」は10代から60代までで、ともに2位以内になっており、年代を問わず平塚市の魅力と感じられている。

	1位	2位	3位	4位	5位
10代	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 54.3%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 42.9%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 31.4%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 25.7%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海/平塚駅を中心とした市街地の商業集積 20.0%
20代	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 35.7%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 34.5%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 29.8%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 25.0%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 15.5%
30代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 47.6%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 44.4%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 23.0%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海/バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 19.0%	
40代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 42.6%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 41.5%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 23.5%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 19.1%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 18.0%
50代	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 32.1%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 27.5%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 22.1%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 21.3%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 16.7%
60代	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 36.1%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 28.6%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 23.0%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 21.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 16.1%
70代以上	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 38.8%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 37.1%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 23.8%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 23.1%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 22.7%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

「3 総合公園など施設の充実した大きな規模の公園」は9地区で1位となっている。

	1位	2位	3位	4位	5位
海岸	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 31.4%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海 29.3%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 28.8%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 24.1%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 20.9%
平塚	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 38.9%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 37.4%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 27.5%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 20.9%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 17.1%
大野	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 48.2%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 37.5%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 26.8%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 18.8%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 18.0%
豊田	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 42.1%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 36.8%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 26.3%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境/七夕まつりなど、まちぐるみの行事 21.1%	
城島	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 55.6%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 33.3%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境/七夕まつりなど、まちぐるみの行事 27.8%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 22.2%	
岡崎	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 42.0%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境/大型商業施設など、買い物がしやすい環境 32.0%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 24.0%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 16.0%	
金田	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 36.8%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 28.9%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境/バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 26.3%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 23.7%	
神田	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園 30.9%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 29.8%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 27.7%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 20.2%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 19.1%
金目	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境/大型商業施設など、買い物がしやすい環境 27.4%	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園/災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 22.6%	ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海/災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 17.1%		
土沢	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 37.1%	七夕まつりなど、まちぐるみの行事 22.9%	大型商業施設など、買い物がしやすい環境 20.0%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 20.5%	災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境 19.5%
旭	総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園/大型商業施設など、買い物がしやすい環境 29.5%	里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境 24.2%	バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境 20.5%		

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【２】 まちづくりの状況について

（問５） 平塚市のまちづくりに対するあなたの「重要度」、「満足度」についてお答えください。

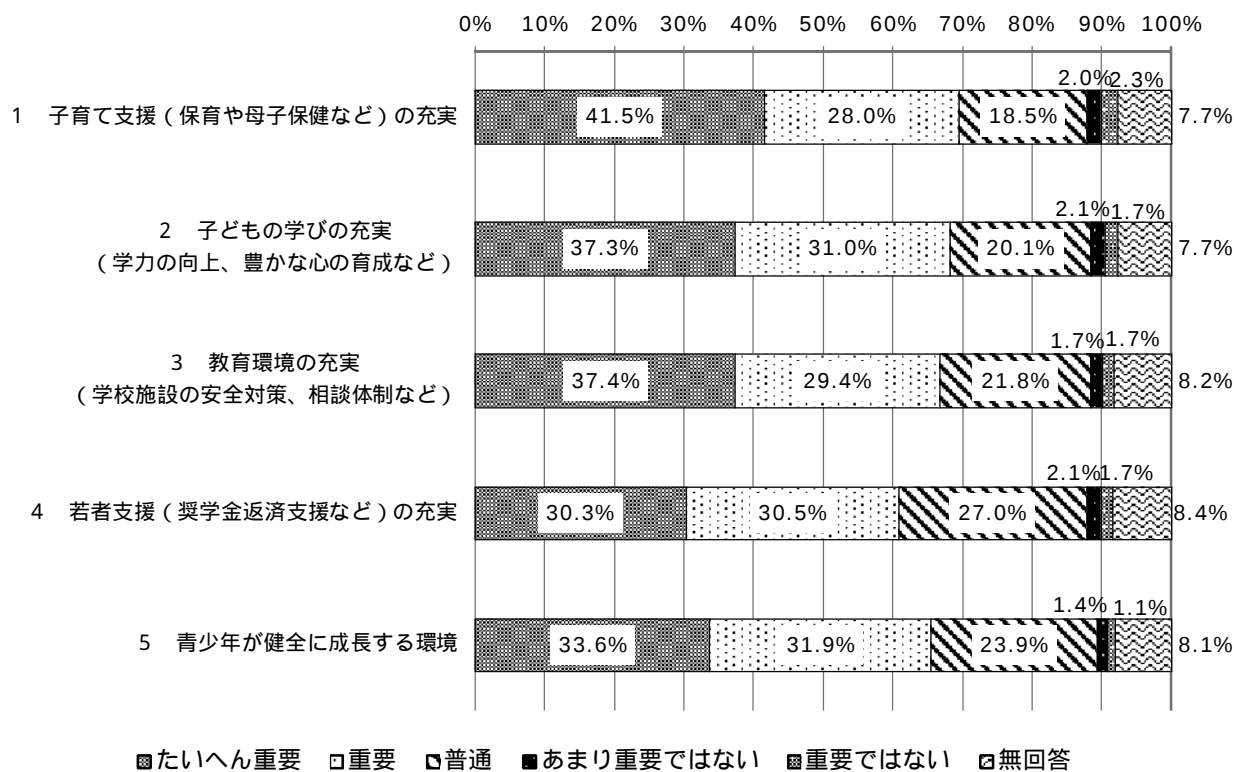
分野１ 子ども・子育て、教育

分野１ 子ども・子育て、教育「重要度」

【全体の傾向】

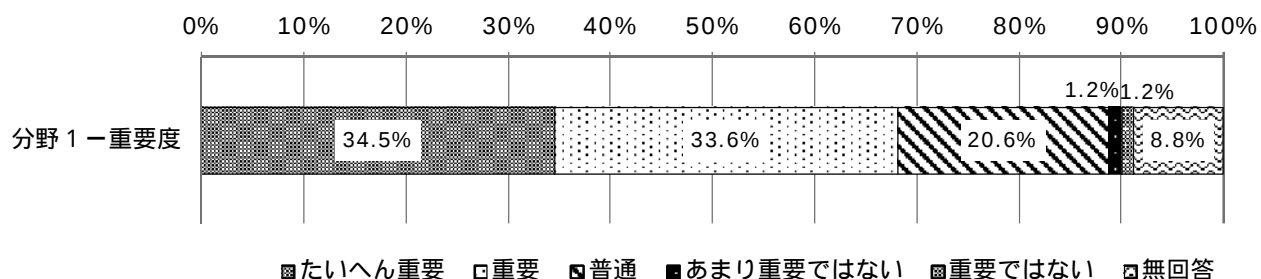
「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『１ 子育て支援（保育や母子保健など）の充実』が69.5%、『２ 子どもの学びの充実』が68.3%、と高くなっている。

一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『１ 子育て支援（保育や母子保健など）の充実』が4.3%と高くなっている。



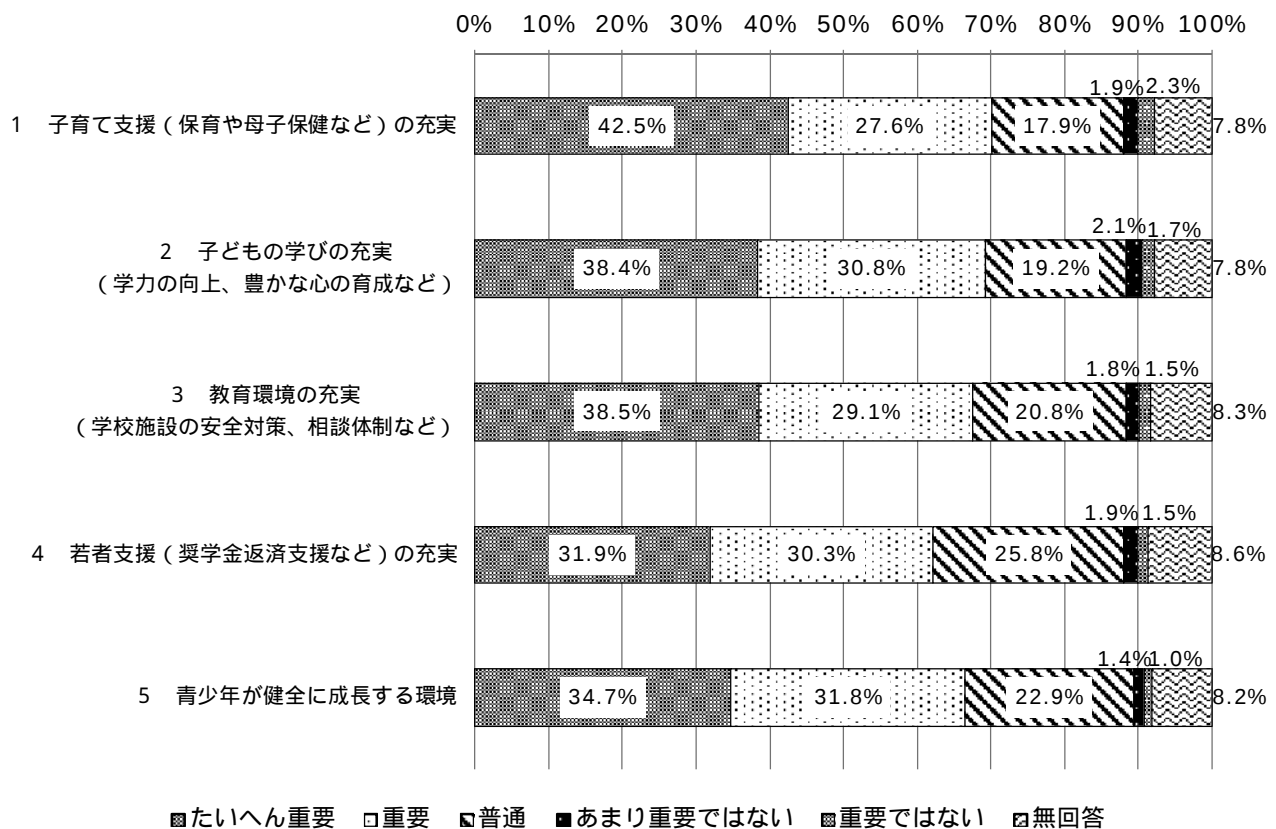
■たいへん重要 □重要 ▨普通 ■あまり重要ではない ▩重要ではない □無回答

分野１ 子ども・子育て、教育 分野全体の「重要度」

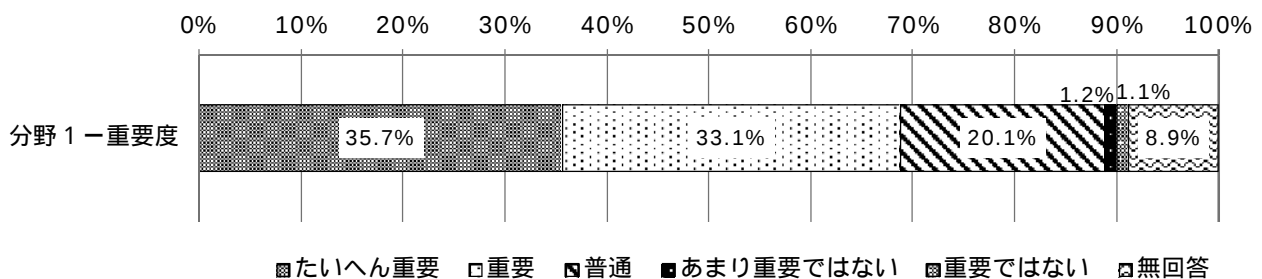


■たいへん重要 □重要 ▨普通 ■あまり重要ではない ▩重要ではない □無回答

分野1 子ども・子育て、教育「重要度」(人口比補正後)



分野1 子ども・子育て、教育 分野全体の「重要度」(人口比補正後)



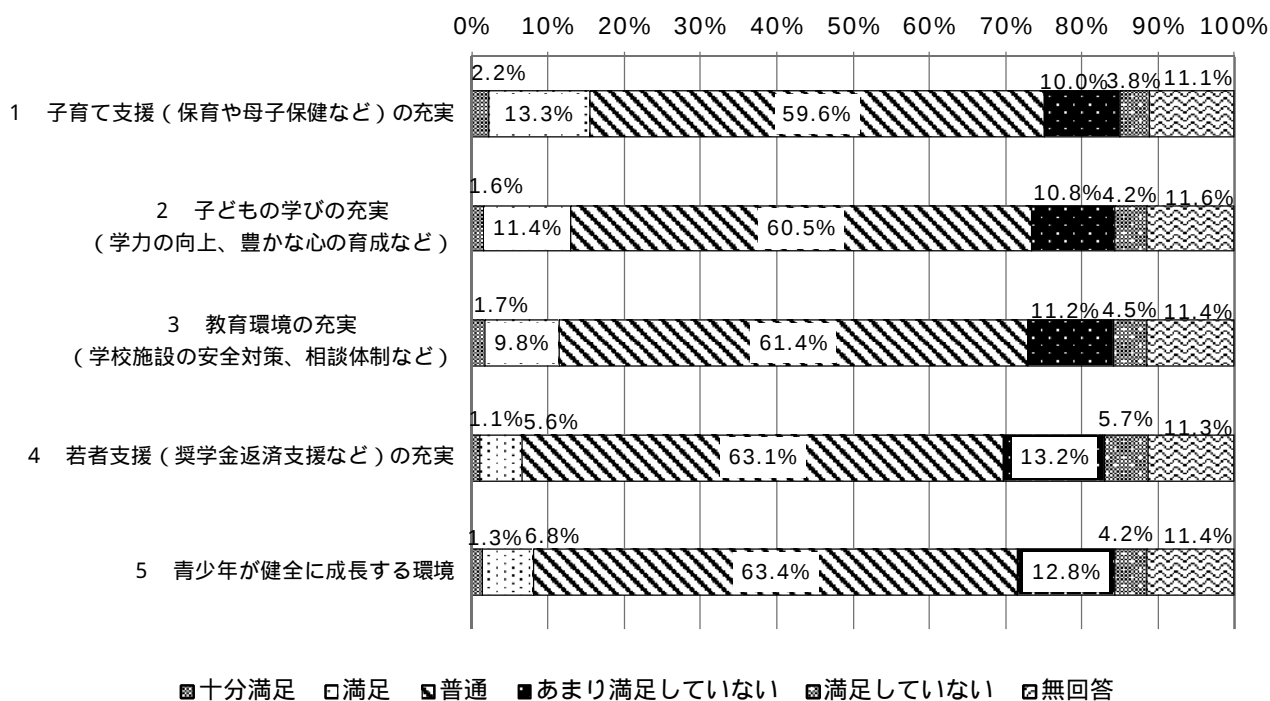
分野1 子ども・子育て、教育「満足度」

【全体の傾向】

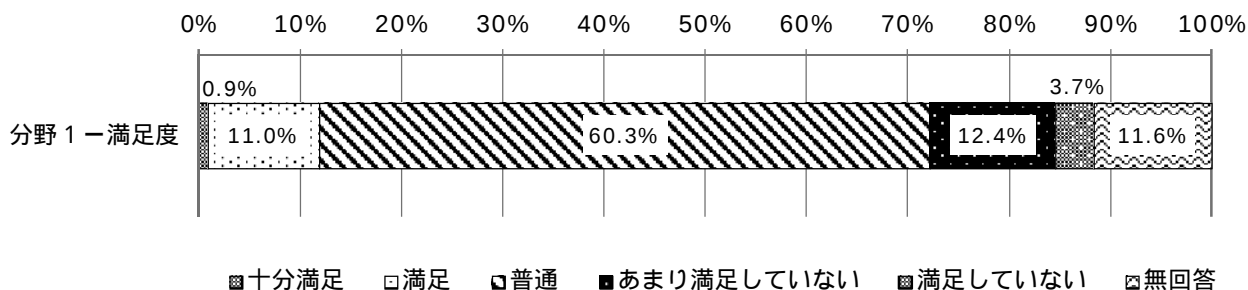
「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合では、『1 子ども・子育て支援（保育や母子保健など）の充実』が15.5%と高くなっている。

一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合では、『4 若者支援（奨学金返済支援など）の充実』が18.9%、『5 青少年が健全に成長する環境』が17.0%と高くなっている。

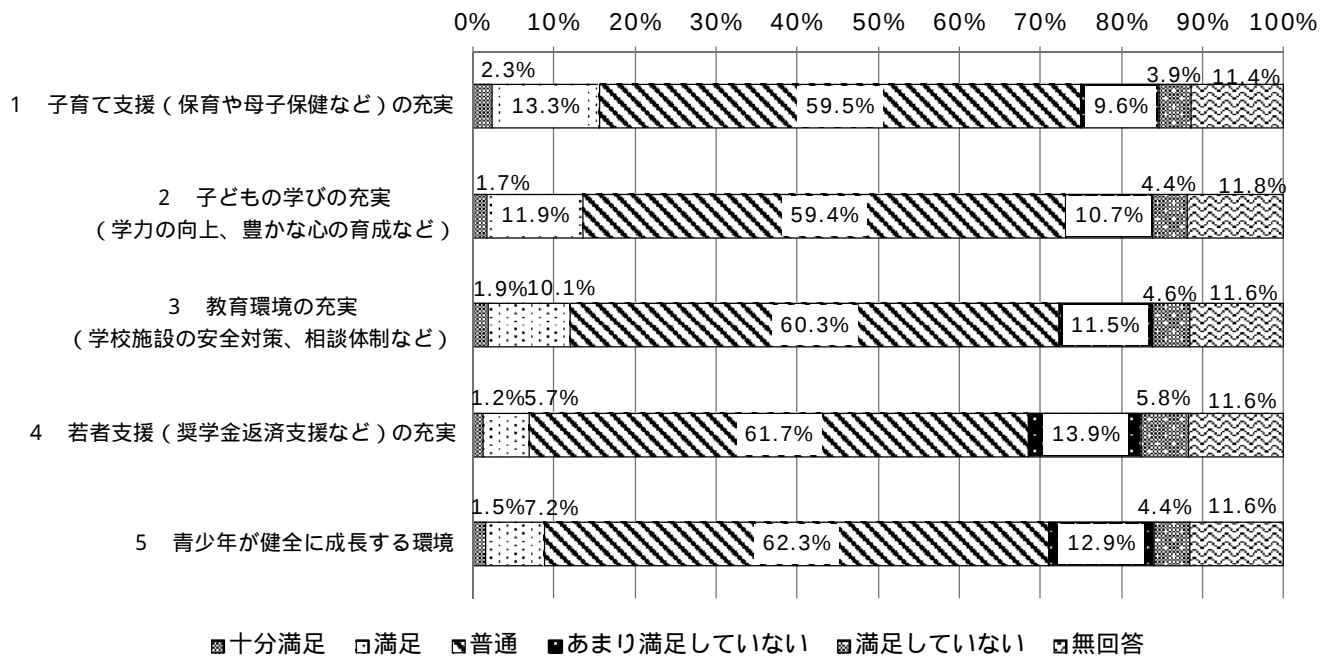
なお、「普通」の割合を見ると、この分野における全ての項目で5割を超えている。



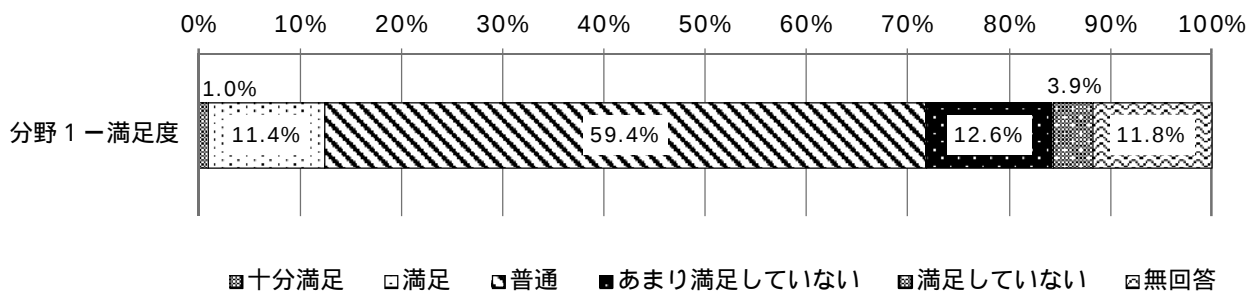
分野1 子ども・子育て、教育 分野全体の「満足度」



分野1 子ども・子育て、教育「満足度」(人口比補正後)



分野1 子ども・子育て、教育 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



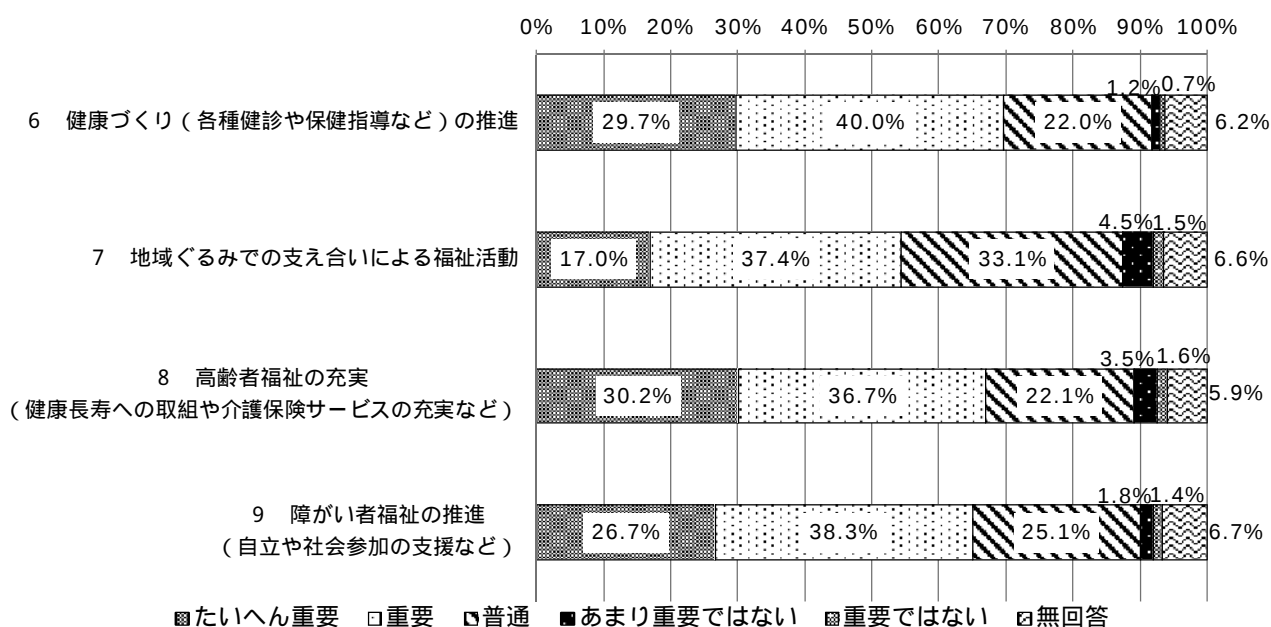
分野2 健康、福祉

分野2 健康、福祉「重要度」

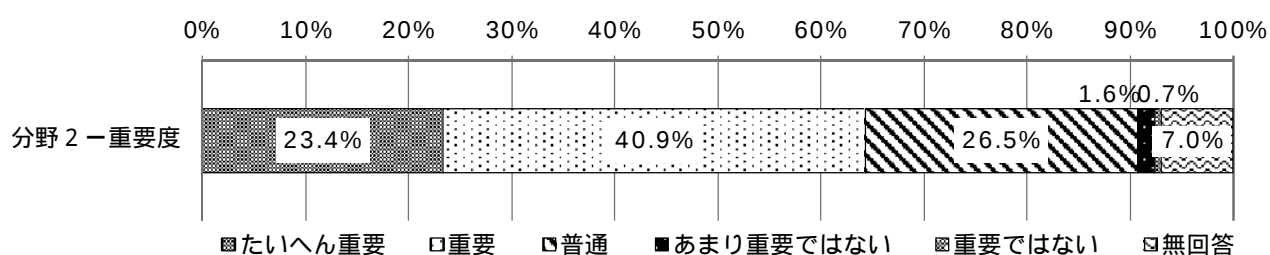
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『6 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進』が69.7%で最も高くなっている。

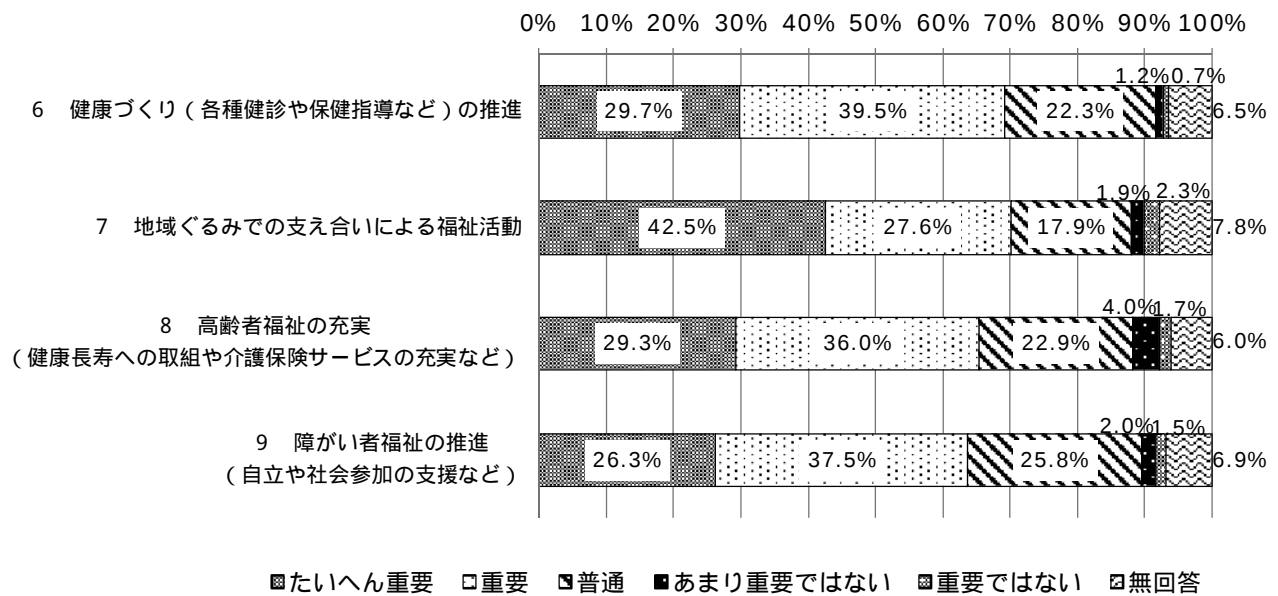
「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『7 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動』が6.0%で最も高くなっている。



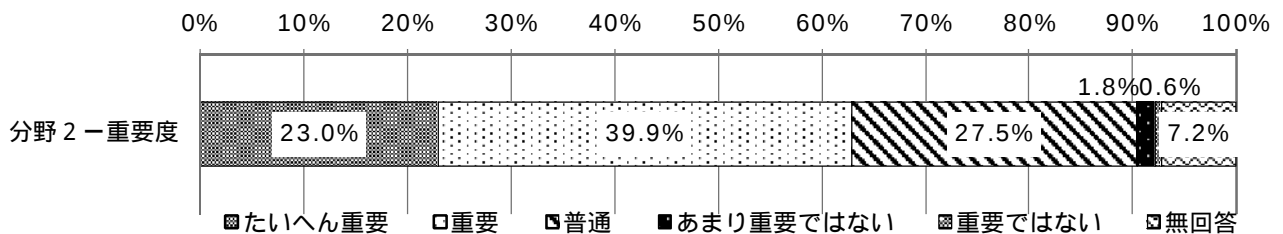
分野2 健康、福祉 分野全体の「重要度」



分野2 健康、福祉「重要度」(人口比補正後)



分野2 健康、福祉 分野全体の「重要度」(人口比補正後)



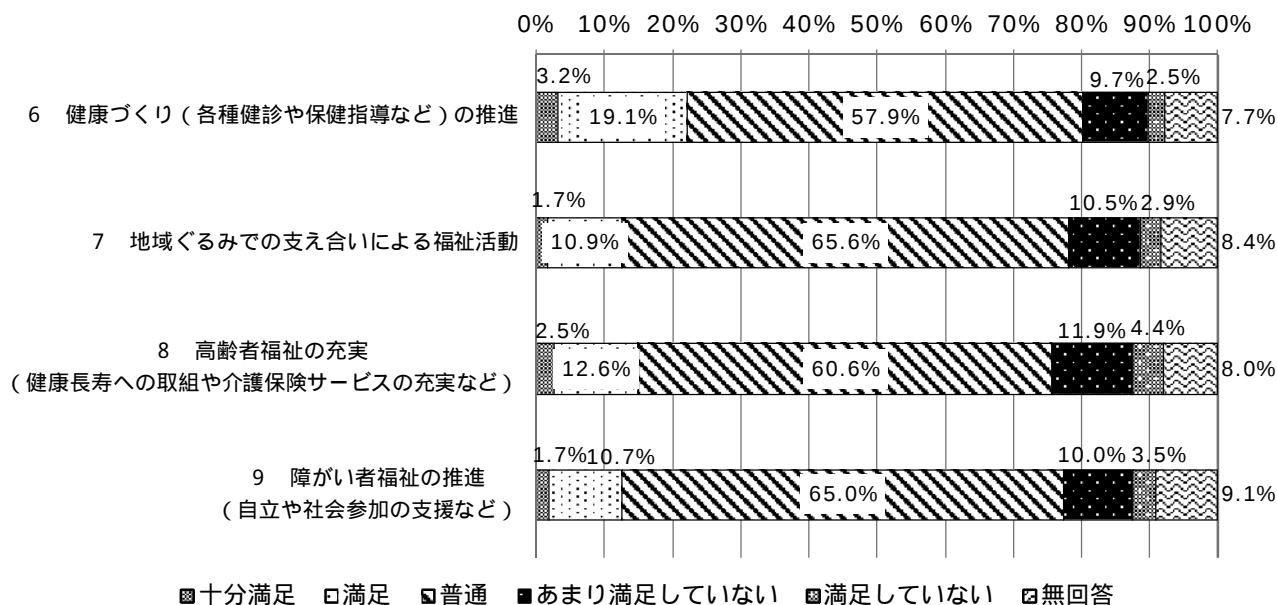
分野2 健康、福祉「満足度」

【全体の傾向】

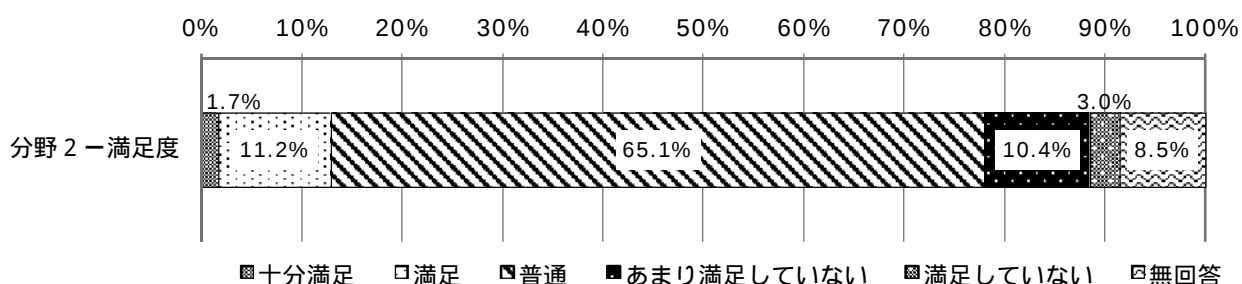
「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『6 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進』が22.3%と最も高くなっている。

一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『8 高齢者福祉の充実』が16.3%、『9 障がい者福祉の推進』が13.5%となっている。

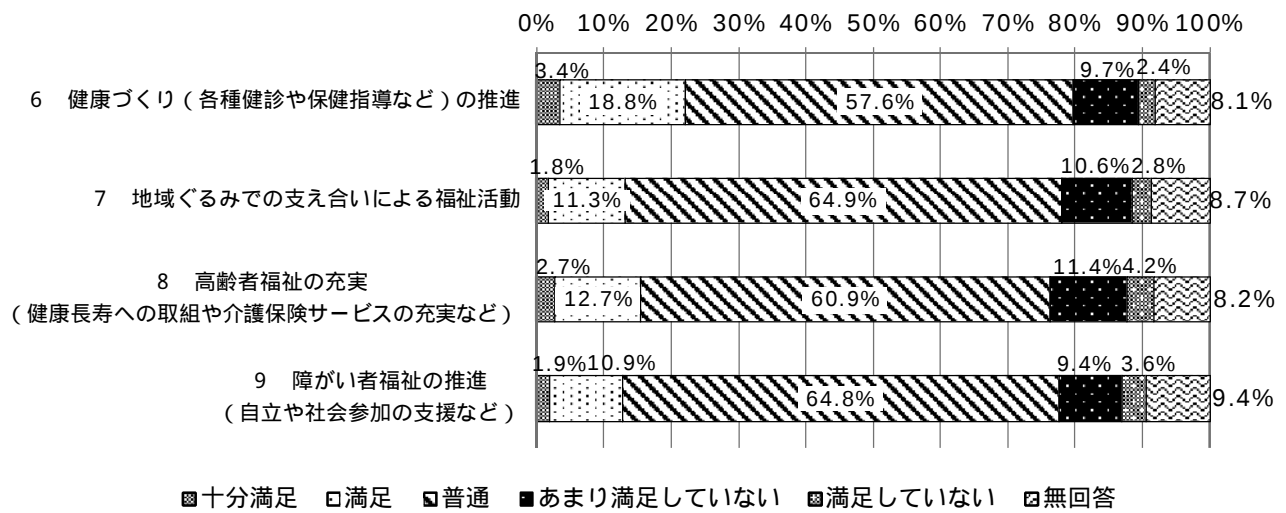
なお、「普通」の割合を見ると、この分野における全ての項目で5割を超えている。



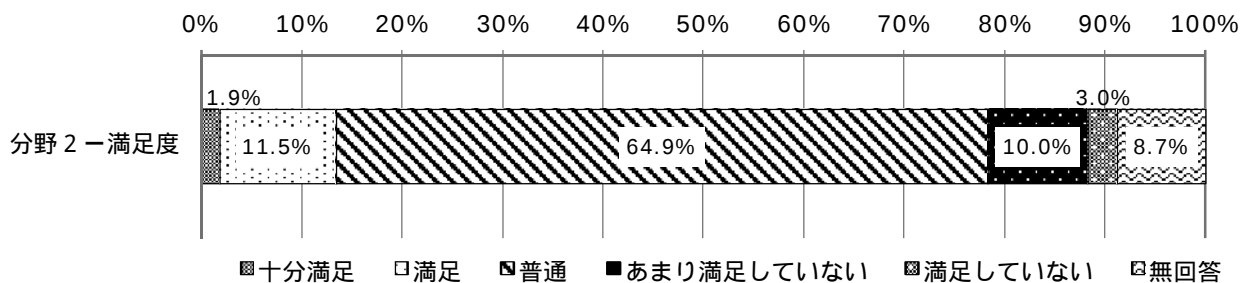
分野2 健康、福祉 分野全体の「満足度」



分野2 健康、福祉「満足度」(人口比補正後)



分野2 健康、福祉 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



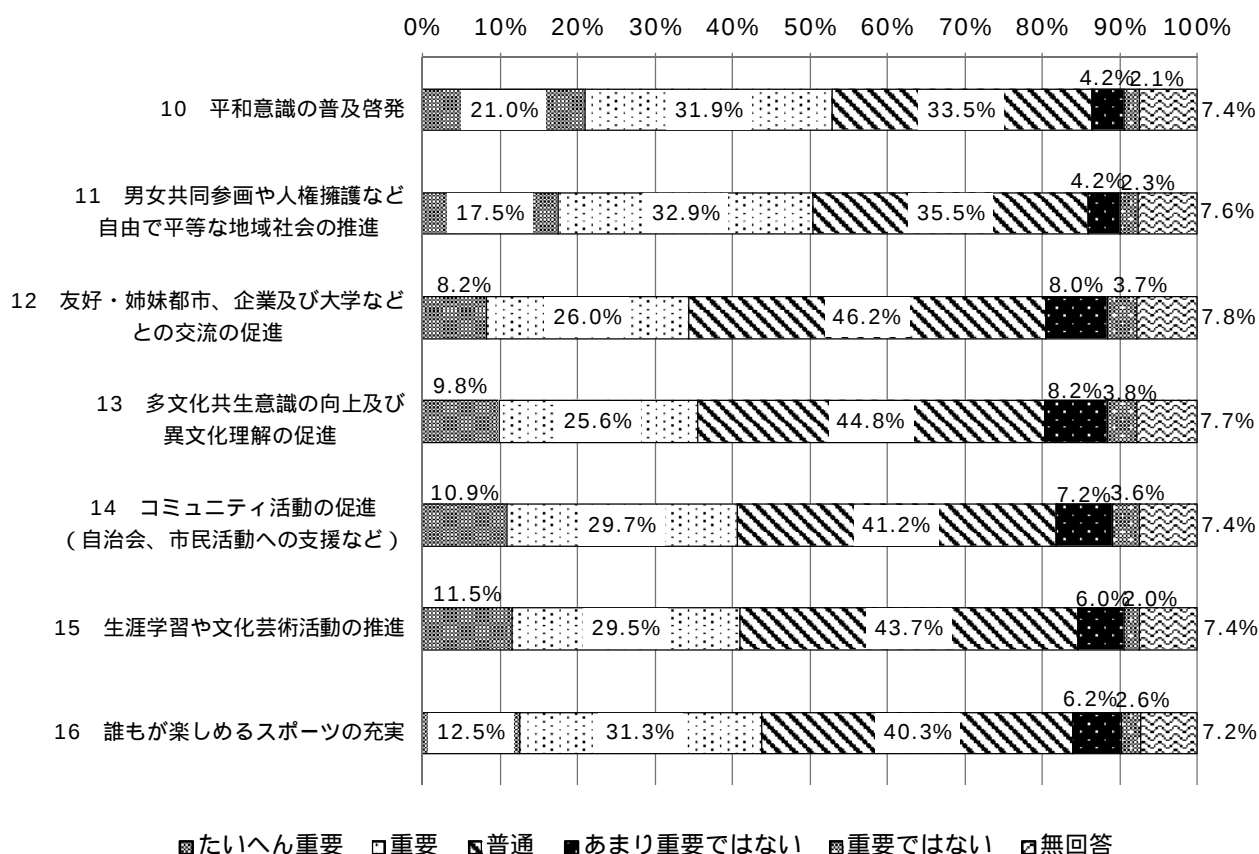
分野3 共生、文化芸術、スポーツ

分野3 共生、文化芸術、スポーツ「重要度」

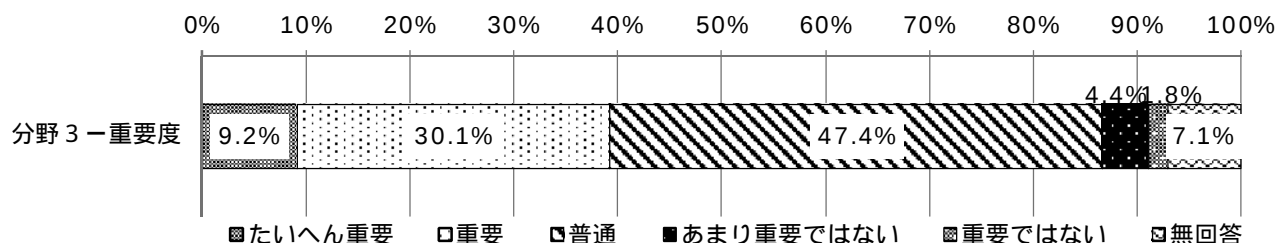
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『10 平和意識の普及啓発』が52.9%、『11 男女共同参画や人権擁護など自由で平等な地域社会の推進』が50.4%、の順で高くなっている。

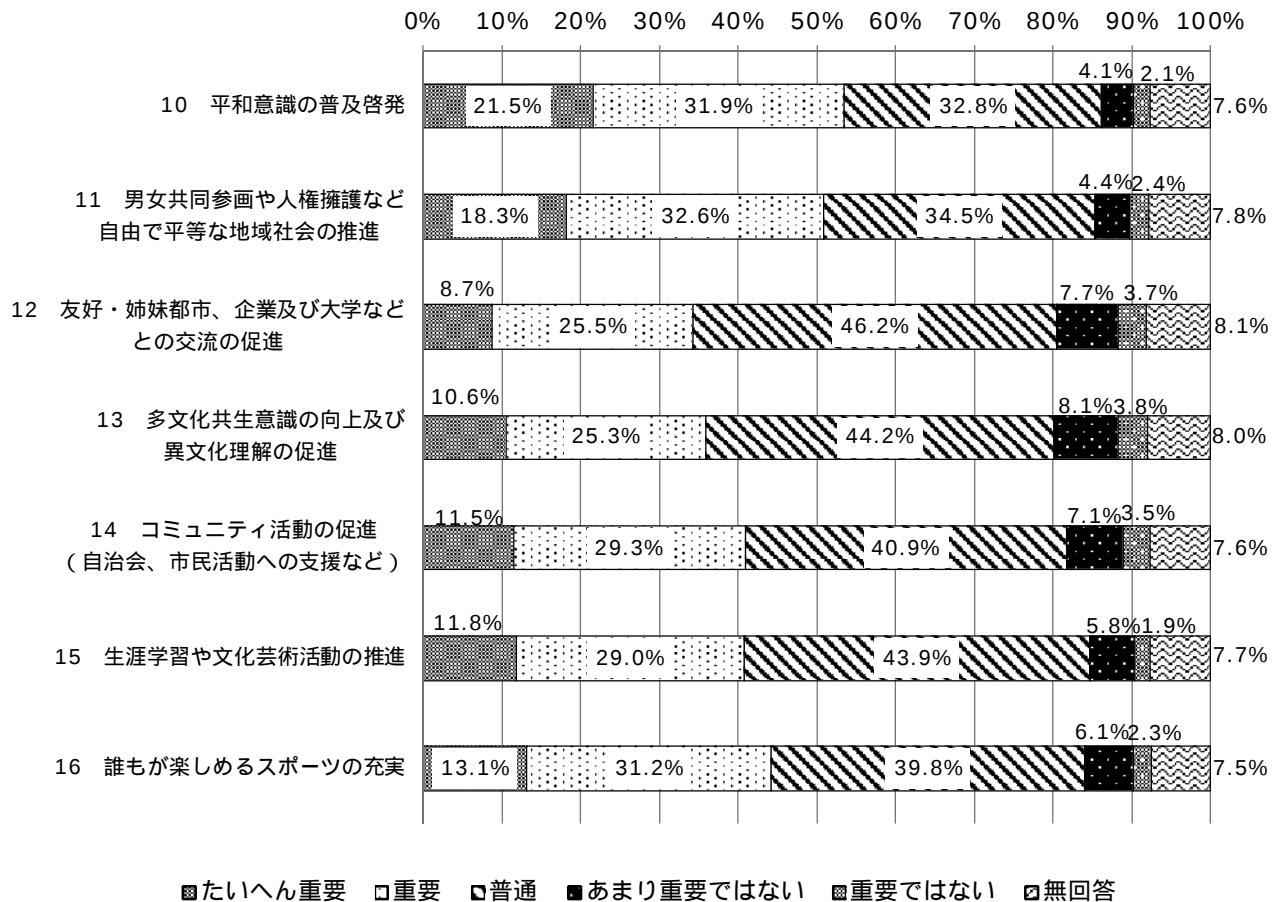
一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『13 多文化共生意識の向上及び異文化理解の促進』が12.0%、『12 友好・姉妹都市、企業及び大学などとの交流の促進』が、11.7%と高くなっている。



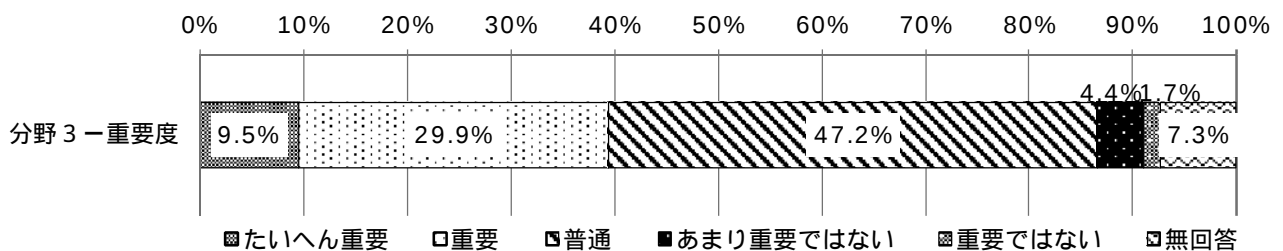
分野3 共生、文化芸術、スポーツ 分野全体の「重要度」



分野3 共生、文化芸術、スポーツ「重要度」(人口比補正後)



分野3 共生、文化芸術、スポーツ 分野全体の「重要度」(人口比補正後)



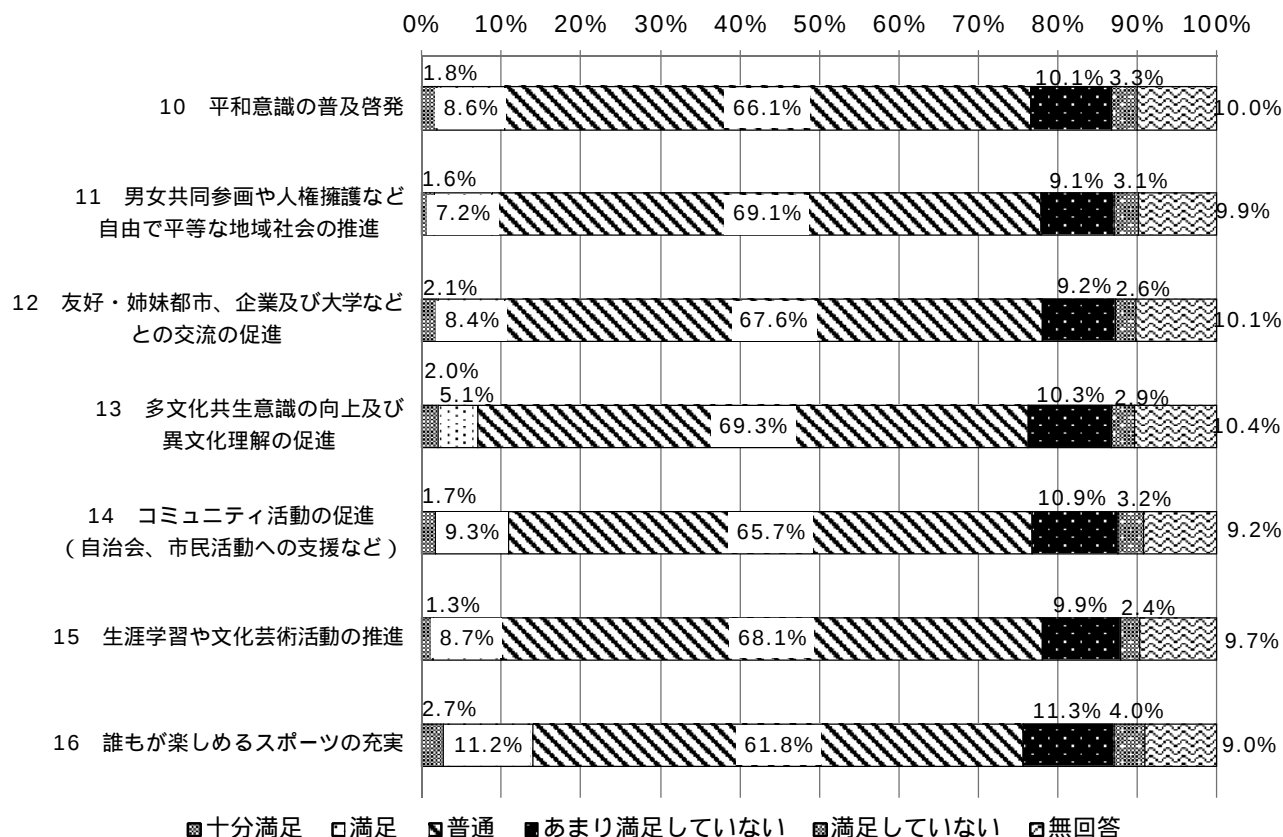
分野3 共生、文化芸術、スポーツ「満足度」

【全体の傾向】

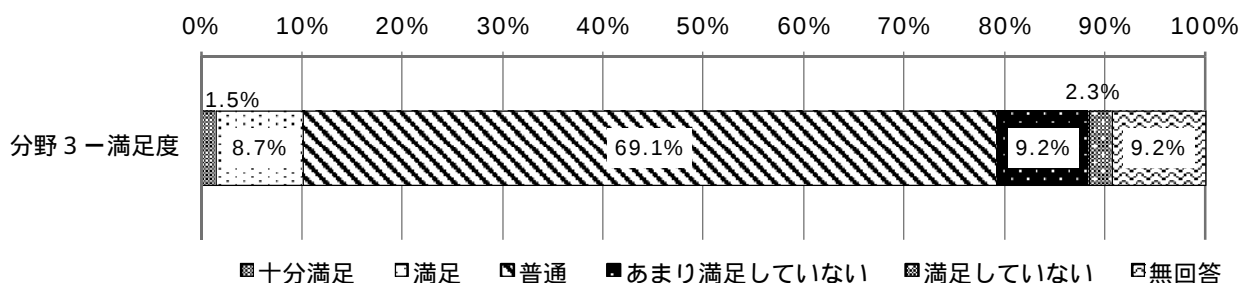
「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『16 誰もが楽しめるスポーツの充実』が13.9%で最も高くなっている。

一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『16 誰もが楽しめるスポーツの充実』で15.3%、『14 コミュニティ活動の促進』が14.1%となっている。

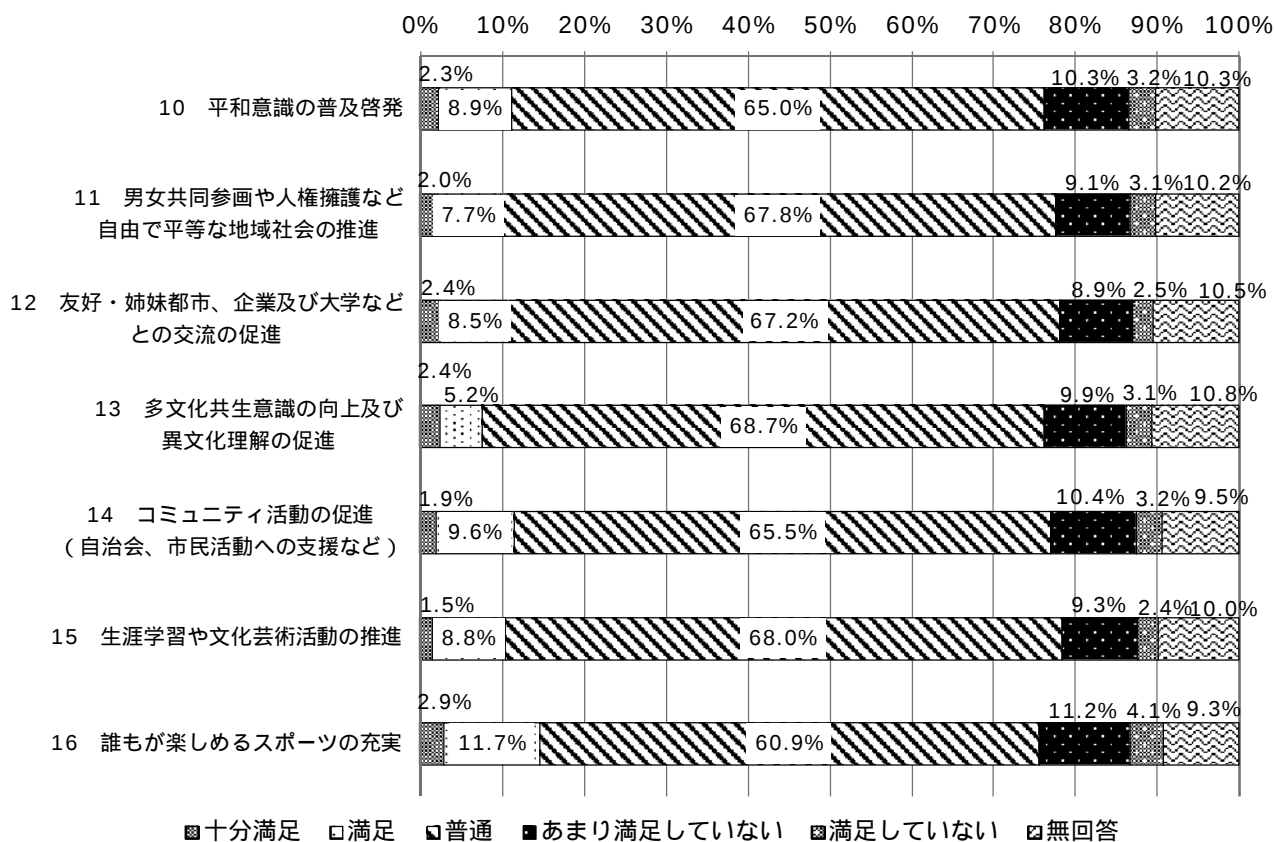
なお、「普通」の割合を見ると、この分野における全ての項目で6割を超えている。



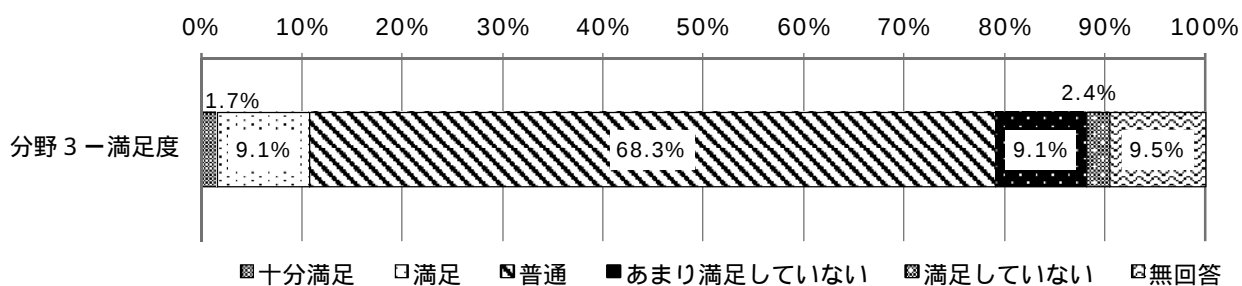
分野3 共生、文化芸術、スポーツ 分野全体の「満足度」



分野3 共生、文化芸術、スポーツ「満足度」(人口比補正後)



分野3 共生、文化芸術、スポーツ 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



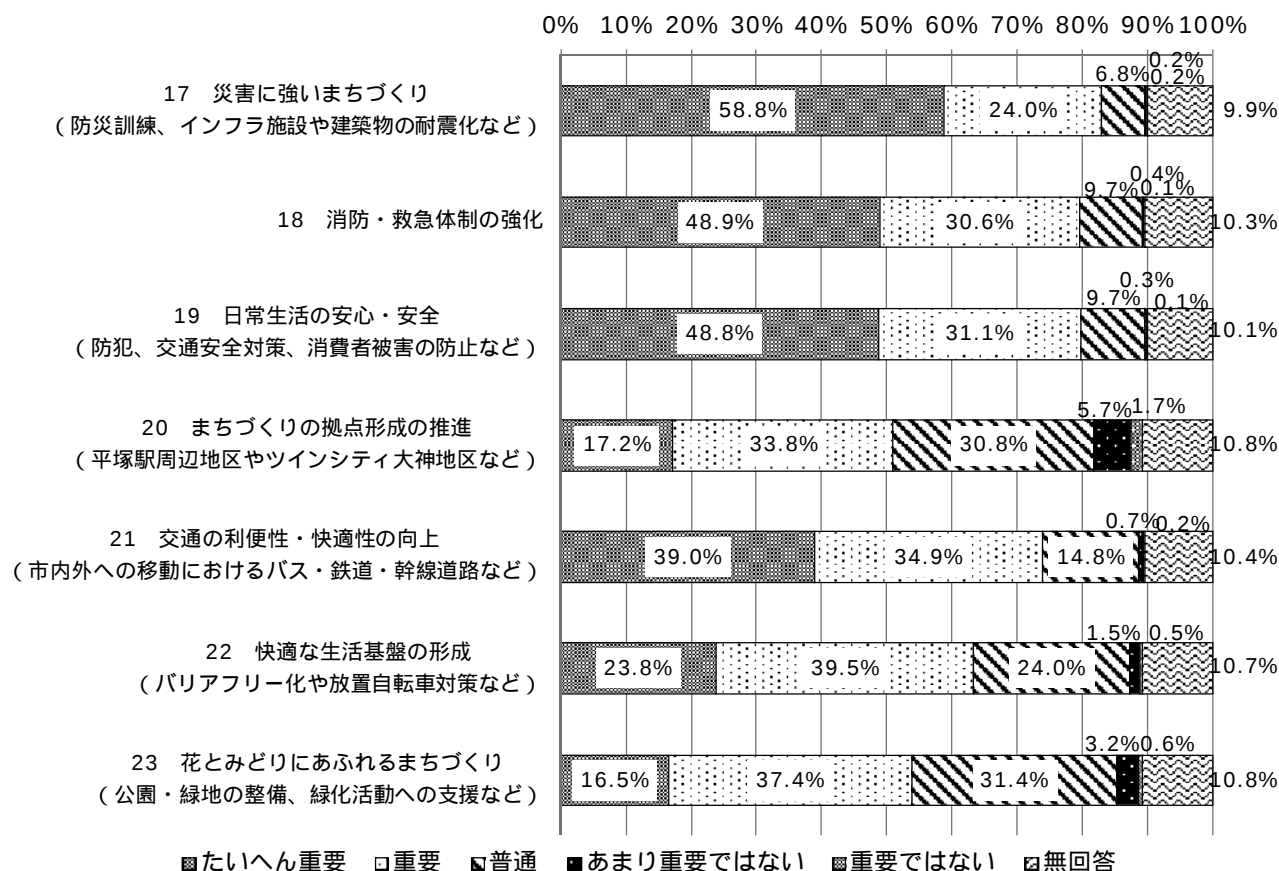
分野4 安心・安全、都市基盤、交通

分野4 安心・安全、都市基盤、交通「重要度」

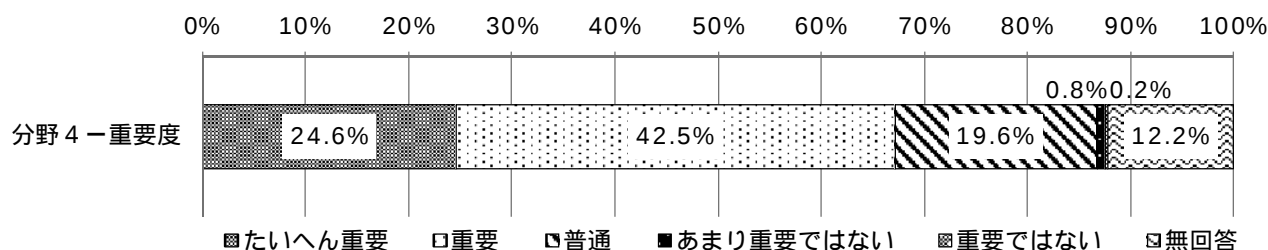
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『17 災害に強いまちづくり』が82.8%で最も高く、次いで『19 日常生活の安心・安全』が79.9%、『18 消防・救急体制の強化』が79.5%となっている。

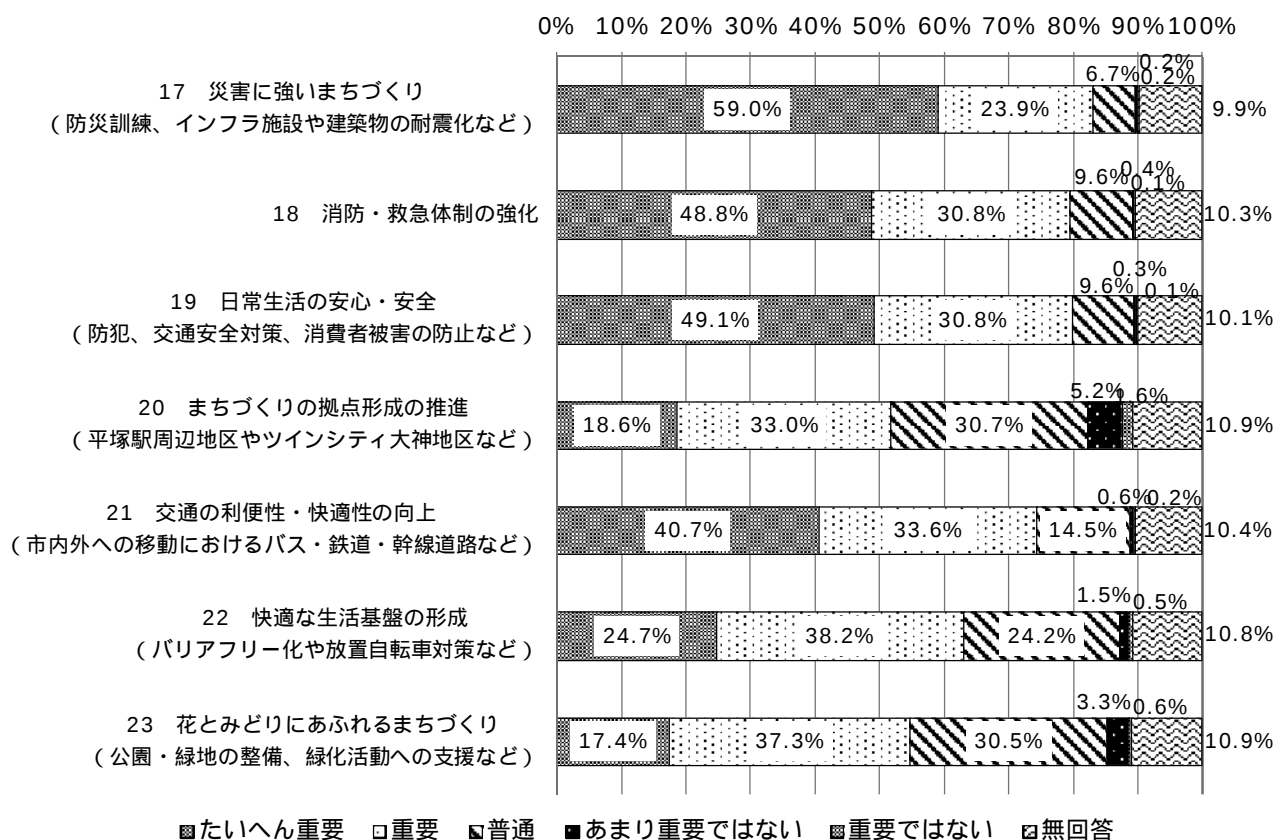
一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『20 まちづくりの拠点形成の推進』が7.4%と高くなっている。



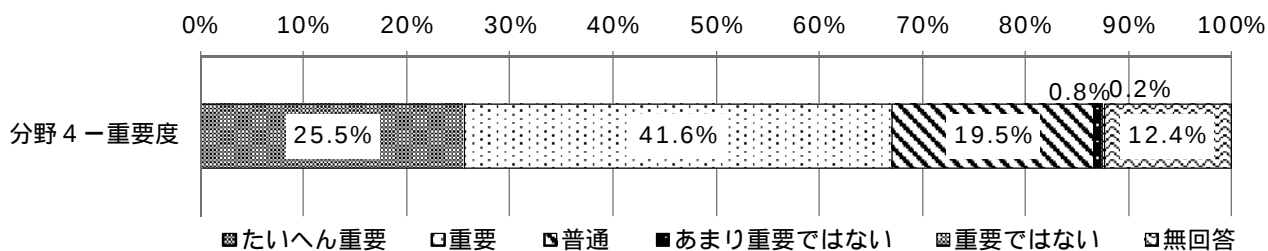
分野4 安心・安全、都市基盤、交通 分野全体の「重要度」



分野4 安心・安全、都市基盤、交通「重要度」(人口比補正後)



分野4 安心・安全、都市基盤、交通 分野全体の「重要度」(人口比補正後)

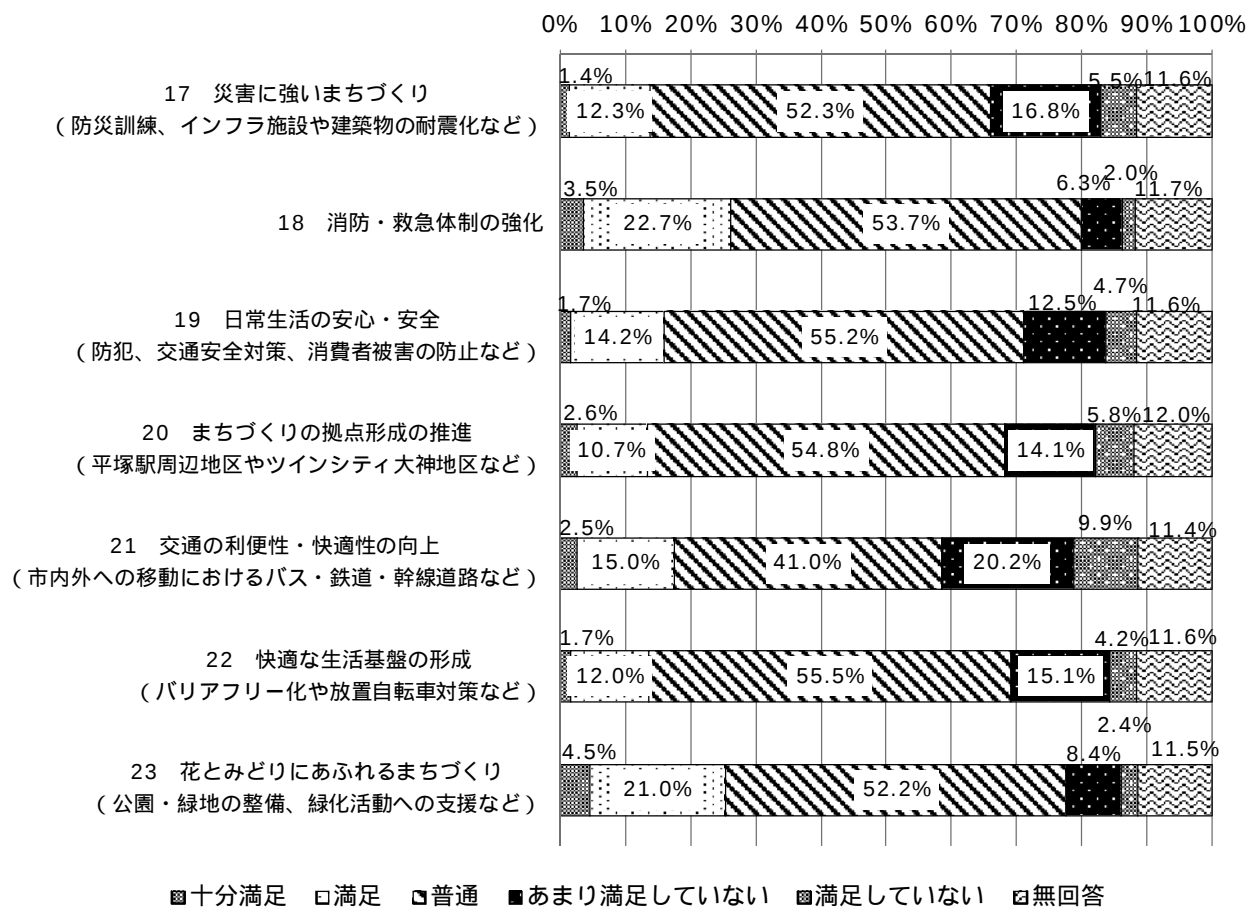


分野4 安心・安全、都市基盤、交通「満足度」

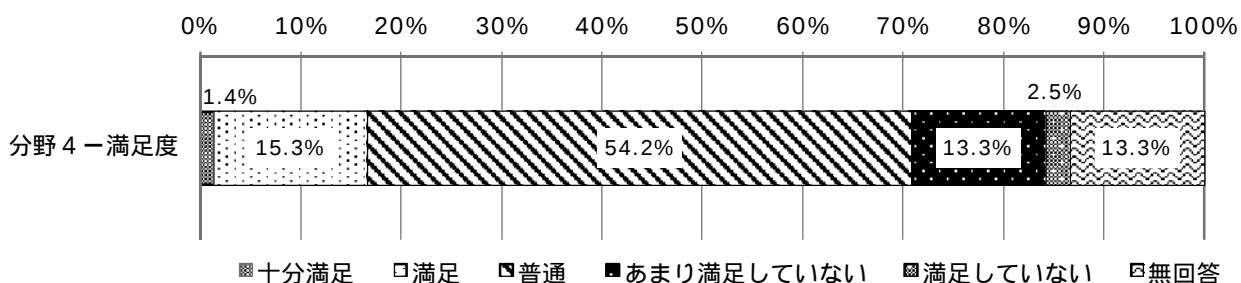
【全体の傾向】

「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『18 消防・救急体制の強化』が26.2%と最も高く、『23 花とみどりにあふれるまちづくり』が25.5%となっている。

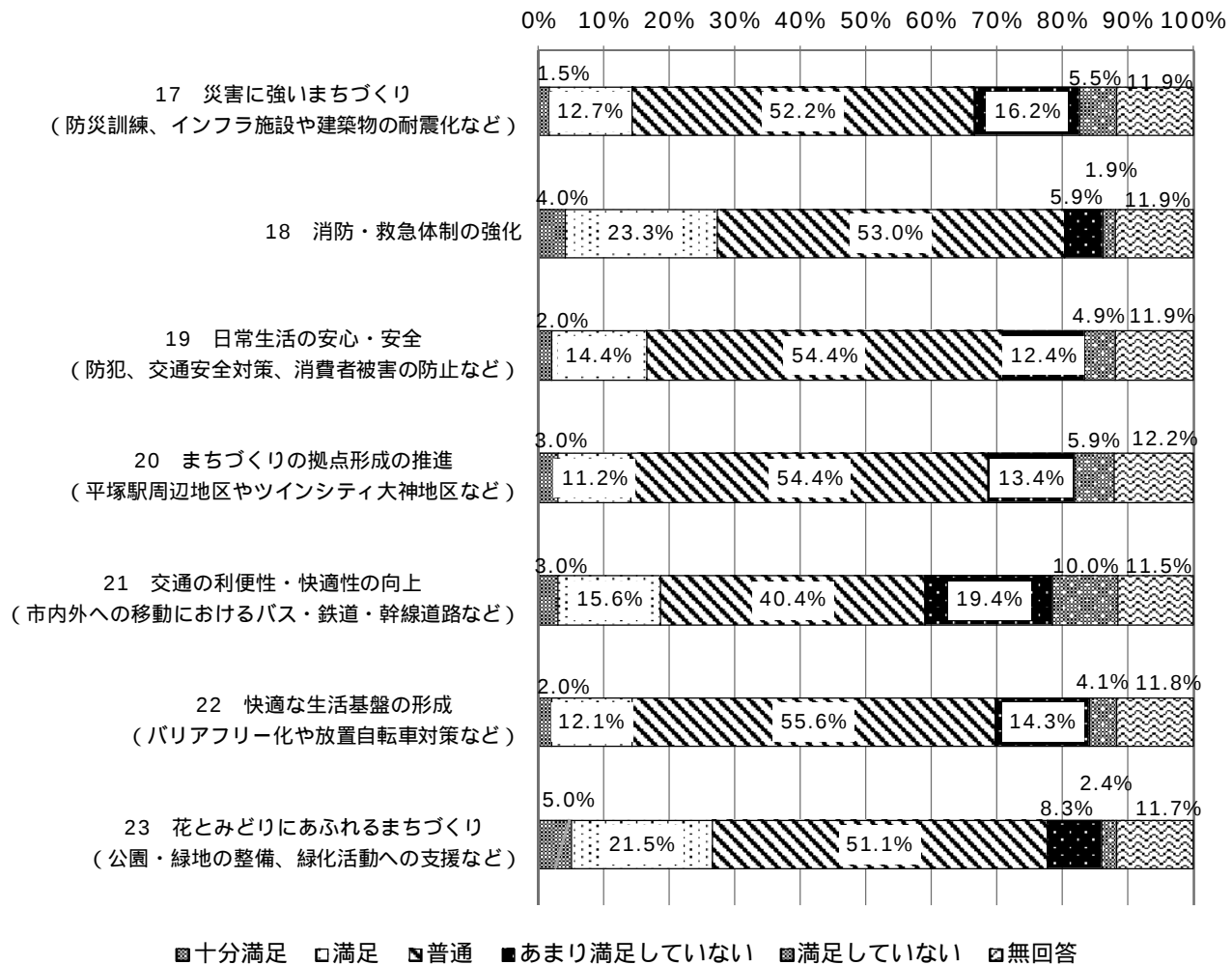
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合では、『21 交通の利便性・快適性の向上』が30.1%で最も高く、次いで『17 災害に強いまちづくり』が22.3%となっている。



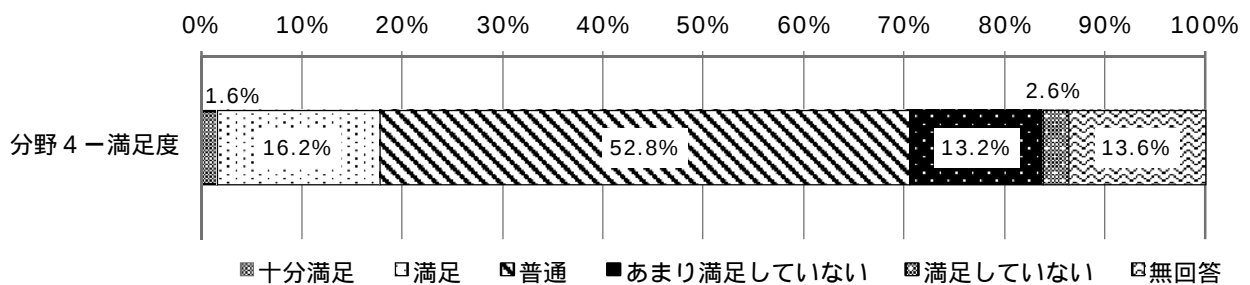
分野4 安心・安全、都市基盤、交通 分野全体の「満足度」



分野4 安心・安全、都市基盤、交通「満足度」(人口比補正後)



分野4 安心・安全、都市基盤、交通 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



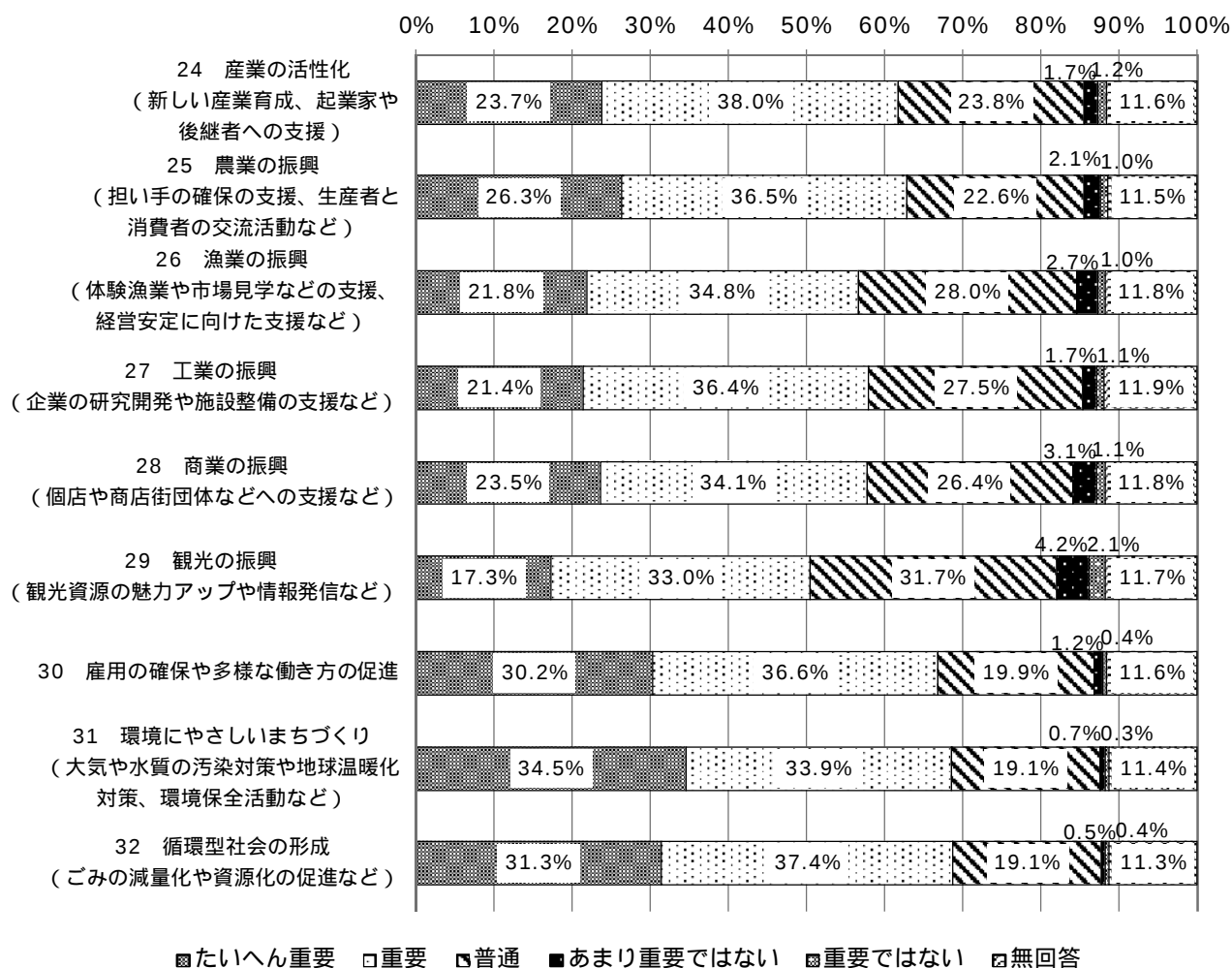
分野5 産業、雇用、環境

分野5 産業、雇用、環境「重要度」

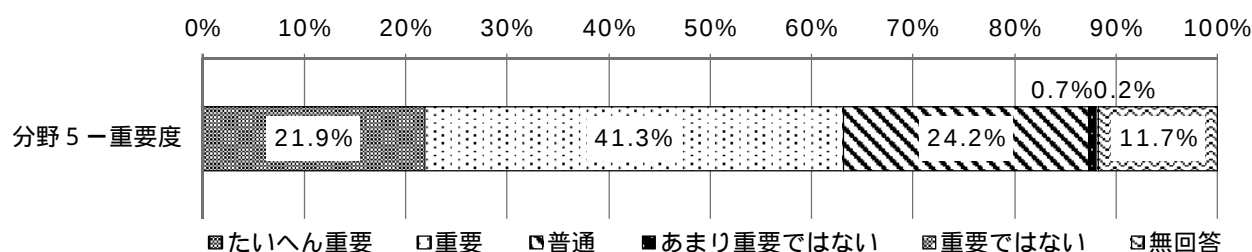
【全体の傾向】

「たいへん重要」と「重要」を合わせた「重要である」の割合は、『32 循環型社会の形成』が68.7%で最も高く、次いで『31 環境にやさしいまちづくり』が68.4%となっている。

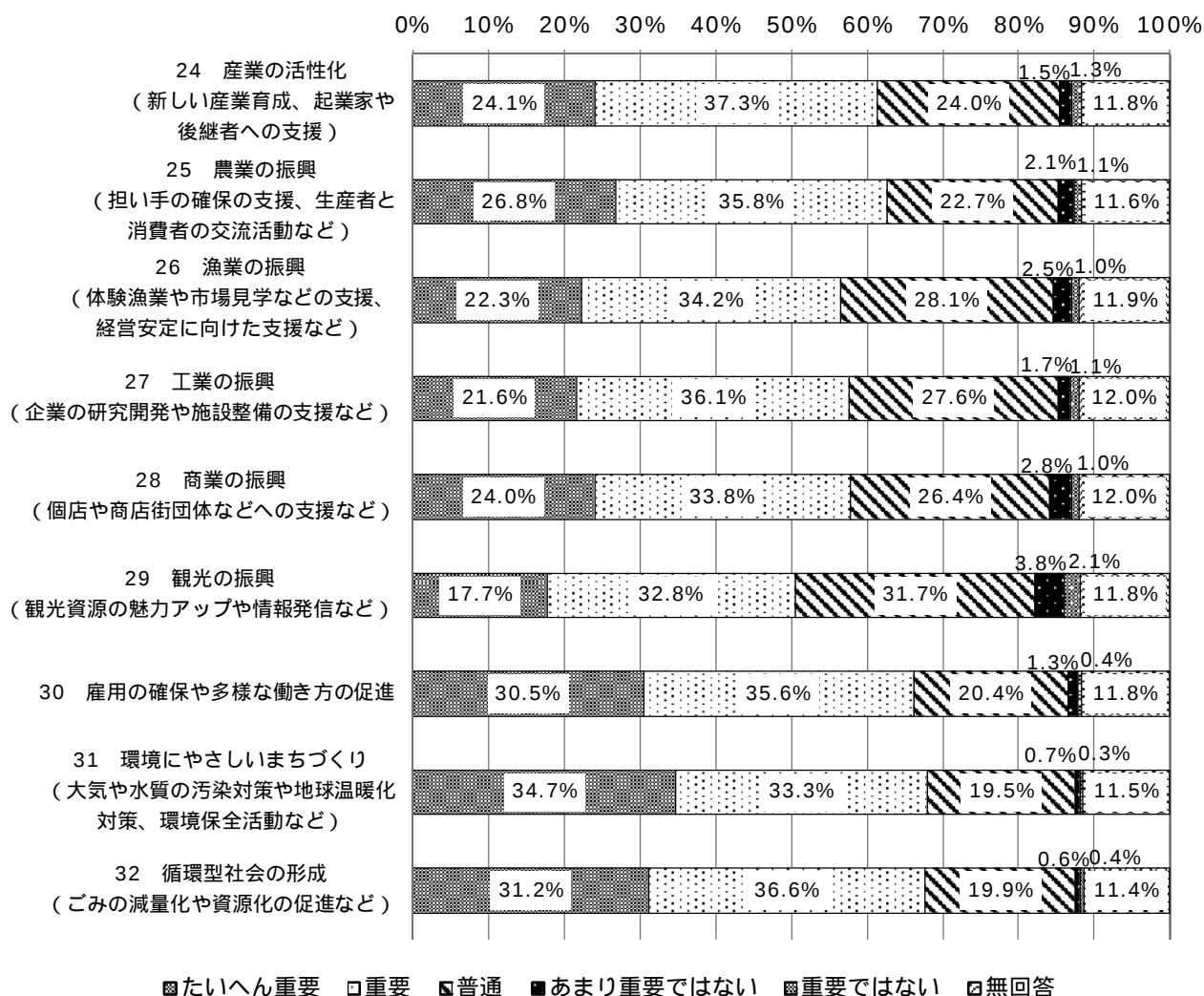
一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた「重要ではない」の割合は、『29 観光の振興』が6.3%と最も高くなっている。



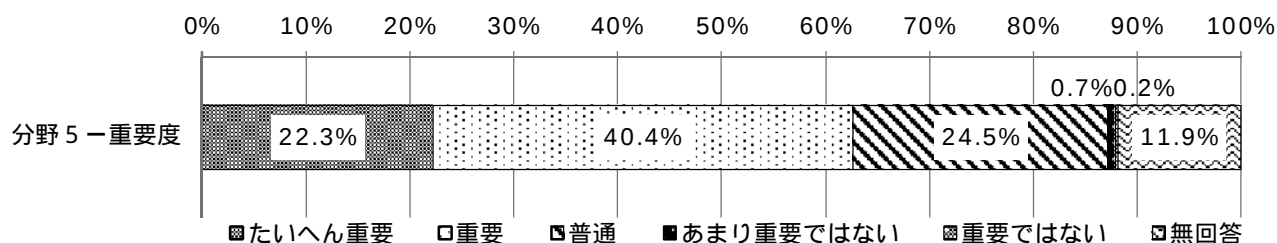
分野5 産業、雇用、環境 分野全体の「重要度」



分野5 産業、雇用、環境「重要度」(人口比補正後)



分野5 産業、雇用、環境 分野全体の「重要度」(人口比補正後)

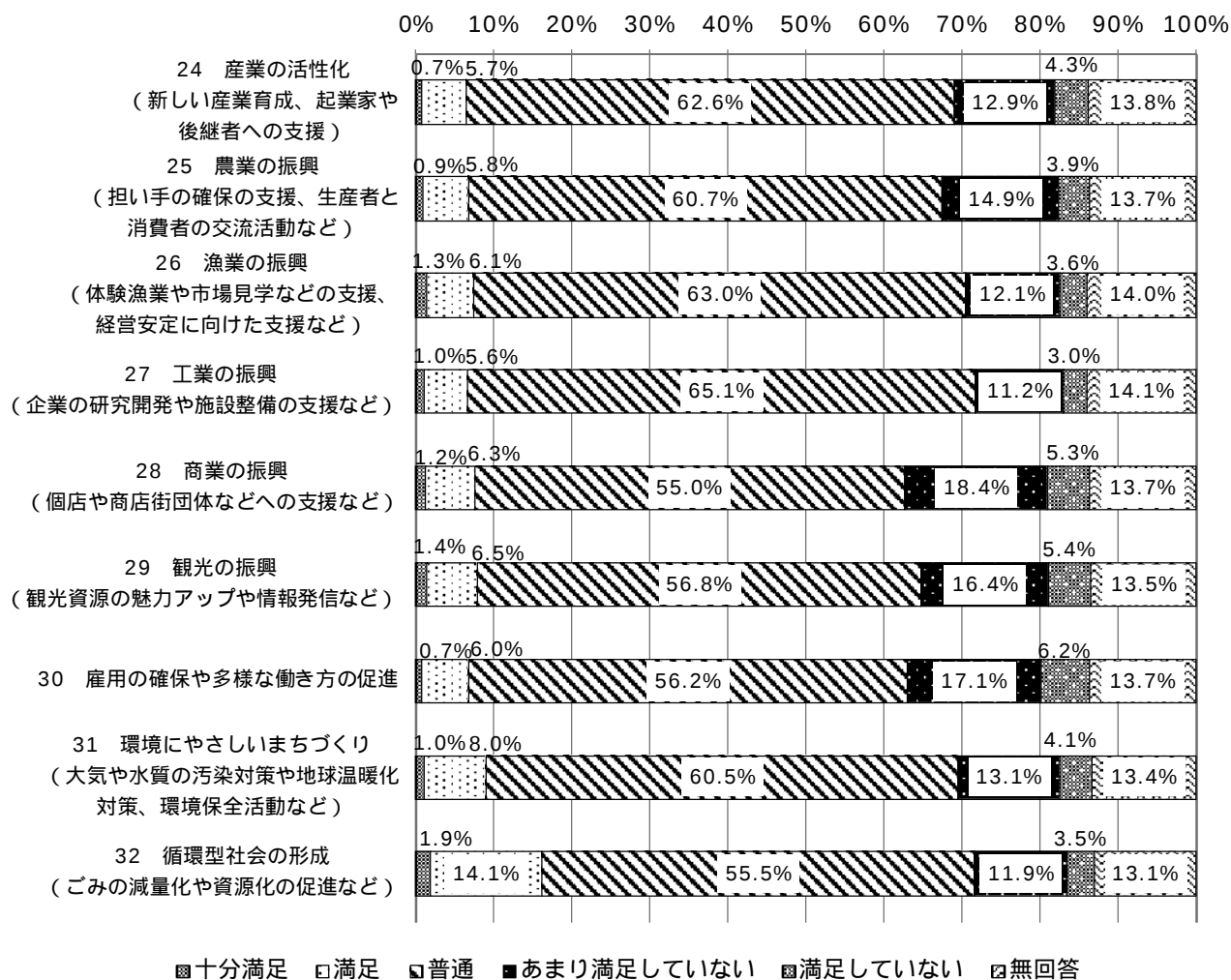


分野5 産業、雇用、環境「満足度」

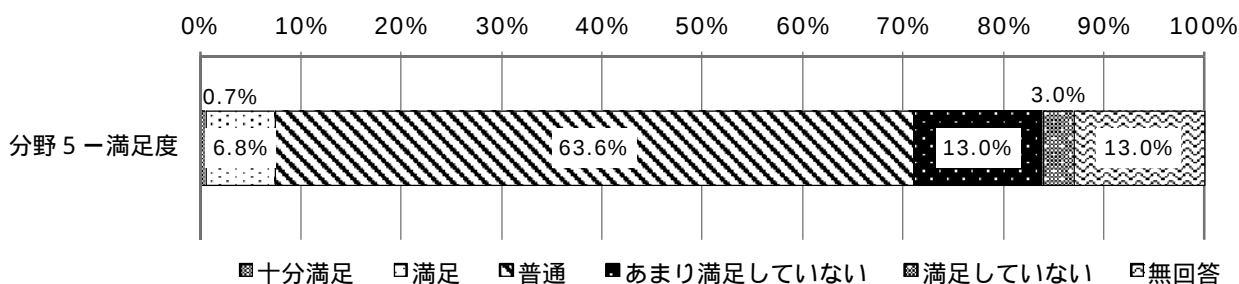
【全体の傾向】

この分野については全体的に満足度が低く、「十分満足」と「満足」を合わせた「満足している」の割合は、『32 循環型社会の形成』が16.0%と最も高く、『31 環境にやさしいまちづくり』が9.0%となっている。

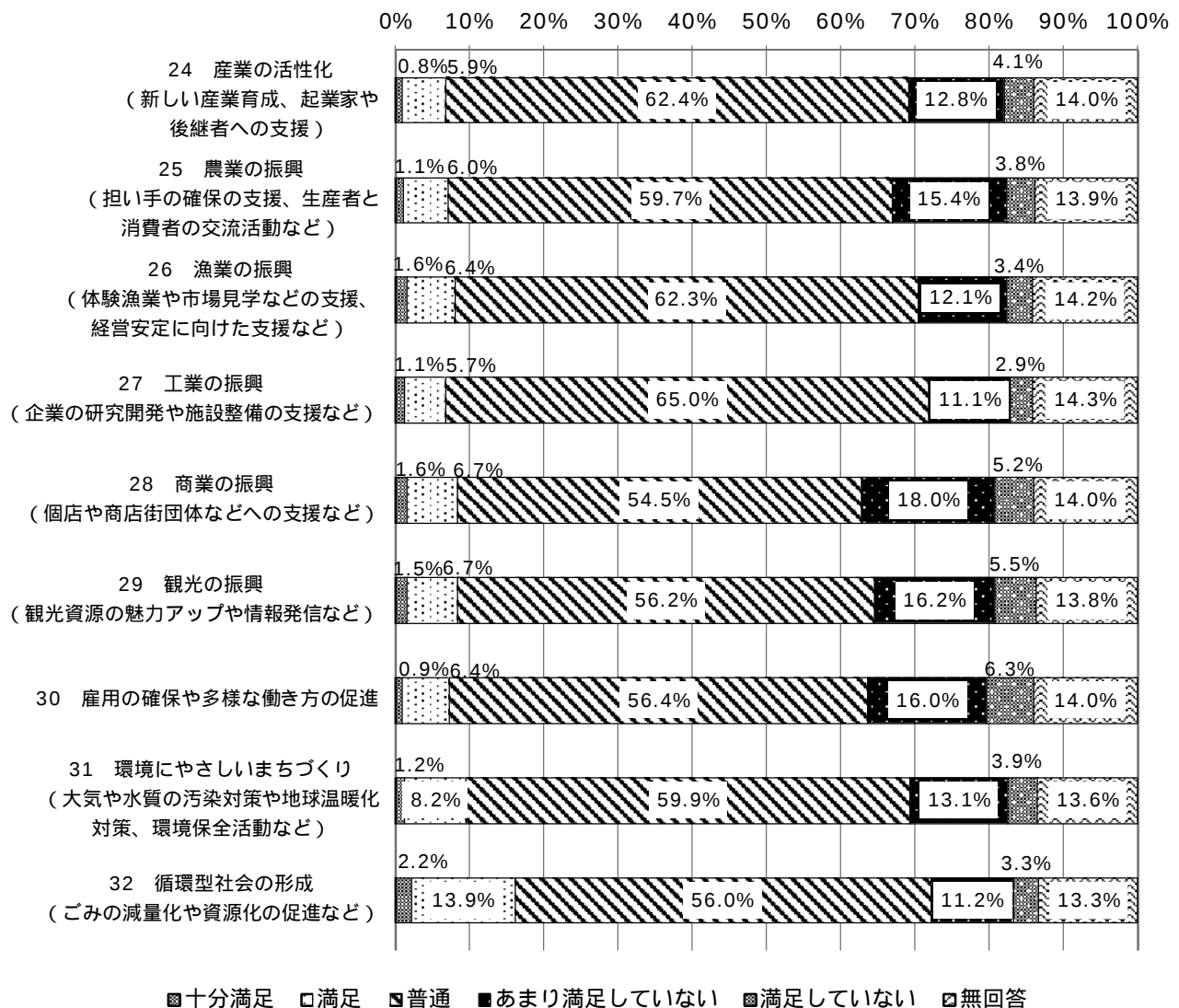
一方、「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた「満足していない」の割合は、『28 商業の振興』が23.7%で最も高く、次いで『30 雇用の確保や多様な働き方の促進』が23.3%となっている。



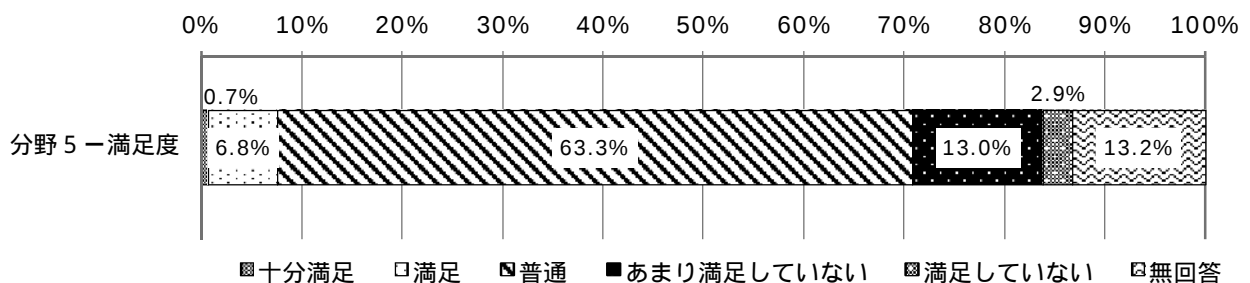
分野5 産業、雇用、環境 分野全体の「満足度」



分野5 産業、雇用、環境「満足度」(人口比補正後)



分野5 産業、雇用、環境 分野全体の「満足度」(人口比補正後)



【重要度と満足度の相関】

【2】のまちづくりの状況について、項目間の比較をするため、次の計算式で各項目の評価点を算出し、散布図を作成した。

計算式	
$\text{評価点} = \frac{(\text{「たいへん重要(十分満足)」} \times 2) + (\text{「重要(満足)」} \times 1) + (\text{「普通」} \times 0) + (\text{「あまり重要ではない(あまり満足していない)」} \times -1) + (\text{「重要ではない(満足していない)」} \times -2)}{\text{回答数} - \text{無回答数}}$	
上記の計算式で算出した評価点を、横軸に「重要度」、縦軸に「満足度」としてグラフ化した。(図1) 散布図内の番号は各項目の番号を表している。	

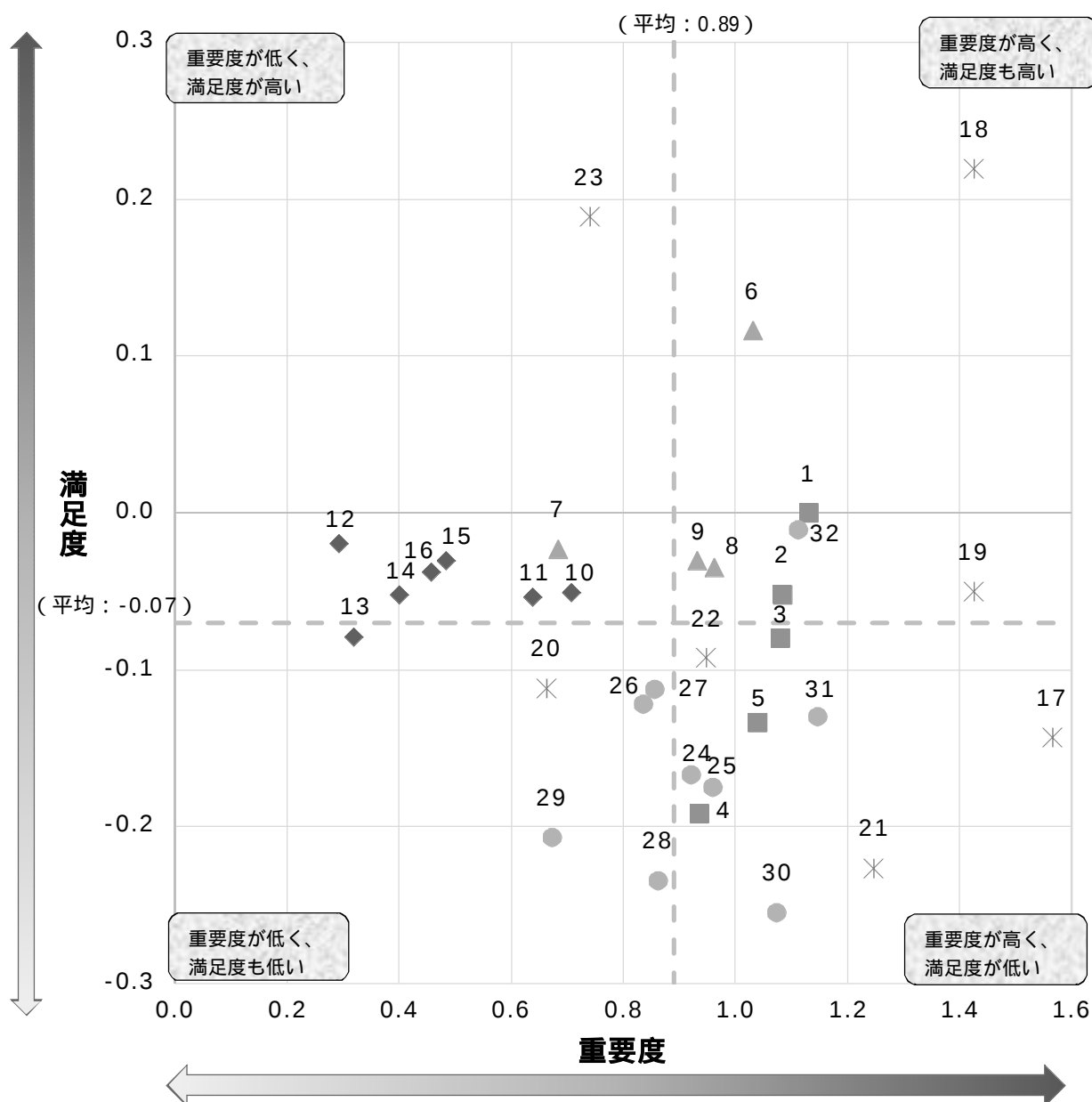
分野	項目	評価点	
		重要度	満足度
1 (■)	1 子育て支援(保育や母子保健など)の充実	1.13	0.00
	2 子どもの学びの充実(学力の向上、豊かな心の育成など)	1.08	-0.05
	3 教育環境の充実(学校施設の安全対策、相談体制など)	1.08	-0.08
	4 若者支援(奨学金返済支援など)の充実	0.94	-0.19
	5 青少年が健全に成長する環境	1.04	-0.13
2 (▲)	6 健康づくり(各種健診や保健指導など)の推進	1.03	0.12
	7 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	0.68	-0.02
	8 高齢者福祉の充実(健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など)	0.96	-0.03
	9 障がい者福祉の推進(自立や社会参加の支援など)	0.93	-0.03
3 ()	10 平和意識の普及啓発	0.71	-0.05
	11 男女共同参画や人権擁護など自由で平等な地域社会の推進	0.64	-0.05
	12 友好・姉妹都市、企業及び大学などとの交流の促進	0.29	-0.02
	13 多文化共生意識の向上及び異文化理解の促進	0.32	-0.08
	14 コミュニティ活動の促進(自治会、市民活動への支援など)	0.40	-0.05
	15 生涯学習や文化芸術活動の推進	0.46	-0.04
	16 誰もが楽しめるスポーツの充実	0.48	-0.03
4 (*)	17 災害に強いまちづくり(防災訓練、インフラ施設や建築物の耐震化など)	1.57	-0.14
	18 消防・救急体制の強化	1.43	0.22
	19 日常生活の安心・安全(防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など)	1.42	-0.05
	20 まちづくりの拠点形成の推進(平塚駅周辺地区やツインシティ大神地区など)	0.66	-0.11
	21 交通の利便性・快適性の向上(市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路など)	1.25	-0.23
	22 快適な生活基盤の形成(バリアフリー化や放置自転車対策など)	0.95	-0.09
	23 花とみどりにあふれるまちづくり(公園・緑地の整備、緑化活動への支援など)	0.74	0.19
5 (●)	24 産業の活性化(新しい産業育成、起業家や後継者への支援)	0.92	-0.17
	25 農業の振興(担い手の確保の支援、生産者と消費者の交流活動など)	0.96	-0.17
	26 漁業の振興(体験漁業や市場見学などの支援、経営安定に向けた支援など)	0.84	-0.12
	27 工業の振興(企業の研究開発や施設整備の支援など)	0.86	-0.11
	28 商業の振興(個店や商店街団体などへの支援など)	0.86	-0.23
	29 観光の振興(観光資源の魅力アップや情報発信など)	0.67	-0.21
	30 雇用の確保や多様な働き方の促進	1.07	-0.25
	31 環境にやさしいまちづくり(大気や水質の汚染対策や地球温暖化対策、環境保全活動など)	1.15	-0.13
	32 循環型社会の形成(ごみの減量化や資源化の促進など)	1.11	-0.01
平均		0.89	-0.07

【全体の傾向】

【2】まちづくりの状況における全 32 項目を比較した結果、重要度が高く、満足度も高いものは、『18 消防・救急体制の強化』や『6 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進』など 8 項目となった。

重要度は高いが、満足度が低い項目は、『17 災害に強いまちづくり』や『30 雇用の確保や多様な働き方の促進』など 10 項目あった。また、重要度は低いが、満足度が高い項目は、『23 花とみどりにあふれるまちづくり』など 8 項目となった。さらに、重要度が低く、満足度も低い項目は、『27 工業の振興』や『29 観光の振興』など 6 項目だった。

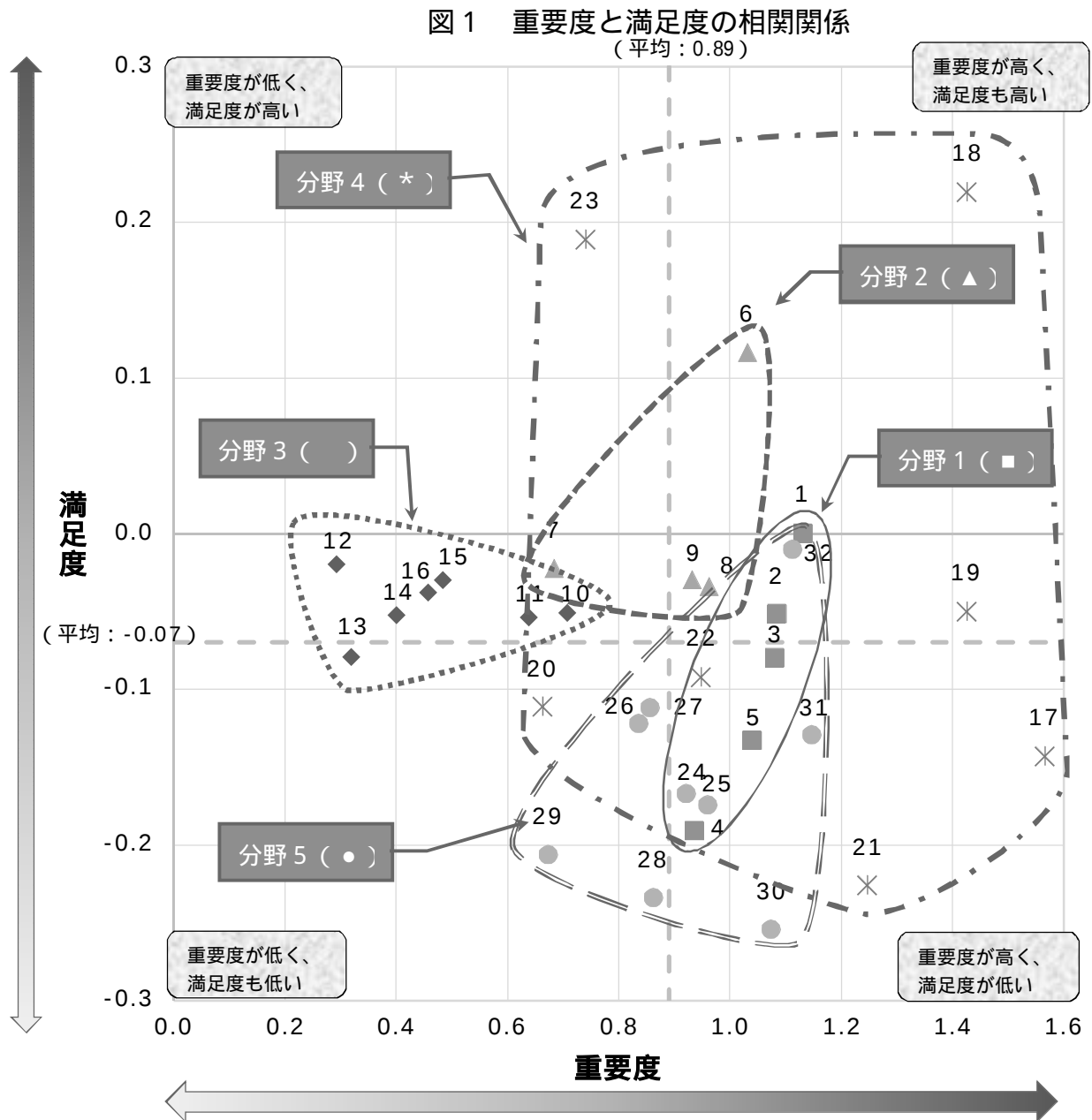
図 1 重要度と満足度の相関関係



【分野ごとの傾向】

下図は、前ページに掲載した散布図を分野ごとにグループ化したものである。

この図で見ると、「分野5 産業、雇用、環境」(●)は他の分野に比べて、満足度が低くなっており、「分野1 子ども・子育て、教育」(■)は、項目によって満足度が異なっている。また、「分野4 安心・安全、都市基盤、交通」(*)は、重要度と満足度ともに項目によって大きく異なる結果となっている。



【人口比補正による重要度と満足度の順位の変化】

【２】のまちづくりの状況について、重要度と満足度の順位を平塚市の人口比による補正前と補正後と比較した。なお、順位付けは相関を比較するために算出した評価点を用いている。

人口比補正による重要度の変化

項目	順位		補正前 - 補正後
	人口 補正前	人口 補正後	
17 災害に強いまちづくり（防災訓練、インフラ施設や建築物の耐震化など）	1	1	0
18 消防・救急体制の強化	2	3	-1
19 日常生活の安心・安全（防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など）	3	2	1
21 交通の利便性・快適性の向上（市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路など）	4	4	0
31 環境にやさしいまちづくり（大気や水質の汚染対策や地球温暖化対策、環境保全活動など）	5	6	-1
1 子育て支援（保育や母子保健など）の充実	6	5	1
32 循環型社会の形成（ごみの減量化や資源化の促進など）	7	9	-2
2 子どもの学びの充実（学力の向上、豊かな心の育成など）	8	7	1
3 教育環境の充実（学校施設の安全対策、相談体制など）	9	8	1
30 雇用の確保や多様な働き方の促進	10	10	0
5 青少年が健全に成長する環境	11	11	0
6 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進	12	12	0
8 高齢者福祉の充実（健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など）	13	16	-3
25 農業の振興（担い手の確保の支援、生産者と消費者の交流活動など）	14	14	0
22 快適な生活基盤の形成（バリアフリー化や放置自転車対策など）	15	15	0
4 若者支援（奨学金返済支援など）の充実	16	13	3
9 障がい者福祉の推進（自立や社会参加の支援など）	17	18	-1
24 産業の活性化（新しい産業育成、起業家や後継者への支援）	18	17	1
28 商業の振興（個店や商店街団体などへの支援など）	19	19	0
27 工業の振興（企業の研究開発や施設整備の支援など）	20	20	0
26 漁業の振興（体験漁業や市場見学などの支援、経営安定に向けた支援など）	21	21	0
23 花とみどりにあふれるまちづくり（公園・緑地の整備、緑化活動への支援など）	22	22	0
10 平和意識の普及啓発	23	23	0
7 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	24	26	2
29 観光の振興（観光資源の魅力アップや情報発信など）	25	25	0
20 まちづくりの拠点形成の推進（平塚駅周辺地区やツインシティ大神地区など）	26	24	-2
11 男女共同参画や人権擁護など自由で平等な地域社会の推進	27	27	0
16 誰もが楽しめるスポーツの充実	28	28	0
15 生涯学習や文化芸術活動の推進	29	29	0
14 コミュニティ活動の促進（自治会、市民活動への支援など）	30	30	0
13 多文化共生意識の向上及び異文化理解の促進	31	31	0
12 友好・姉妹都市、企業及び大学などとの交流の促進	32	32	0

人口比補正による満足度の変化

項目	順位		補正前 - 補正後
	人口 補正前	人口 補正後	
18 消防・救急体制の強化	1	1	0
23 花とみどりにあふれるまちづくり（公園・緑地の整備、緑化活動への支援など）	2	2	0
6 健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進	3	3	0
1 子育て支援（保育や母子保健など）の充実	4	4	0
32 循環型社会の形成（ごみの減量化や資源化の促進など）	5	5	0
12 友好・姉妹都市、企業及び大学などとの交流の促進	6	6	0
7 地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動	7	7	0
16 誰もが楽しめるスポーツの充実	8	9	-1
9 障がい者福祉の推進（自立や社会参加の支援など）	9	10	-1
8 高齢者福祉の充実（健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など）	10	8	2
15 生涯学習や文化芸術活動の推進	11	11	0
19 日常生活の安心・安全（防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など）	12	15	-3
10 平和意識の普及啓発	13	13	0
2 子どもの学びの充実（学力の向上、豊かな心の育成など）	14	16	-2
14 コミュニティ活動の促進（自治会、市民活動への支援など）	15	12	3
11 男女共同参画や人権擁護など自由で平等な地域社会の推進	16	14	2
13 多文化共生意識の向上及び異文化理解の促進	17	17	0
3 教育環境の充実（学校施設の安全対策、相談体制など）	18	19	-1
22 快適な生活基盤の形成（バリアフリー化や放置自転車対策など）	19	18	1
20 まちづくりの拠点形成の推進（平塚駅周辺地区やツインシティ大神地区など）	20	20	0
27 工業の振興（企業の研究開発や施設整備の支援など）	21	21	0
26 漁業の振興（体験漁業や市場見学などの支援、経営安定に向けた支援など）	22	22	0
31 環境にやさしいまちづくり（大気や水質の汚染対策や地球温暖化対策、環境保全活動など）	23	23	0
5 青少年が健全に成長する環境	24	25	-1
17 災害に強いまちづくり（防災訓練、インフラ施設や建築物の耐震化など）	25	24	1
24 産業の活性化（新しい産業育成、起業家や後継者への支援）	26	26	0
25 農業の振興（担い手の確保の支援、生産者と消費者の交流活動など）	27	27	0
4 若者支援（奨学金返済支援など）の充実	28	28	0
29 観光の振興（観光資源の魅力アップや情報発信など）	29	30	-1
21 交通の利便性・快適性の向上（市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路など）	30	29	1
28 商業の振興（個店や商店街団体などへの支援など）	31	31	0
30 雇用の確保や多様な働き方の促進	32	32	0

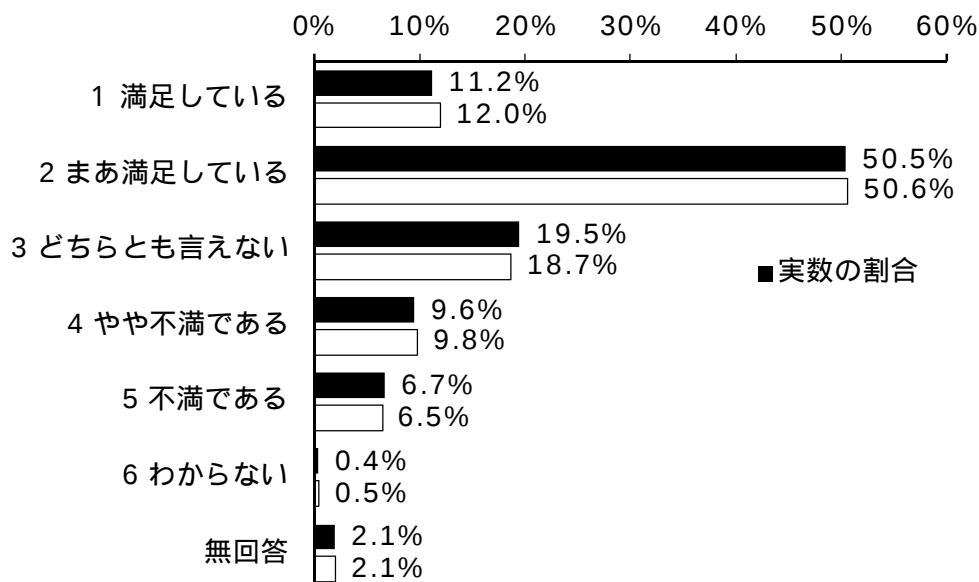
【３】 生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて

(問６) あなたは、現在のご自分の生活にどの程度満足していますか。

【全体の傾向】

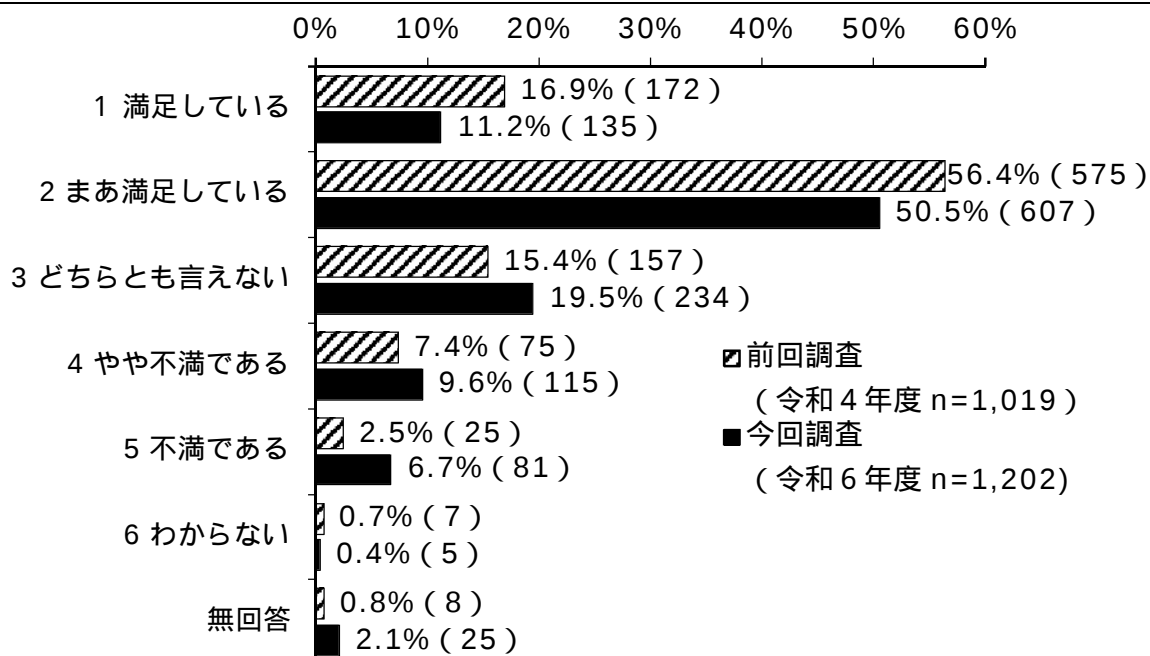
「２ まあ満足している」が50.5%で最も高く、「１ 満足している」の11.2%と合わせた満足している割合は61.7%となっている。

一方、「４ やや不満である」と「５ 不満である」を合わせた不満であるの割合は、16.3%となっている。



【前回調査との比較】

「１ 満足している」と「２ まあ満足している」の合計では、11.6ポイント減少し、「４ やや不満である」と「５ 不満である」の合計は、6.4ポイント増加した。

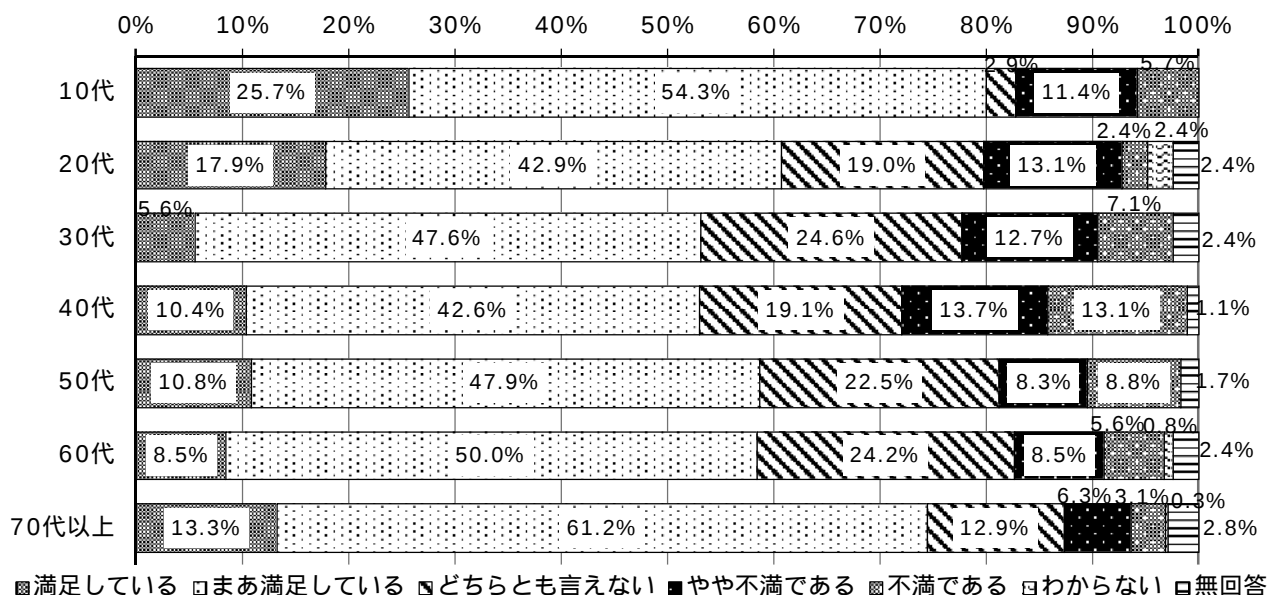


【注：括弧内は実数】

【年代別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、10代が80.0%と最も高く、次に70代以上が74.5%と続き、40代が53.0%と最も低くなっている。

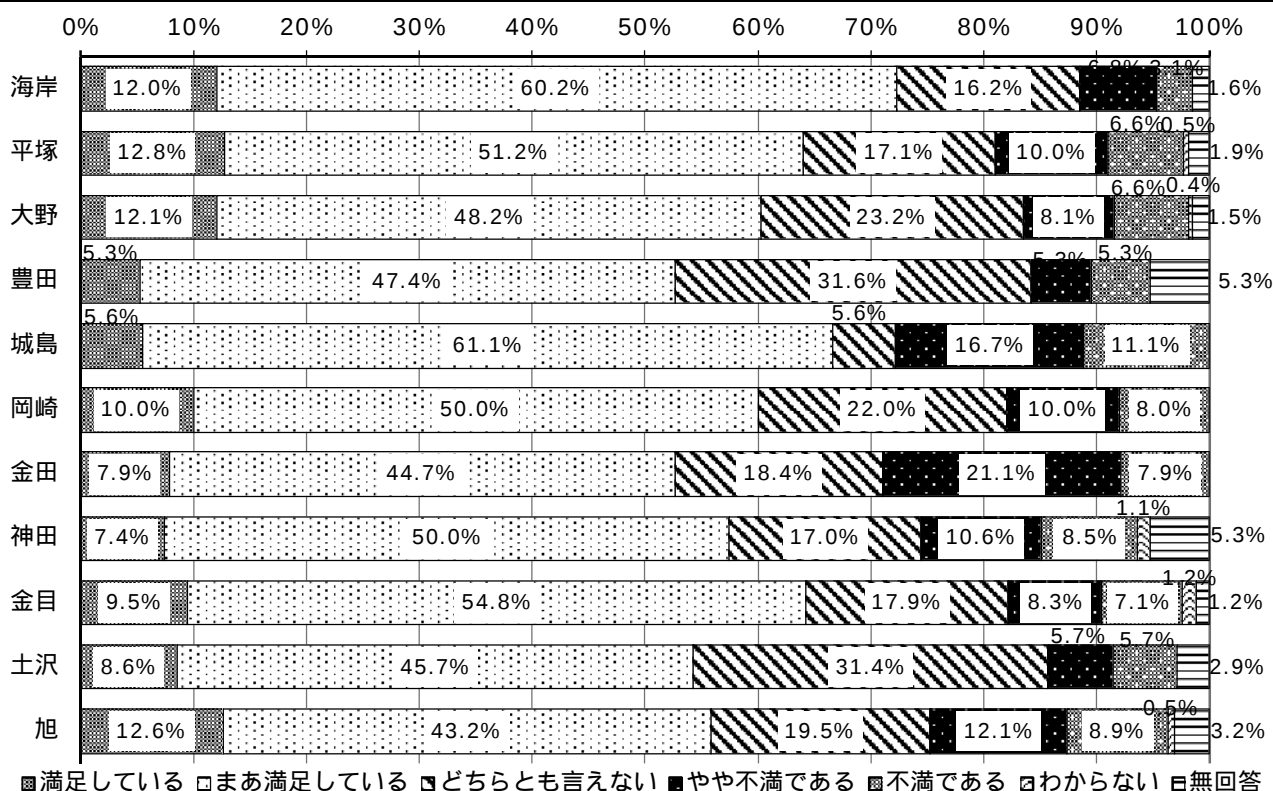
また、「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合は、40代が26.8%と最も高くなっている。



【地区別の傾向】

「1 満足している」と「2 まあ満足している」を合わせた割合は、海岸地区が72.2%と最も高く、次いで城島地区が66.7%となっている。

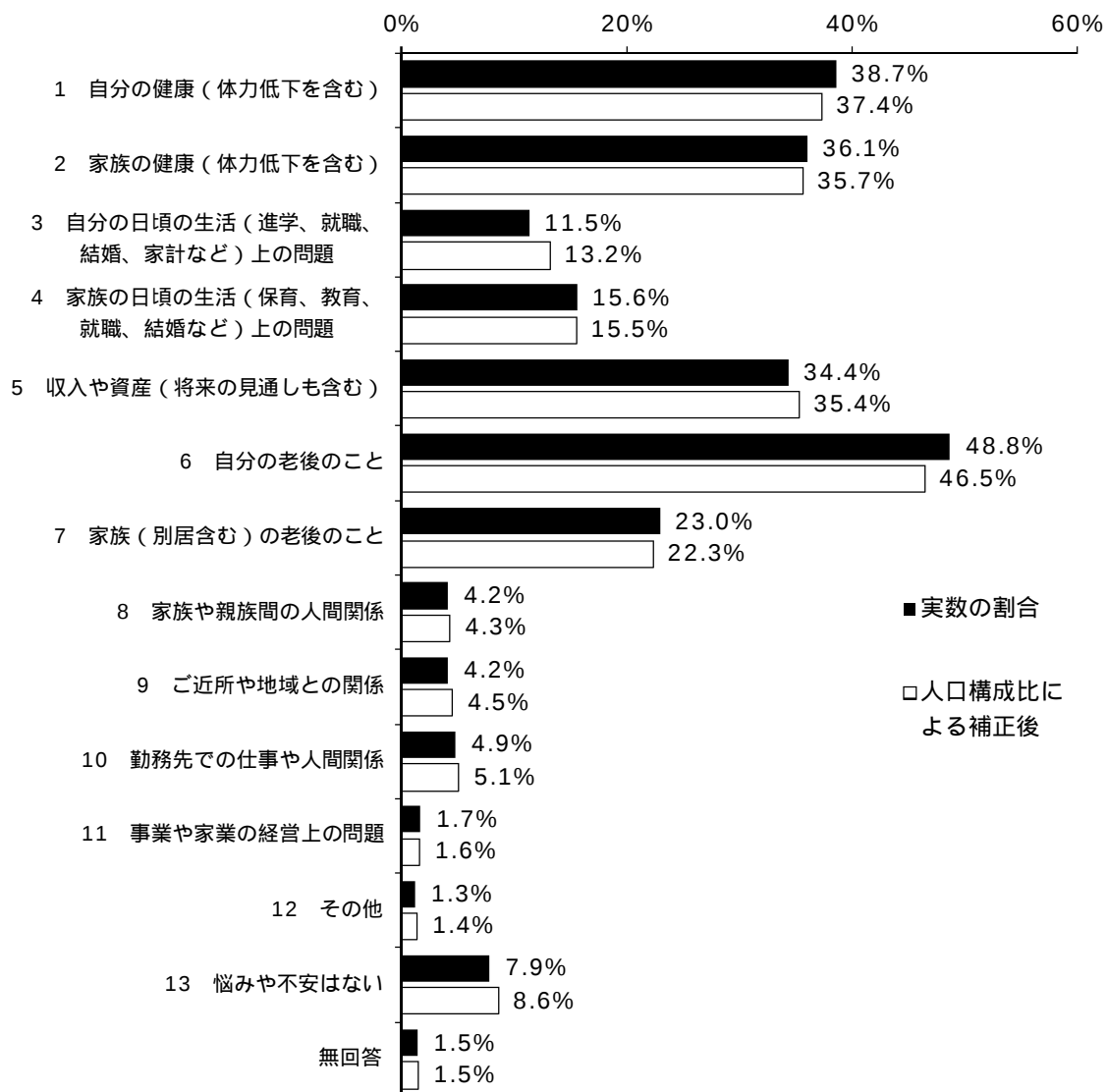
また、「4 やや不満である」と「5 不満である」を合わせた割合は、金田地区が29.0%と最も高くなっている。



(問7) あなたは、ご自分やご家族のことで、困っていることや心配ごとはありますか。

【全体の傾向】

「6 自分の老後のこと」が48.8%と最も高く、次いで「1 自分の健康」が38.7%、「2 家族の健康」が36.1%となっている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【年代別の傾向】

20代及び30代では、「5 収入や資産」が最も高く、40代以上では、「6 自分の老後のこと」が最も高くなっている。

また、「5 収入や資産」と「2 家族の健康」は、全ての年代で5位以内となっている。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
10 代	自分の日頃の生活 (進学、就職、結婚、 家計など)上の問題 48.6%	悩みや不安はない 31.4%	収入や資産(将来の 見通しも含む) 28.6%	自分の健康(体力低下を含む)/家族の健康(体力低下を含む) 11.4%	
20 代	収入や資産(将来の 見通しも含む) 53.6%	自分の老後のこと 31.0%	家族の健康(体力低下を含む) 25.0%	自分の日頃の生活 (進学、就職、結婚、 家計など)上の問題 23.8%	家族(別居含む)の 老後のこと 20.2%
30 代	収入や資産(将来の 見通しも含む) 56.3%	家族の日頃の生活 (保育、教育、就職、 結婚など)上の問題 37.3%	家族の健康(体力低下を含む) 33.3%	自分の老後のこと 27.0%	自分の日頃の生活 (進学、就職、結婚、 家計など)上の問題 26.2%
40 代	自分の老後のこと 45.4%	収入や資産(将来の 見通しも含む) 44.8%	自分の健康(体力低下を含む) 33.9%	家族の健康(体力低下を含む) 33.3%	家族の日頃の生活 (保育、教育、就職、 結婚など)上の問題 29.0%
50 代	自分の老後のこと 54.2%	収入や資産(将来の 見通しも含む) 39.2%	自分の健康(体力低下を含む) 36.7%	家族の健康(体力低下を含む) 33.3%	家族(別居含む)の 老後のこと 28.3%
60 代	自分の老後のこと 59.7%	自分の健康(体力低下を含む) 45.2%	家族の健康(体力低下を含む) 35.9%	収入や資産(将来の 見通しも含む) 28.6%	家族(別居含む)の 老後のこと 24.2%
70代以上	自分の老後のこと 57.0%	自分の健康(体力低下を含む) 56.3%	家族の健康(体力低下を含む) 47.9%	家族(別居含む)の 老後のこと 17.1%	収入や資産(将来の 見通しも含む) 15.0%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全 11 地区のうち 9 地区で「6 自分の老後のこと」が最も高くなっている。

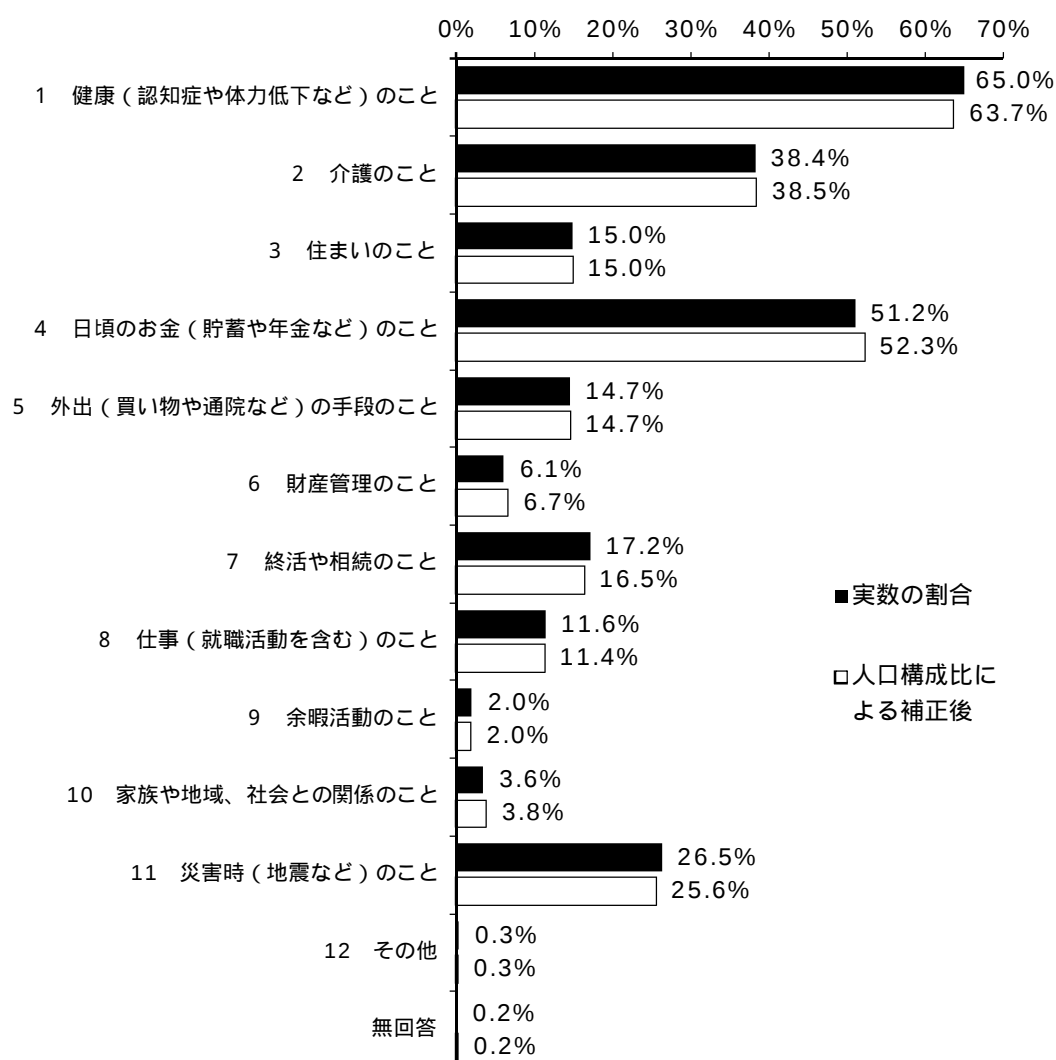
	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
海岸	自分の老後のこと	自分の健康(体力低下を含む)	収入や資産(将来の見通しも含む)	家族の健康(体力低下を含む)	家族(別居含む)の老後のこと
	50.3%	38.2%	32.5%	28.3%	21.5%
平塚	自分の老後のこと	自分の健康(体力低下を含む)	家族の健康(体力低下を含む)	収入や資産(将来の見通しも含む)	家族(別居含む)の老後のこと
	47.9%	41.7%	37.9%	29.9%	28.4%
大野	自分の老後のこと	家族の健康(体力低下を含む) / 収入や資産(将来の見通しも含む)		自分の健康(体力低下を含む)	家族(別居含む)の老後のこと
	49.6%	40.8%		40.4%	22.4%
豊田	自分の老後のこと	収入や資産(将来の見通しも含む)	自分の健康(体力低下を含む) / 家族の健康(体力低下を含む)		家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題 / 家族(別居含む)の老後のこと
	47.4%	36.8%	31.6%		26.3%
城島	自分の老後のこと	家族の健康(体力低下を含む)	自分の健康(体力低下を含む)	収入や資産(将来の見通しも含む)	ご近所や地域との関係/その他
	55.6%	50.0%	33.3%	22.2%	16.7%
岡崎	自分の老後のこと	自分の健康(体力低下を含む)	家族の健康(体力低下を含む)	収入や資産(将来の見通しも含む) / 家族(別居含む)の老後のこと	
	42.0%	38.0%	34.0%	26.0%	
金田	自分の老後のこと	自分の健康(体力低下を含む)	収入や資産(将来の見通しも含む)	家族の健康(体力低下を含む)	家族の日頃の生活(保育、教育、就職、結婚など)上の問題
	50.0%	39.5%	31.6%	28.9%	21.1%
神田	自分の老後のこと	自分の健康(体力低下を含む)	家族の健康(体力低下を含む)	収入や資産(将来の見通しも含む)	家族(別居含む)の老後のこと
	53.2%	50.0%	36.2%	34.0%	29.8%
金目	自分の健康(体力低下を含む)	自分の老後のこと	家族の健康(体力低下を含む)	収入や資産(将来の見通しも含む)	家族(別居含む)の老後のこと
	44.0%	41.7%	35.7%	32.1%	19.0%
土沢	家族の健康(体力低下を含む)	自分の健康(体力低下を含む)	自分の老後のこと	収入や資産(将来の見通しも含む)	家族(別居含む)の老後のこと
	51.4%	37.1%	34.3%	31.4%	28.6%
旭	自分の老後のこと	収入や資産(将来の見通しも含む)	家族の健康(体力低下を含む)	自分の健康(体力低下を含む)	家族(別居含む)の老後のこと
	51.6%	38.9%	33.7%	27.4%	20.0%

【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

(問8)(問7)で「6」と答えた方。ご自分の老後のことで、困っていることや心配ごとは、どのようなことですか。

【全体の傾向】

「1 健康（認知症や体力低下など）のこと」が65.0%と最も高く、次いで「4 日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと」が51.2%、「2 介護のこと」が38.4%となっている



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【年代別の傾向】

10代から40代までは「4 日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと」が最も高く、次いで「1 健康（認知症や体力低下など）のこと」（10代は同率1位）となっている。

50代以上は、「1 健康（認知症や体力低下など）のこと」が最も高くなっている。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
10 代	健康（認知症や体力低下など）のこと/日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと	財産管理のこと/仕事（就職活動を含む）のこと			
	100.0%	50.0%			
20 代	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと	健康（認知症や体力低下など）のこと	介護のこと	住まいのこと	財産管理のこと
	73.1%	34.6%	30.8%	26.9%	19.2%
30 代	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと	健康（認知症や体力低下など）のこと	介護のこと	住まいのこと	財産管理のこと/仕事（就職活動を含む）のこと/災害時（地震など）のこと
	85.3%	44.1%	41.2%	32.4%	14.7%
40 代	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと	健康（認知症や体力低下など）のこと	介護のこと	災害時（地震など）のこと	仕事（就職活動を含む）のこと
	71.1%	55.4%	31.3%	26.5%	21.7%
50 代	健康（認知症や体力低下など）のこと	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと	介護のこと	災害時（地震など）のこと	外出（買い物や通院など）の手段のこと
	66.2%	57.7%	37.7%	26.2%	16.9%
60 代	健康（認知症や体力低下など）のこと	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと	介護のこと	災害時（地震など）のこと	終活や相続のこと
	70.9%	40.5%	37.2%	28.4%	25.0%
70代以上	健康（認知症や体力低下など）のこと	介護のこと	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと	災害時（地震など）のこと	外出（買い物や通院など）の手段のこと
	72.4%	44.8%	34.4%	31.3%	20.2%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

「１ 健康（認知症や体力低下など）のこと」が、金目地区を除く全ての地区で、最も高くなっており、金目地区では２位となっている。豊田地区及び金目地区では、「４ 日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと」が最も高くなっており、その他６地区で２位となっている。

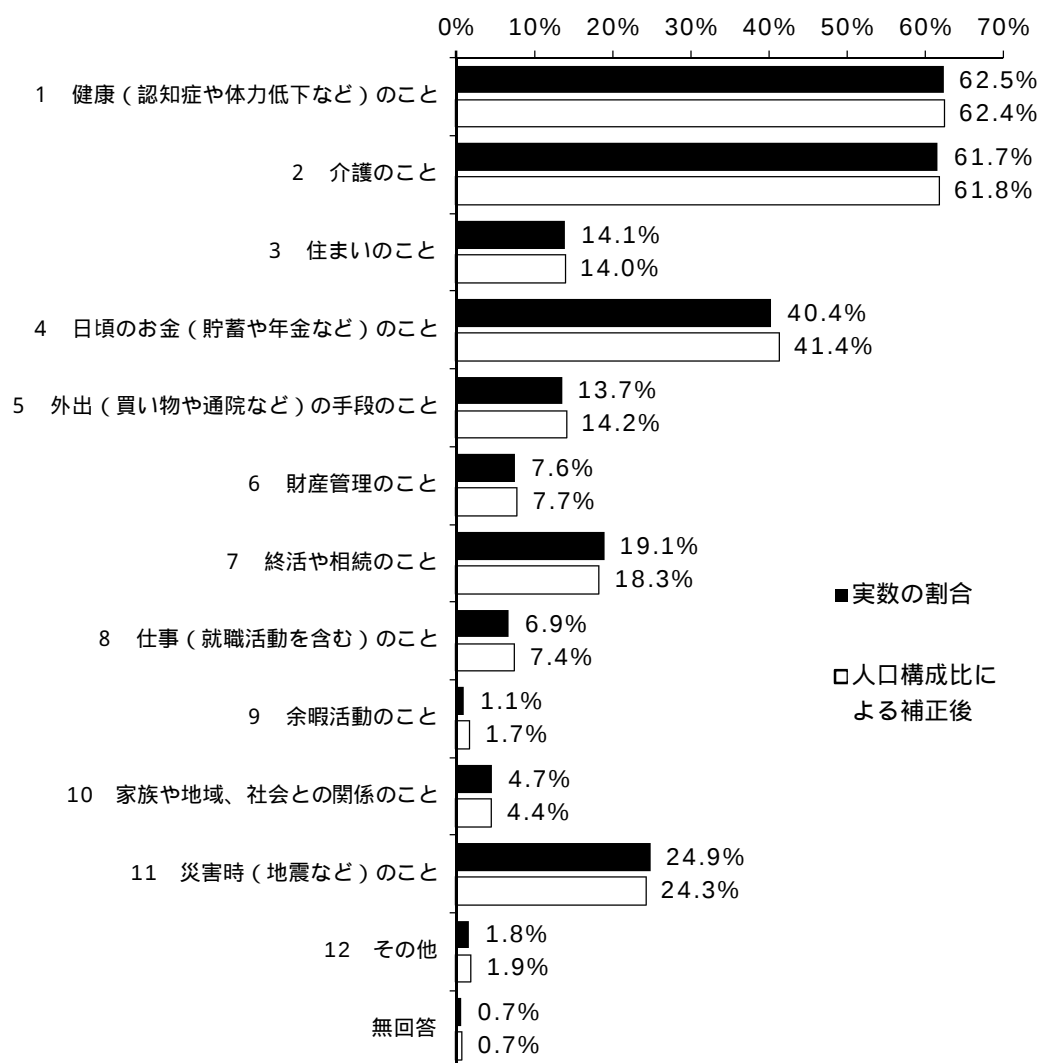
	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
海岸	健康(認知症や体力低下など)のこと	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	介護のこと	災害時(地震など)のこと	終活や相続のこと
	70.8%	44.8%	39.6%	30.2%	16.7%
平塚	健康(認知症や体力低下など)のこと	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	介護のこと	終活や相続のこと	災害時(地震など)のこと
	70.3%	47.5%	38.6%	24.8%	22.8%
大野	健康(認知症や体力低下など)のこと	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	介護のこと	災害時(地震など)のこと	住まいのこと
	65.2%	59.3%	38.5%	21.5%	17.8%
豊田	健康(認知症や体力低下など)のこと/日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	災害時(地震など)のこと	介護のこと	住まいのこと/財産管理のこと	
	55.6%	44.4%	33.3%	22.2%	
城島	健康(認知症や体力低下など)のこと/介護のこと/災害時(地震など)のこと	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	外出(買い物や通院など)の手段のこと		
	50.0%	40.0%	30.0%		
岡崎	健康(認知症や体力低下など)のこと	外出(買い物や通院など)の手段のこと	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	災害時(地震など)のこと	介護のこと
	61.9%	47.6%	38.1%	33.3%	19.0%
金田	健康(認知症や体力低下など)のこと	介護のこと	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと/災害時(地震など)のこと	外出(買い物や通院など)の手段のこと	
	68.4%	52.6%	42.1%	31.6%	
神田	健康(認知症や体力低下など)のこと	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	介護のこと	災害時(地震など)のこと	終活や相続のこと
	64.0%	50.0%	48.0%	28.0%	22.0%
金目	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	健康(認知症や体力低下など)のこと	介護のこと	外出(買い物や通院など)の手段のこと	災害時(地震など)のこと
	74.3%	51.4%	37.1%	22.9%	20.0%
土沢	健康(認知症や体力低下など)のこと	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	外出(買い物や通院など)の手段のこと	介護のこと/終活や相続のこと/災害時(地震など)のこと	
	75.0%	41.7%	33.3%	25.0%	
旭	健康(認知症や体力低下など)のこと	日頃のお金(貯蓄や年金など)のこと	介護のこと	災害時(地震など)のこと	外出(買い物や通院など)の手段のこと
	60.2%	49.0%	34.7%	26.5%	18.4%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

(問9)(問7)で「7」と答えた方。ご家族の老後のことで、困っていることや心配ごとは、どのようなことですか。

【全体の傾向】

「1 健康（認知症や体力低下など）のこと」が62.5%と最も高く、次いで「2 介護のこと」が61.7%、「4 日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと」が40.4%となっている。



【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【年代別の傾向】

10代から40代までは、「2 介護のこと」が最も高くなっており、50代以上は「1 健康（認知症や体力低下など）のこと」が最も高くなっている。

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
10 代	介護のこと 100.0%	健康（認知症や体力低下など）のこと 66.7%	住まいのこと/日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと/終活や相続のこと/災害時（地震など）のこと 33.3%		
20 代	介護のこと 64.7%	健康（認知症や体力低下など）のこと 58.8%	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと 52.9%	外出（買い物や通院など）の手段のこと 23.5%	住まいのこと/財産管理のこと/仕事（就職活動を含む）のこと 17.6%
30 代	介護のこと 75.9%	健康（認知症や体力低下など）のこと 58.6%	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと 44.8%	終活や相続のこと 24.1%	住まいのこと/災害時（地震など）のこと 20.7%
40 代	介護のこと 62.7%	健康（認知症や体力低下など）のこと 56.9%	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと 47.1%	災害時（地震など）のこと 27.5%	終活や相続のこと 15.7%
50 代	健康（認知症や体力低下など）のこと 64.7%	介護のこと 63.2%	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと 38.2%	災害時（地震など）のこと 26.5%	終活や相続のこと 19.1%
60 代	健康（認知症や体力低下など）のこと/介護のこと 61.7%		日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと 35.0%	災害時（地震など）のこと 25.0%	終活や相続のこと 23.3%
70 代以上	健康（認知症や体力低下など）のこと 69.4%	介護のこと 46.9%	日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと 36.7%	災害時（地震など）のこと 26.5%	終活や相続のこと 18.4%

【注：複数回答可のため、合計は100%を超える】

【地区別の傾向】

全 11 地区のうち 8 地区で「1 健康（認知症や体力低下など）のこと」、5 地区で「2 介護のこと」が最も高くなっている。

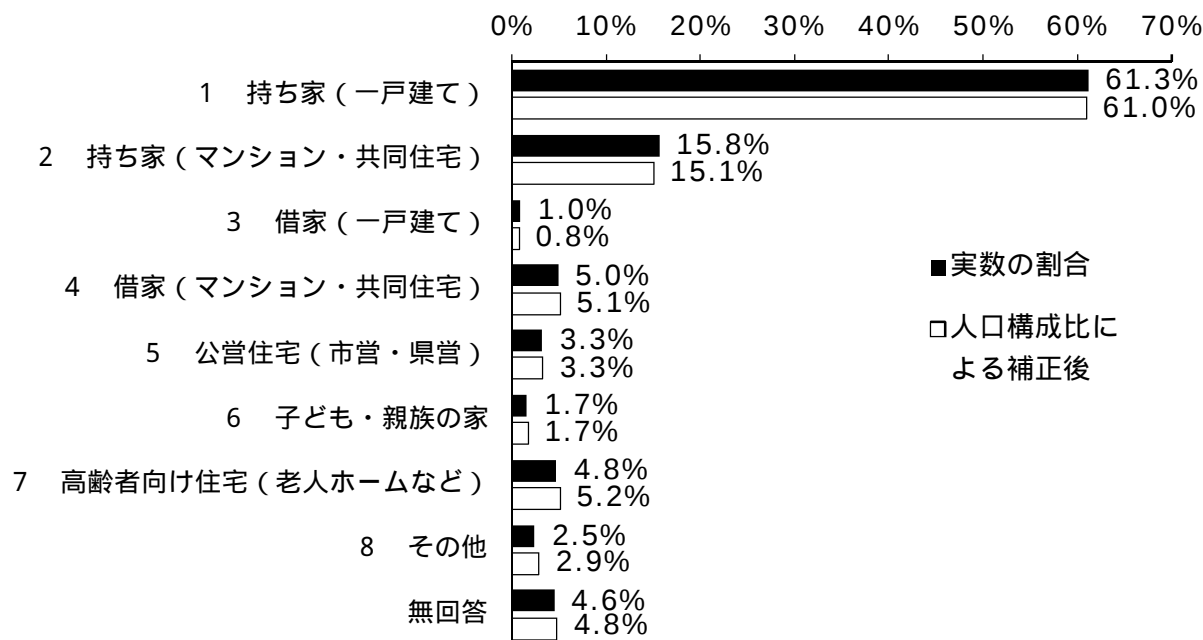
	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
海岸	健康（認知症や体力低下など）のこと 61.0%	介護のこと 56.1%	日頃のお金（貯金や年金など）のこと 36.6%	災害時（地震など）のこと 26.8%	終活や相続のこと 19.5%
平塚	健康（認知症や体力低下など）のこと 63.3%	介護のこと 61.7%	日頃のお金（貯金や年金など）のこと 36.7%	災害時（地震など）のこと 25.0%	終活や相続のこと 23.3%
大野	介護のこと 70.5%	健康（認知症や体力低下など）のこと 55.7%	日頃のお金（貯金や年金など）のこと 37.7%	災害時（地震など）のこと 26.2%	外出（買い物や通院など）の手段のこと 18.0%
豊田	介護のこと/日頃のお金（貯金や年金など）のこと 60.0%		外出（買い物や通院など）の手段のこと/災害時（地震など）のこと 40.0%		健康（認知症や体力低下など）のこと/財産管理のこと/終活や相続のこと 20.0%
城島	健康（認知症や体力低下など）のこと/介護のこと/日頃のお金（貯金や年金など）のこと 100.0%				
岡崎	健康（認知症や体力低下など）のこと 69.2%	介護のこと 53.8%	日頃のお金（貯金や年金など）のこと 38.5%	外出（買い物や通院など）の手段のこと/終活や相続のこと 23.1%	
金田	健康（認知症や体力低下など）のこと 100.0%	介護のこと 75.0%	災害時（地震など）のこと 50.0%	外出（買い物や通院など）の手段のこと 25.0%	
神田	介護のこと 75.0%	健康（認知症や体力低下など）のこと 60.7%	日頃のお金（貯金や年金など）のこと 46.4%	終活や相続のこと/災害時（地震など）のこと 21.4%	
金目	健康（認知症や体力低下など）のこと/介護のこと 62.5%		日頃のお金（貯金や年金など）のこと 50.0%	住まいのこと/外出（買い物や通院など）の手段のこと 25.0%	
土沢	健康（認知症や体力低下など）のこと 90.0%	日頃のお金（貯金や年金など）のこと 50.0%	介護のこと 40.0%	外出（買い物や通院など）の手段のこと/災害時（地震など）のこと 20.0%	
旭	健康（認知症や体力低下など）のこと 65.8%	介護のこと 50.0%	日頃のお金（貯金や年金など）のこと 44.7%	災害時（地震など）のこと 26.3%	終活や相続のこと 21.1%

【注：複数回答可のため、合計は 100%を超える】

(問 10) あなたが、高齢(65 歳以上)になったときに、どのような住宅に住むことを考えていますか。

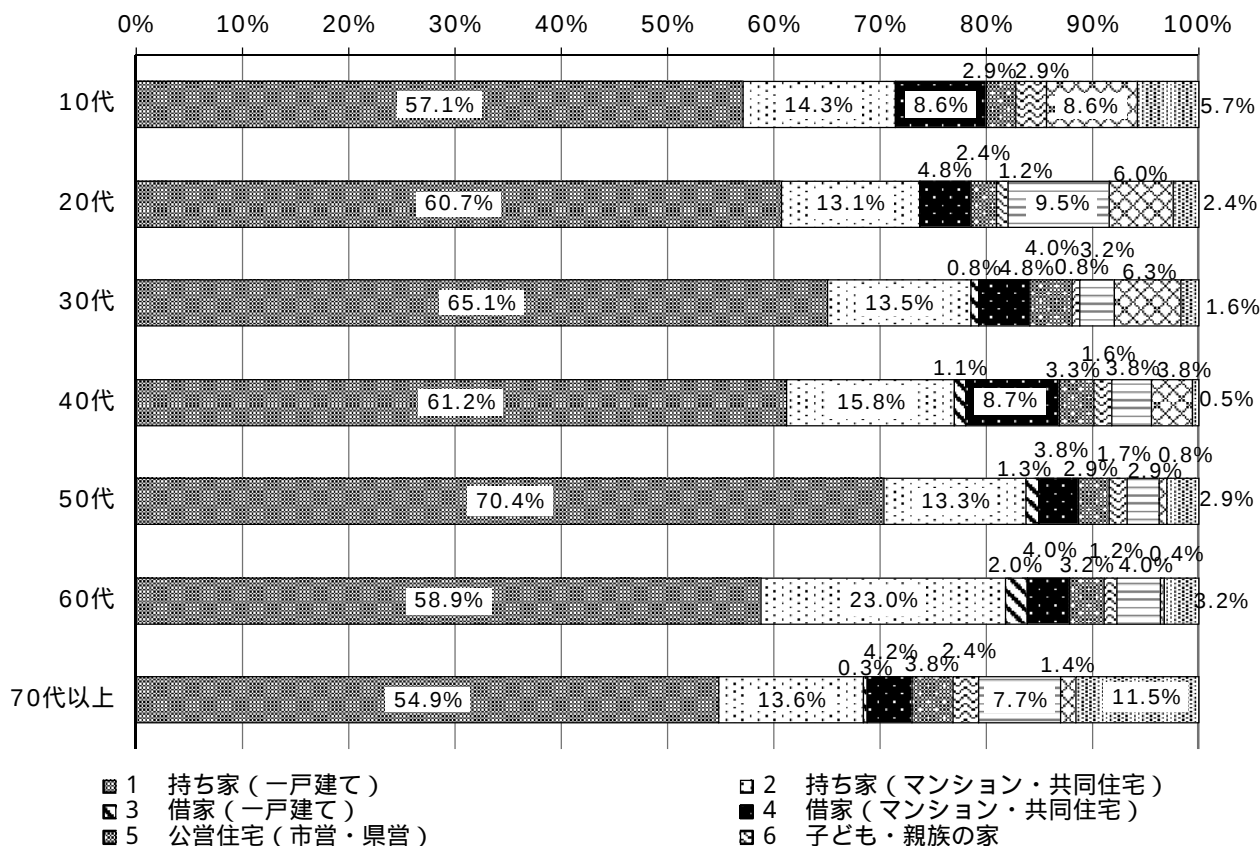
【全体の傾向】

「1 持ち家(一戸建て)」が 61.3%と最も高く、次いで「2 持ち家(マンション・共同住宅)」が 15.8%となっている。



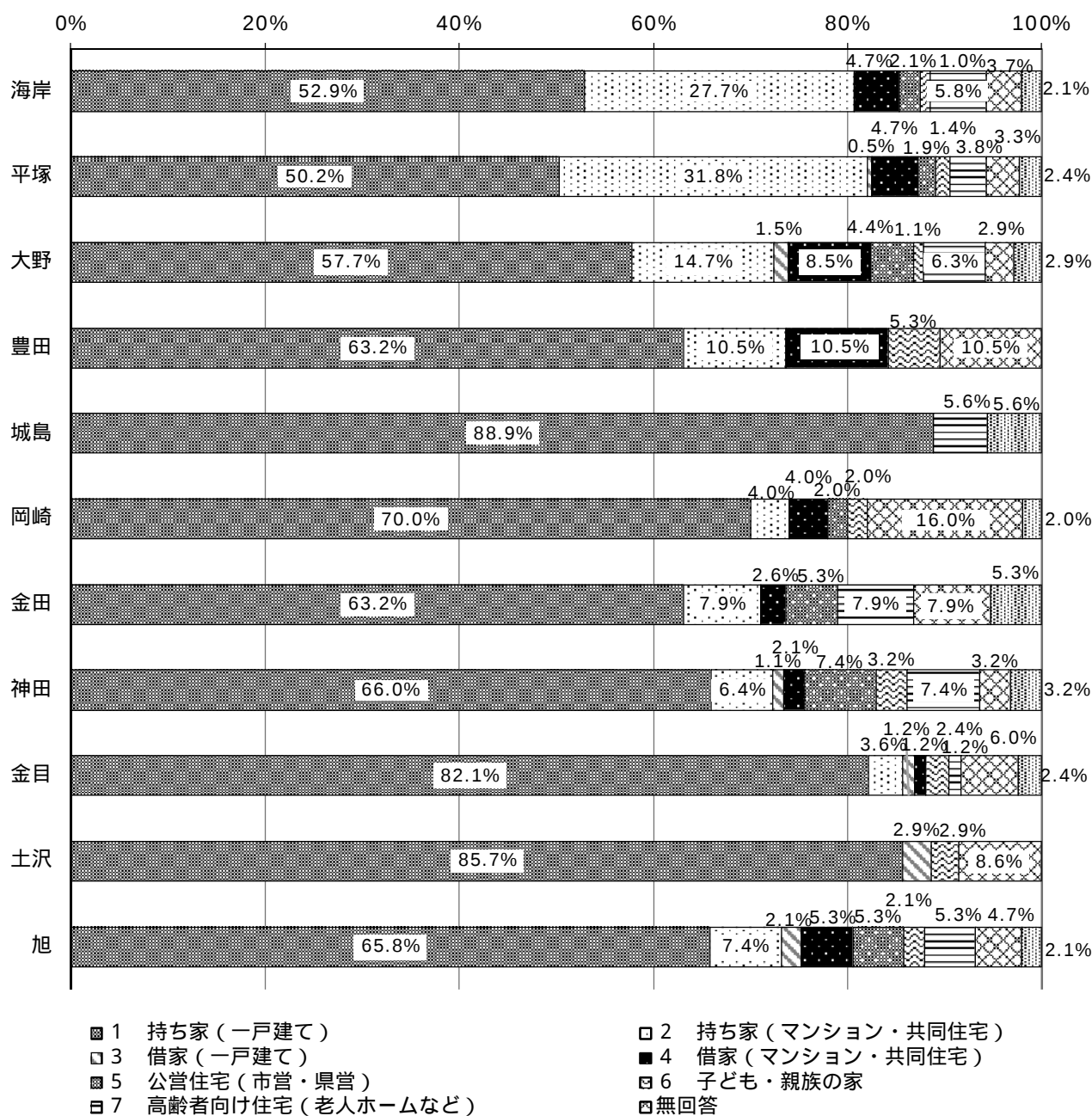
【年代別の傾向】

全ての年代で「1 持ち家(一戸建て)」が最も高く、次いで「2 持ち家(マンション・共同住宅)」となっている。



【地区別の傾向】

「1 持ち家（一戸建て）」と「2 持ち家（マンション・共同住宅）」を合わせた『持ち家意向』は、城島地区が88.9%と最も高く、次いで金目地区及び土沢地区が85.7%となっている。



【４】今後の平塚市のまちづくりについて

（自由意見の内訳）

単位：人

意見の記入があった方の年代別人数	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	559	12	35	77	84	114	118	119

単位：件

意見の内容	年代別件数	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
子育て支援		49	0	3	21	12	9	3	1
子どもの学び		1	0	0	0	0	0	1	0
教育環境		21	0	2	3	7	4	4	1
若者支援		13	0	3	3	3	1	2	1
青少年の健全育成		0	0	0	0	0	0	0	0
健康づくり		8	0	0	0	1	2	2	3
地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動		6	0	1	1	2	2	0	0
高齢者福祉		21	0	0	0	1	5	3	12
障がい者福祉		6	0	1	1	0	1	3	0
平和意識		0	0	0	0	0	0	0	0
男女共同参画や人権擁護など 自由で平等な地域社会		1	0	0	0	0	0	0	1
友好・姉妹都市、企業及び大学などとの交流		0	0	0	0	0	0	0	0
多文化共生意識及び異文化理解		6	0	0	1	2	0	1	2
コミュニティ活動		12	0	0	0	2	1	5	4
生涯学習や文化芸術活動		21	1	3	0	4	3	5	5
スポーツ		33	1	4	5	4	10	6	3
災害に強いまちづくり		42	1	1	9	5	9	8	9
消防・救急体制		1	0	0	0	0	0	1	0
日常生活の安心・安全		32	2	3	5	7	4	8	3
まちづくりの拠点形成		57	3	3	5	4	14	20	8
交通の利便性・快適性		88	3	3	8	11	18	21	24
快適な生活基盤		39	3	1	6	5	6	11	7
花とみどりにあふれるまちづくり		28	3	0	8	3	5	4	5
産業振興		10	0	0	1	1	2	4	2
農業		6	1	0	1	0	0	1	3
漁業		1	0	0	1	0	0	0	0
工業		0	0	0	0	0	0	0	0
商業		55	3	4	4	5	8	13	18
観光		30	1	3	5	5	6	6	4
雇用や多様な働き方		7	0	0	2	2	1	1	1
環境にやさしいまちづくり		5	0	0	0	2	1	2	0
循環型社会の形成		20	0	3	0	6	2	5	4
調査について		15	0	0	2	5	4	2	2
職員等について		20	0	0	2	3	3	5	7
シティープロモーション		14	0	1	3	1	4	1	4
効率・効果的な行政運営		10	0	1	1	2	3	3	0

意見の内容 \ 年代別件数	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
他機関に対して	11	1	1	1	0	2	5	1
低所得者	8	0	2	0	1	2	1	2
物価高騰	2	0	0	0	2	0	0	0
健康保険料	3	0	0	0	0	0	3	0
その他	46	1	2	6	5	15	7	10
計	748	24	45	105	113	147	167	147

< 結果の要約 >

「今後の平塚市のまちづくりについて」伺ったところ、559人から748件の意見があった。（記入率46.5%）

「交通の利便性・快適性」についての意見が最も多く、次いで、「まちづくりの拠点形成」、「商業」、「子育て支援」についての意見が多かった。

< 主な意見 > 原文のまま

【交通の利便性・快適性】

- ・公共交通の整備、東西方向の道路整備、歩道の整備、環境にやさしい街づくりの普及などに、より積極的に取り込んで欲しい。
- ・バスのルートがすべて南北、どこへ行くにも平塚駅に出て、東西に移動出来る交通実態があれば...と思います。

【まちづくりの拠点形成】

- ・平塚駅周辺に、病院、ショッピング、レストラン、行政サービスをもっと集約して欲しい。活気ある町づくりをお願いします。
- ・駅周辺にマンションばかり建てるのではなく商業施設や子育て向け施設、本屋など利便性のある建物を建てて欲しいと思います。

【商業】

- ・大型商業施設など人が集まる場所の建設はとても良いことだと感じます。一方商店街等の個人店へのサポートも手厚く行うことで更なる発展につながるのではないのでしょうか。

【子育て支援】

- ・他の市のようにオムツなどの支給や母親学級や教室のようなものを増やしてほしい。
- ・夏場（猛暑日）に子どもが遊べる室内施設を充実させて欲しい。

【その他】

- ・七夕祭りの規模が縮小され過ぎている。もっと盛大にやって欲しい。
- ・教育について、スクールカウンセラーの数を増やしてほしい。先生の負担を減らすことができ、心の専門家に頼ることができると安心できる。
- ・便利になるのは嬉しいですが、静かで便利なのが魅力なので観光でたくさん人を呼ぶよりは住みやすい、働きやすい、のんびり過ごしやすい環境が保てたらいいと思います。

第 3 章 結果の考察

今回の調査は、平塚市民の居留意向、まちづくりに対する重要度や満足度、生活の満足感を調査し、今後、まちづくりを進めていくための基礎資料を得るとともに、令和6年度からスタートした「平塚市総合計画～ひらつかVISION～」に基づいて実施している本市のまちづくりに対して市民がどのように感じ、どう評価しているかを把握することを目的として実施しました。

この調査の結果から、次のことが明らかになりました。

■【1】今後における平塚市への居留意向などについて（問1）～（問4）

【定住意向は引き続き8割以上。住み続けたい理由は引き続き「温暖な気候や自然環境」が上位】

定住意向について

84.2%の方が、「住み続ける」又は「たぶん住み続ける」と定住意向の回答をしました。住み続けようと思う理由としては「温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い」が5割を超えており、調査を開始した平成25年度から引き続き、平塚市への定住意向につながる大きな要素となっています。また、住み続けようと思う理由として、前回調査から増加した項目は、「医療機関や福祉施設などが充実している」が3.2ポイント、「買い物がしやすい」が1.9ポイント増加しています。

年代別で見ると、20代の定住意向の方は67.8%となっており、前回調査（53.4%）から14.4ポイント増加しています。また、10代から30代までの住み続けようと思う理由として「買い物がしやすい」が上位に挙げられています。

移転意向について

「移転する」又は「たぶん移転する」と回答した移転意向のある方は7.4%でした。その理由としては「家族の都合で」と「その他」が最も多くなっています。「その他」の具体的な理由としては、結婚や就職、定年退職などのライフイベントが挙げられました。また、年代別に見ると、40代と50代では「家族の都合で」と「その他」が高くなっており、転職や定年退職などを見据えて、将来的に移転することを検討されている方がいるものと考えられます。一方で、20代では、20.2%となっており、前回調査（31.5%）から11.3ポイント減少しています。

魅力や誇りについて

居留意向とは別に、『平塚市の魅力や誇りに感じること』を伺ったところ、「総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」が36.1%と平成25年度調査から引き続き高い結果となりました。また、年代別で見ると、30代以上で2位以内となっています。さらに、2位の「大型商業施設など、買い物がしやすい環境」は、70代以上を除いた年代で、2位以内となっています。

「総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園」と「大型商業施設など、買い物がしやすい環境」は、年代を問わず、平塚市の魅力と感じられています。

■【2】まちづくりの状況について（問5）

「平塚市総合計画～ひらつかVISION～」に基づいて実施している本市のまちづくりに対して、市民がどのように感じ、どう評価しているかを把握するため、次のとおり分野別施策の分野ごとに伺っています。

分野1	子ども・子育て、教育
分野2	健康、福祉
分野3	共生、文化芸術、スポーツ
分野4	安心・安全、都市基盤、交通
分野5	産業、雇用、環境

「重要である」の割合：「たいへん重要」と「重要」を合わせた割合 重要度：P.46で算出した評価点

「満足している」の割合：「十分満足」と「満足」を合わせた割合 満足度：P.46で算出した評価点

○分野1 子ども・子育て、教育

この分野における「重要である」の割合は、68.1%と他の分野と比べて、最も高く、この分野の全ての項目が、全32項目の重要度の平均を上回っているほか、自由意見においても子育て支援に関する声が寄せられていることから、子育てしやすい環境づくりや未来を担う子どもの確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成が強く望まれていると考えられます。

満足度では、「子育て支援の充実」や「子どもの学びの充実」が全32項目の平均を上回っている一方で、「若者支援の充実」と「青少年が健全に成長する環境」が、全32項目の平均を下回っています。

これらのことから、引き続き、子育て支援に取り組むとともに、次世代の社会の担い手として活躍が期待される若者を支援する必要があります。

○分野2 健康、福祉

この分野における「重要である」の割合は、64.3%と3番目に高く、「満足している」の割合は、12.9%と分野4に次いで高くなっています。項目別で見ると「健康づくりの推進」の「重要である」の割合が69.7%（全32項目中5位）、「満足している」の割合が22.3%（全32項目中3位）となっており、重要度、満足度ともに高くなっています。また、「地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動」の重要度が全32項目の平均を下回っているものの、「高齢者福祉の充実」、「障がい者福祉の推進」の重要度は全32項目の平均を上回っており、満足度では、全ての項目が全32項目の平均を上回っています。

（問7）で、困っていることや心配ごとを伺ったところ、自分や家族の健康が上位に挙がっており、このことから健康に対する関心が高いことが分かります。

現在の居住については、「持ち家（「一戸建て」と「マンション・共同住宅」の合計）」が81.0%と最も高くなっています。また、（問10）で高齢になったときに希望する住まいについて伺ったところ、「持ち家」と答えた方は77.1%となっており、「高齢者向け住宅」と答えた方は、4.8%となっています。

これらのことから、健康でいつまでも住み慣れた地域で、自分らしく暮らせるよう、健康寿命の延伸や多様な主体が協力して支える体制づくりが必要です。

○分野3 共生、文化芸術、スポーツ

この分野における「重要である」の割合は、39.3%と他の分野と比べて、最も低くなっています。また、項目によって差が大きく、「友好・姉妹都市、企業及び大学などとの交流の促進」や「多文化共生意識の向上及び異文化理解の促進」が特に低くなっています。

重要度では、この分野の項目全てが全32項目の平均を下回っており、満足度については、「多文化共生意識の向上及び異文化理解の促進」が、全32項目の平均を下回っているものの、その他の項目は全32項目の平均を上回っています。

「多文化共生意識の向上及び異文化理解の促進」は、重要度、満足度ともに低くなっており、外国籍市民が増加傾向にあることから、一人ひとりの違いを認め合い、互いに協力し合いながら暮らすための取組が必要です。

○分野4 安心・安全、都市基盤、交通

この分野は、「重要である」の割合が67.1%と分野1に次いで高く、「満足している」の割合は、16.7%と最も高くなっています。重要度については、項目によって差が大きく、「災害に強いまちづくり」や「消防・救急体制の強化」、「日常生活の安心・安全」、「交通の利便性・快適性の向上」が特に高くなっています。理由としては、市民の生命、身体及び財産や日常生活に直結する項目であることなどが挙げられます。

「満足している」の割合については、「消防・救急体制の強化」が26.2%（全32項目中1位）と「花とみどりにあふれるまちづくり」が25.5%（全32項目中2位）と特に高くなっています。「災害に強いまちづくり」や「交通の利便性・快適性の向上」は、満足度が全32項目の平均を大きく下回っています。

「交通の利便性・快適性の向上」については、満足度が低いことや自由意見においても多くの声が寄せられていることから、更なる交通の利便性と快適性の向上が求められていることが伺えます。また、重要度や満足度から「災害に強いまちづくり」や「日常生活の安心・安全」が第一に求められていることが分かりますが、これらの推進には自治会等の地域の力が不可欠であることから、市民の地域活動への意識や行動が高まるよう取り組む必要があります。

○分野5 産業、雇用、環境

この分野の重要度は、項目によって差が大きく、環境に関する項目は高くなる傾向にあり、産業に関する項目は低くなる傾向にあります。「雇用の確保や多様な働き方の促進」は高くなっています。

満足度については、「循環型社会の形成」が全32項目の平均を上回っているものの、その他の項目は、平均を下回っており、産業に関する項目は、「満足している」の割合が、不満足（「あまり満足していない」と「満足していない」を合わせた割合）を大きく下回っています。市民の関わりが薄く、国内の景気や世界経済の動向、物価変動など外的要因の影響を受けやすい分野であるものの、産業分野全体の更なる活性化に向けた取組が必要です。

さらに、重要度が高く、満足度の低い「雇用の確保や多様な働き方の促進」は、市民生活に大きく関わる項目であるとともに、自由意見においても経済的な安定に関する声が寄せられていることから、将来に不安を感じることをない安定した生活基盤に向けた雇用の確保や仕事と家庭を両立しやすい労働環境の整備を促進する必要があります。

■【3】生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて（問6）～（問10）

【現在の生活に満足している方は6割以上。高齢（65歳以上）になった時の住まいは、8割弱が持ち家意向】

生活の満足度について

『生活の満足度』については、「満足している」又は「まあ満足している」と回答した方が、61.7%で、前回調査から11.6ポイント減少しました。年代別で見ると10代は80.0%、70代以上は74.5%と他の世代と比較して高くなっているものの、30代は53.2%、40代は53.0%と低くなっています。

また、「やや不満である」又は「不満である」と回答した方の割合は、40代が最も高く、次いで30代となっています。30代、40代の困っていることや心配ごととして、「収入や資産」が上位に挙がっており、子どもの教育費、老後の資金など経済的な不安感が大きいと考えられます。

全年代で見たときの困っていることや心配ごととしては、「自分の老後のこと」が最も多く、次いで「自分の健康」、「家族の健康」となっています。

老後のことで困っていることや心配ごとについて

『ご自分の老後のことで困っていることや心配ごと』や『ご家族の老後のことで困っていることや心配ごと』を伺ったところ、ともに「健康のこと」が最も高くなっています。

『ご自分の老後のことで困っていることや心配ごと』では、10代から40代までは、「日頃のお金のこと」が最も高くなっており、老後の資金に対する不安があるものと考えられます。

また、『ご家族の老後のことで困っていることや心配ごと』では、「健康のこと」が最も高くなっていますが、「介護のこと」も同程度の割合となっており、ご家族の病気やその後の介護に対する不安を多くの方が感じているものと考えられます。

高齢（65歳以上）になったときに希望する住まいについて

「持ち家（一戸建て）」または「持ち家（マンション・共同住宅）」と回答した方は、77.1%となっており、年代別で見ても、全ての年代で6割以上となっています。

「高齢者向け住宅（老人ホームなど）」と回答した方は、4.8%で、年代別に見ると20代が9.5%と最も高くなっています。30代が3.2%、70代以上が7.7%と年代が上がるごとに高くなる傾向にあります。

これらのことから、高齢になったときに、高齢者向け住宅に移ることを考えている方がいるものの、多くの方は、住み慣れた持ち家に住むことを考えていると思われます。

資料編（調査票）

しみん だいひょう 市民を代表して、ご意見をお聞かせください!!

れいわ ねんどひらつかししみんいしきちようさ
～令和6年度平塚市市民意識調査～

ちようさ きょうりょく ねが 調査へのご協力をお願い

○この調査は、日常生活で感じていることやまちづくりに対するご意見、
ご要望をお聞きすることを目的としています。

○いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

かいとうほうほう
回答方法は、2種類から選べます。

インターネットでの回答



◀◀◀ アクセスはこちらから

- ・市ホームページからも、専用ページにアクセスできます。
「平塚市 市民意識調査」と検索してください。



かいとう ちくばんごう
回答ID : ○ ○ ○ 地区番号 : ○ ○

- ・回答IDと地区番号は、個人を特定するものではありません。

10月31日(木)までに回答してください。

ゆう そう かい とう 郵 送 で の 回 答

STEP 1

ちようさひょう かいとう ちよくせつ
調査票に回答を直接、
ご記入ください。



STEP 2

どうふう へんしんようふうとう い
同封の返信用封筒に入れて、
ポストに投函してください。

10月31日(木)必着

- 令和6年9月1日現在で住民基本台帳に登録されている満16歳以上の方から、無作為に
選んだ3,000人を対象としています。

【問い合わせ】

平塚市 企画政策部 企画政策課 計画推進担当

電話 : 0463-21-8760 (直通) メール : kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp



ぜん 全 4 ページになります。あ 当てはまる番号を回答欄に記入してください。

あなたご自身やご家族のことについて

(ア) あなたの性別をお答えください。

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

かいとうらん 回答欄

(イ) あなたの年齢をお答えください。

1 16～19歳	3 30～39歳	5 50～59歳	7 70歳以上
2 20～29歳	4 40～49歳	6 60～69歳	

かいとうらん 回答欄

(ウ) あなたのお仕事をお答えください。

1 高校生	5 家事従事者
2 各種学校・専門学校・短大・ 大学・大学院生（予備校含む）	6 パート・アルバイト
3 会社員・公務員・団体職員	7 無職
4 自営業	8 その他

かいとうらん 回答欄	その他の場合、具体的に記入してください。

(エ) あなたの世帯構成をお答えください。

1 ひとり暮らし	4 三世帯同居（祖父母と親と子）
2 夫婦のみ	5 その他
3 二世帯同居（親と子）	

かいとうらん 回答欄	その他の場合、具体的に記入してください。



(オ) あなたにお子さんはいますか。

(同居・別居に関わらず、あなたのお子さんについて、当てはまるものすべて記入してください)

1	小学校入学前 しょうがっこうにゅうがくまえ	6	既に学校教育を終了している すで がっこうきょういく しゅうりょう
2	小学生 しょうがくせい		(現在の就業状況は問わない) げんざい しゅうぎょうじょうきょう と
3	中学生 ちゅうがくせい	7	子どもはいない こ
4	高校生 こうこうせい	8	その他 た
5	各種学校・専門学校・短大・ かくしゅがっこう せんもんがっこう たんだい 大学・大学院生(予備校含む) だいがく だいがくいんせい よび こうふく		

かいとうらん 回答欄							
その他の場合、具体的に記入してください。 た ば あ い く た い て き き に ゆ う							

(カ) あなたは、平塚市にお住まいになって何年になりますか。

1	2年未満 ねん みまん	4	10年以上～20年未満 ねんいじょう ねん みまん
2	2年以上～5年未満 ねんいじょう ねん みまん	5	20年以上～30年未満 ねんいじょう ねん みまん
3	5年以上～10年未満 ねんいじょう ねん みまん	6	30年以上 ねんいじょう

かいとうらん 回答欄

(キ) あなたの現在のお住まいについてお答えください。

1	持ち家(一戸建て) も いえ いっこだ	4	借家(マンション・共同住宅) しゃくや きょうどうじゅうたく
2	持ち家(マンション・共同住宅) も いえ きょうどうじゅうたく	5	その他 た
3	借家(一戸建て) しゃくや いっこだ		

かいとうらん 回答欄	その他の場合、具体的に記入してください。 た ば あ い く た い て き き に ゆ う



【1】 あなたの今後における平塚市への居住意向などについて

(問1) あなたは、今後も平塚市に住み続けようと思いますか。

1 住み続ける（市内転居を含む）	(問2)へ	3 たぶん移転する（市外へ）	(問3)へ
2 たぶん住み続ける（市内転居を含む）		4 移転する（市外へ）	
		5 わからない	(問4)へ

かいとうらん 回答欄

(問2) (問1)で「1」または「2」と答えた方。平塚市に住み続けようと思う主な理由はどのようなことですか。

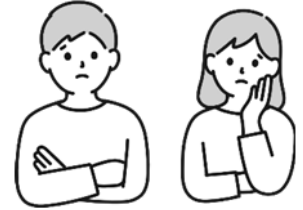
1 温暖な気候で、海、山、川に囲まれ、自然環境が良い	8 整備された公園、文化、スポーツ、地域活動の場となる公共施設が充実している
2 子育てや教育の環境が良い	9 バス・鉄道・道路・橋などが整備されており、市内外への移動がしやすい
3 医療機関や福祉施設などが充実している	10 仕事や学校へ通うのに都合が良い
4 地域の人たちとの関係が良い	11 住宅の事情で
5 地域に愛着がある	12 家族の都合で
6 買い物がしやすい	13 その他
7 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる	14 特に理由はない

かいとうらん 回答欄	その他の場合、具体的に記入してください。		



(問3) (問1)で「3」または「4」と答えた方。市外に移転しようと思う主な理由はどのようなことですか。

1 自然環境が良くない	8 公共施設が充実していない
2 子育てや教育の環境が良くない	9 バス・鉄道・道路・橋などの整備が十分
3 医療機関や福祉施設が不足している	でなく、市内外への移動がしづらい
4 地域の人たちとの関係が良くない	10 仕事や学校へ通うのに都合が良くない
5 地域に愛着がない	11 住宅の事情で
6 買い物がしづらい	12 家族の都合で
7 災害や犯罪の面から安心して生活できない	13 その他
	14 特に理由はない



かいとうらん 回答欄		その他の場合、具体的に記入してください。	

(問4) あなたが平塚市に魅力や誇りを感じるの、どのようなことですか。

1 ビーチパークなど様々な体験ができる海辺や海	
2 里山や樹林地などの丘陵地の緑や社寺林、豊かな田園環境	
3 総合公園などの施設の充実した大きな規模の公園	
4 災害や犯罪が少なく、安心して生活できる環境	
5 文化財などの歴史的資源、食・囲碁などの芸術・文化的資源	
6 文化、スポーツ、地域活動など市民の活動を支える充実した公共施設	
7 保育や子どもの健やかな成長のための子育て環境	
8 高齢者がいきいきと安心して暮らせる環境（生きがい、健康、介護、見守り）	
9 町内福祉村（ ）など、地域住民による支え合い活動	
10 研究開発や技術力を有した、企業や大学などの立地	
11 平塚駅を中心とした市街地の商業集積	
12 七夕まつりなど、まちぐるみの行事	
13 バス・鉄道・道路・橋などが充実し、市内外への移動がしやすい環境	
14 大型商業施設など、買い物がしやすい環境	
15 その他	

かいとうらん 回答欄		その他の場合、具体的に記入してください。	

() 町内福祉村・・・市や各種団体などとの連携のもと、地域住民の自主的、主体的参加を基本とした住民相互の支え合い活動やふれあい交流活動などを行うボランティアを中心とした地域組織

【2】 まちづくりの状況について

(問5) 平塚市は、最上位計画である総合計画において、1～32の項目に分けて、まちづくりに取り組んでいます。それぞれの項目に対するあなたの「重要度」、「満足度」について、該当すると思う数字を記入してください。

重要度	5	たいへん重要	4	重要	3	普通	2	あまり重要ではない	1	重要ではない
満足度	5	十分満足	4	満足	3	普通	2	あまり満足していない	1	満足していない

【分野1】子ども・子育て、教育		重要度	満足度
1	子育て支援（保育や母子保健など）の充実		
2	子どもの学びの充実（学力の向上、豊かな心の育成など）		
3	教育環境の充実（学校施設の安全対策、相談体制など）		
4	若者支援（奨学金返済支援など）の充実		
5	青少年が健全に成長する環境		
	1～5をとおして、【分野1】全体について		
【分野2】健康、福祉		重要度	満足度
6	健康づくり（各種健診や保健指導など）の推進		
7	地域ぐるみでの支え合いによる福祉活動		
8	高齢者福祉の充実（健康長寿への取組や介護保険サービスの充実など）		
9	障がい者福祉の推進（自立や社会参加の支援など）		
	6～9をとおして、【分野2】全体について		
【分野3】共生、文化芸術、スポーツ		重要度	満足度
10	平和意識の普及啓発		
11	男女共同参画や人権擁護など自由で平等な地域社会の推進		
12	友好・姉妹都市、企業及び大学などとの交流の促進		
13	多文化共生意識の向上及び異文化理解の促進		
14	コミュニティ活動の促進（自治会、市民活動への支援など）		
15	生涯学習や文化芸術活動の推進		
16	誰もが楽しめるスポーツの充実		
	10～16をとおして、【分野3】全体について		

【分野4】安心・安全、都市基盤、交通 ぶんや あんしん あんぜん としきばん こうつう		重要度 じゅうようど	満足度 まんぞくど
17	災害に強いまちづくり (防災訓練、インフラ施設や建築物の耐震化など) さいがいの つよ ぼうさいくんれん しせつ けんちくぶつ たいしんか		
18	消防・救急体制の強化 しょうぼう きゅうきゅうたいせい きょうか		
19	日常生活の安心・安全 (防犯、交通安全対策、消費者被害の防止など) にちじょうせいかつ あんしん あんぜん ぼうはん こうつうあんぜんたいさく しょうひしゃひがい ぼうし		
20	まちづくりの拠点形成の推進 (平塚駅周辺地区やツインシティ大神地区など) まちづくりの きょてんけいせい すいしん ひらつかえきしゅうへん ちく おおかみ ちく		
21	交通の利便性・快適性の向上 (市内外への移動におけるバス・鉄道・幹線道路など) こうつう りべんせい かいてきせい こうじょう しないがい いどう てつどう かんせんどうろ		
22	快適な生活基盤の形成 (バリアフリー化や放置自転車対策など) かいてき せいかつ きばん けいせい か ほうちじてんしゃたいさく		
23	花とみどりにあふれるまちづくり (公園・緑地の整備、緑化活動への支援など) はな こうえん りよくち せいび りよくかかつどう しえん		
	17～23 をとおして、【分野4】全体について ぶんや ぜんたい		

【分野5】産業、雇用、環境 さんぎょう こよう かんきょう		重要度 じゅうようど	満足度 まんぞくど
24	産業の活性化 (新しい産業育成、起業家や後継者への支援) さんぎょう かつせい かなた りんぎょう せいさんしや しえん		
25	農業の振興 (担い手の確保の支援、生産者と消費者の交流活動など) のうぎょう しんこう にん て かくほ しえん せいさんしや しょうりしや こうりゅうかつどう		
26	漁業の振興 (体験漁業や市場見学などの支援、経営安定に向けた支援など) ぎょぎょう しんこう たいけんぎょぎょう しじょうけんがく しえん けいざいあんてい ぎ しえん		
27	工業の振興 (企業の研究開発や施設整備の支援など) こうぎょう しんこう きぎょう けんきゅうかいはつ しせつ せいび しえん		
28	商業の振興 (個店や商店街団体などへの支援など) しょうぎょう しんこう こてん しょうてんがいだんたい しえん		
29	観光の振興 (観光資源の魅力アップや情報発信など) かんこう しんこう かんこうしげん みりょく じょうほうはっしん		
30	雇用の確保や多様な働き方の促進 こよう かくほ たよう はた かた そくしん		
31	環境にやさしいまちづくり (大気や水質の汚染対策や地球温暖化対策、環境保全活動など) かんきょう たいき すいしつ おせんたいさく ちきゅうおんだんかたいさく かんきょうほぜんかつどう		
32	循環型社会の形成 (ごみの減量化や資源化の促進など) じゅんかんがたしやかい けいせい げんりょうか しげんか そくしん		
	24～32 をとおして【分野5】全体について ぶんや ぜんたい		

【3】 生活の満足感や、困っていること・心配ごとについて

(問6) あなたは、現在のご自分の生活にどの程度満足していますか。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 満足している | 4 やや不満である |
| 2 まあ満足している | 5 不満である |
| 3 どちらとも言えない | 6 わからない |

かいとうらん
回答欄



(問7) あなたは、ご自分やご家族のことで、困っていることや心配ごとはありますか。

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1 自分の健康（体力低下を含む） | 7 家族（別居含む）の老後のこと |
| 2 家族の健康（体力低下を含む） | 8 家族や親族間の人間関係 |
| 3 自分の日頃の生活（進学、就職、結婚、家計など）上の問題 | 9 ご近所や地域との関係 |
| 4 家族の日頃の生活（保育、教育、就職、結婚など）上の問題 | 10 勤務先での仕事や人間関係 |
| 5 収入や資産（将来の見通しも含む） | 11 事業や家業の経営上の問題 |
| 6 自分の老後のこと | 12 その他 |
| | 13 悩みや不安はない |



(問9)へ

(問8)へ

かいとうらん
回答欄

その他の場合、具体的に記入してください。

(問8) (問7)で「6」と答えた方。ご自分の老後のことで、困っていることや心配ごとは、どのようなことですか。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 健康（認知症や体力低下など）のこと | 7 終活や相続のこと |
| 2 介護のこと | 8 仕事（就職活動を含む）のこと |
| 3 住まいのこと | 9 余暇活動のこと |
| 4 日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと | 10 家族や地域、社会との関係のこと |
| 5 外出（買い物や通院など）の手段のこと | 11 災害時（地震など）のこと |
| 6 財産管理のこと | 12 その他 |

かいとうらん
回答欄

その他の場合、具体的に記入してください。

(問9) (問7)で「7」と答えた方。ご家族の老後のことで、困っていることや心配ごとは、どのようなことですか。

1 健康（認知症や体力低下など）のこと	7 終活や相続のこと
2 介護のこと	8 仕事（就職活動を含む）のこと
3 住まいのこと	9 余暇活動のこと
4 日頃のお金（貯蓄や年金など）のこと	10 家族や地域、社会との関係のこと
5 外出（買い物や通院など）の手段のこと	11 災害時（地震など）のこと
6 財産管理のこと	12 その他

回答欄			その他の場合、具体的に記入してください。

(問10) あなたが、高齢（65歳以上）になったときに、どのような住宅に住むことを考えていますか。

1 持ち家（一戸建て）	5 公営住宅（市営・県営）
2 持ち家（マンション・共同住宅）	6 子ども・親族の家
3 借家（一戸建て）	7 高齢者向け住宅（老人ホームなど）
4 借家（マンション・共同住宅）	8 その他

回答欄	その他の場合、具体的に記入してください。



【 4 】 今後の平塚市のまちづくりについて

(問11) その他、平塚市のまちづくりにご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。ご記入もれなどがないかお確かめの上、この調査票を同封の返信用封筒に入れて、10月31日（木）までに最寄りの郵便ポストへ投函してください。

令和 6 年度 平塚市市民意識調査結果報告書

編集・発行 平塚市企画政策部企画政策課

〒254 - 8686 平塚市浅間町9番1号

電話 0463 - 23 - 1111 (代表)

0463 - 21 - 8760 (ダイヤルイン)

FAX 0463 - 23 - 9467

e-mail kikaku@city.hiratsuka.kanagawa.jp

